外務管局の活針

外変変渉の内容は日支調係家に野

【南京九日数】外交次長徐模は目

徐外交次長語る

H

致

上海を國際中立地

しも

公派遣 帝國 を説明

あるので、此際英、米、佛各國海に送る事となつたが更に荒濁州樹は 学太郎子に交渉を持ちかけた標識であるが、このパ、石井菊次郎子、でしめ又隔意なき意見を聴取せしめんと希望し大菱質相外閣僚の智成を得たので、目 【東京九日数】光澤州根は上海における列國官民と非公式に連絡をとり 有が候補者に駆げられてゐる びを持ちかけた標準であるが、この形、石井菊次郎子、 新渡戸沿造氏、 山本条太郎で意見を朦朧せらめんさ都認した劉龍根熈骸鰕の鬱波を得たので、目下適任者を『色中で、旣に金米、佛各國に有力なる特使を派遣し、要路の人々と會見し日本の立 場を說し近に芳澤州根は光年心戦條線の際内田殿試像をもて粽にアメリカを訪問せしめ漢雲間壁に繭と調修を祀めた前側 意思の疏通を圖るため松脈

管中立地際家はまだ公式にアメリーするものであると見てゐる。 大楽さして日本が提出した神國共 支那の門戸解放でなく支那を分轄決楽さして日本が提出した神國共 支那の門戸解放でなく支那を分轄 共管中立 米國務省方面に 地帶案 き語った 立地帯に

+

月

=

七

新で日本の主概像者を鳴らとた歌が中立地帯路定に関する振彩に反 が中立地帯路定に関する振彩に反 上海外字紙 羅文幹反對聲明

支職を討議に決した

日支問題を討議

私案に過ぎない

國際中立地帯問題に關し

芳澤外相閣議で說明

論調一變

支那軍猛烈

砲擊

多數の敵砲彈落

と海にある各外字紙は一時飛ぎ日 を定を見た三日以來散然その論調。 と海にある各外字紙は一時飛ぎ日 那の執るべき唯一の道である日本の決心固く支那軍撤退が支日本の決心固く支那軍撤退が支

『上澤九日景』 艦戦の邦人歴代區 わが居留民の不安

敵陣地撤退要求

(日曜水)

の雨に野砲は泥の中で動き取れず 門公司で江郷歌馬場に在るも連山 機關銃 停車場屋上に

決し、野村長官は九日ケリー 公式訪問の際右提議をなすはずで き機關総座を布き殿備だけは織け るた支那兵は頑強にも今朝又も 戦況進展せず

開館で抵抗し

野村司 がすべく実裕の間次時半景) 我陸軍 令長官 電北平九日数 | 溶腸より政府を開 時は昨日之を否定し上海事件の満 度は昨日之を否定し上海事件の満 足なる解決までには溶腸を動かす

15

上海和界際備につ 督 午前十一時2 【上海九日發】野村第三艦隊司令 各國提督を歷訪 一指揮官な際語し アメリカ軍提督 ・

る製作卵車四卵車を北平螺外に銀着せしむるなどあり、最近東北軍の動き日を逐ふて活苑に在つた直系軍を天津南方に移駐せしむるなど、又覆州より學良の最も傾りとす【北平九日簽】學良は北岸線監察に平漢線に貨車の集結を命ずる一方、北平南

目的不明で注目さる

でなり来つた、その目的奈逸に在るや不明なるもは目さる

軍縮意見一

英、佛兩案を繞

對立

形数

要属も増加する極機である 要素は五十名に上る見込みで無技 をもつて総切られるが、立候補齢 は考は五十名に上る見込みで無技 立候補辭退者は 五十名に上らん 無投票區は一層増加 各派別候補數

總選擧の注意 「果京九川教』九日午後五時現在 立候柳春咸出敷左の妲し 五、大衆一三、革新三、安達 派一一、其他無産五、中立其他 二五、計六九四 ポスター配布 選舉革正册子

飛ざそのがに向けられて極速率の で國民の注意を喚起すべき旨の通 なため内務省は九日地方長官に宛 で國民の注意を喚起すべき旨の通 雅さその方に向けられて極速率の は適つたが繁支配紙の展型総合告 に通つたが繁支配紙の展型総合告 は適つたが繁支配紙の展型総合告

吉兩省 立

本庄司令官が國民政府との關係を絶つて奉天、吉林兩省を獨立せしむる布告を教心に難し左の庭く説明したに難し左の庭く説明した。 嗣 し一議員の質問

京は日本政府に何等の抗議を行った事はない官が國民政府さの關係を絶つて率天、吉林南省を獨立せらむる布管を發え たさの報道に関

四川路一帯は全く無警察班際さな なきためであるが、これがため北 なきためであるが、これがため北 なきためであるが、これがため北 支那側の無法な砲撃 豐田統社賞教十名は本日中に飛場國軍の保護下に置かるい事さなり 常における財産は支那軍乃至第三 の進版を見ない 全然事覧筆様で一の行方不明説等一 行方不明說無根

敵の逆襲は 悉公山

またが、我兵駐屯せば支那軍は攻撃 おか、我兵駐屯せば支那軍は攻撃 なる。 北部邦人區域か響放することとな

我軍撤退

豊田紡附近の

が支配地行権は窓に機然さへ見せば横は横濱路の敵の緊急な爆撃した。 我は撃機は本日午

江灣競馬場

クリート競校で学永久 て得ばるべき我軍の進 江西路から新公園 さ北河南路角の

午後三時より二時間吳淞鎭を砸撃。 吳淞ク で彼我 るため我〇〇隊及るため我〇〇隊及 對峙 ーク 吳淞攻撃は 陸兵に

クを挟んで敵さ 医戦験本部に引揚げた 陸戦隊本部に引揚げた

吳淞の陷落近し 我軍の架橋工事了る

『上海九日教』杭州領事米内山氏
『上海九日教』杭州領事米内山氏
以下館は五名、南京郡飯民七名は
び着した、杭州領事米内山氏

好轉

電な以て九日午後一時半から離の 第六十師の緑一干が集結してゐる 第六十師の緑一干が集結してゐる 第六十師の緑一干が集結してゐる て午後二時競馬場は炎々たる猛 十二日頃委員會

元村警部巡難談

支那軍機影を見せず 部武装を解除せんさ機へてゐる。 敵は野砲一門か有のみ我は他くまで敵を追詰め全

とあり

上海事件費 全部公債による

猛火に包まる 東京九日爱』上演事代に供ふ総合計三千四百萬圓でこの財滅は全 合計三千四百萬圓でこの財滅は全 部公僚に帰ぐ事さなつた

| 東京九日教 | 棚府は十日午前十 明本會議を開き上海事代費側踏勘 の上程の十二日頃標音委員會 に仲議されるはす 南京對日感情

國民政府は否定 生の二十九日から六日ま

開封移轉說

て居て何れも無事である事性明られたがこれも昨朝権須賀隊に合ら 上海邦人犧牲

頁傷廿五名 吳淞鎮攻略戰

【上海八日登】八日の吳淞鐵攻略 戦における我軍の貨㈱者は海軍十 九名陸軍六名合誾二十五名を出し 浦風漢口到着

一部に際はつたが一部で際級隊のの 潮風は七日漢口に 鎌着した 『東京九日餐』 海軍を着電、軍艦 一クの線を守備する第〇〇〇 敵迫擊砲猛射

加陸戦隊

我特別陸毗隊百名

K

がは難々しい戦況

敵の堅陣を爆撃 出した、衛祉産連続に落下しつ戦略の凝射に見舞はれ死者一名を戦略の凝射に見舞はれ死者一名を

東京九日登』九日の定例閣議は 年前十時から閣會、大総首根以下 を大門出席(中様)、宋大殿根総府 等大門出席(中様)、宋大殿根総府 等で、表き緊急教令を以て三千四百 に基き緊急教令を以て三千四百 の公債を登行する代に関する 高事性費の一部さらて取扱ふ事に 地より歐米谷園の上海事性に對す 地より歐米谷園の上海事性に對す 地流し大角海根、荒木壁根より陸 が変し大角海根、荒木壁根より陸 が変し大角海根、荒木壁根より陸 機の結果満州事性の延長さ看能した動命数の性名につき職々意見交

九日の定例閣議。

重要政務審議

詳細説明樞府の誤解を求める書へ後における政府のが鉛等に關し

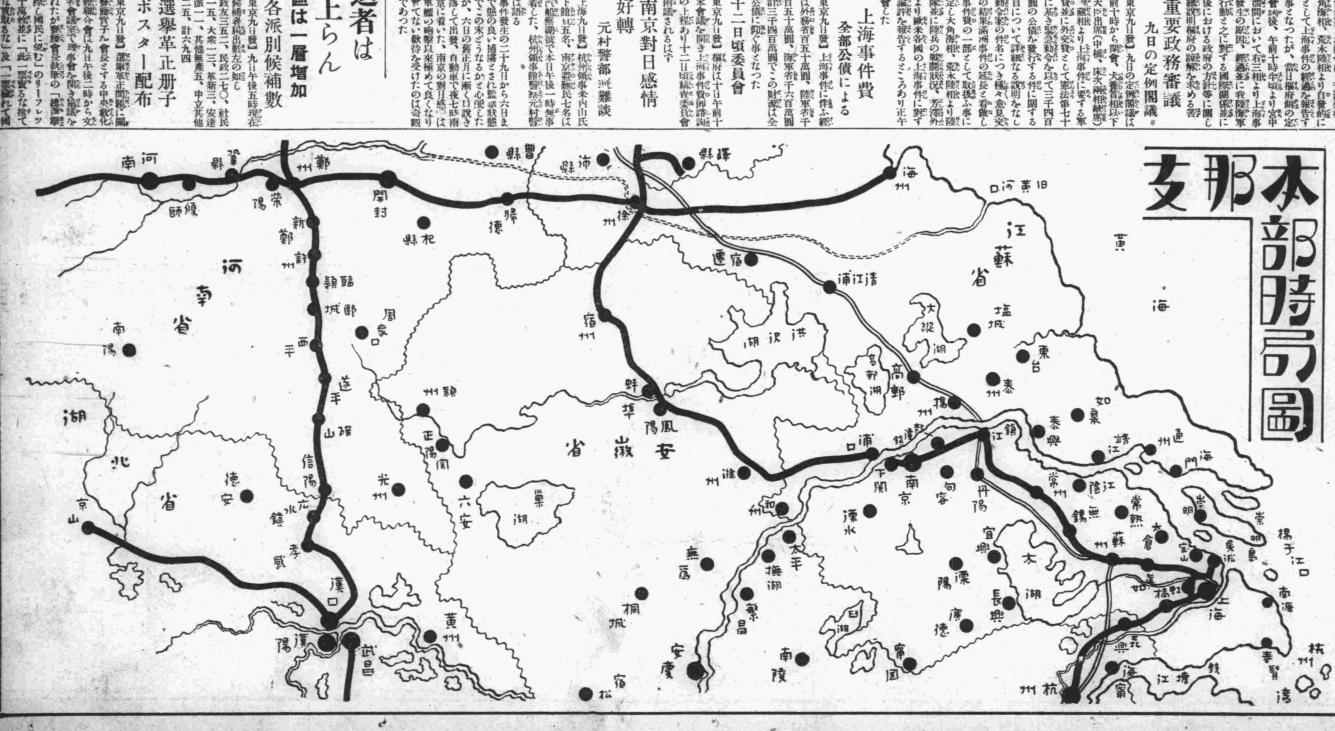
名で軍職者は九名標職者は三名で市めに戦死した上海在部取人は四ために戦死した上海在部取人は四

樞府定例會議で

諒解を求む

上海事件の | 東京九日登|| 立候神殿出総明日 | 候補者敷八百四十名に比し百五十を印刷し一般に知悉せしむること が出足の蛇つてゐる立候補者は八かれつた | 日午後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日午後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日午後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日午後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日午後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日本後六時内粉谷郷査で、脳出郷 | 日本

お候補者二百三十二名でその過失 政友會で政府意が民政の総黙多數 を獲へさんさする意氣を班覧に示



多門 團の觀兵式 (八日ハルビ るン

の衛兵たる所謂商業小各國乙を支持すべく遊に戦機會議は野伊の各國から支持を受けるであらうと、フランス案はボーラのであり、とに置てイョリフィイン

ランドを初め歐洲政局にお

るフランス

| 実は獨、米、

を喚起

のであり、之に對しイギリス全機サイモン外根の激説は難に軍のであり、之に對しイギリス全機サイモン外根の激説は難に軍

平時十分より らさみらる。

警務局關係異動

命大連署動務、長春 命大連署動務 命大連署動務

長春領事館署察部補 坂井 博延

四平恒署巡查部長 四平 一家雄沙河口署巡查部長 四平 一家雄沙河口署巡查部長 中川 武人

本田 榮喜

任開立即皆可補、

泉 喜廣 安達權六郎 太田市三郎

四 体験免本官(各通) 泉 喜腐 単 体順免本官(各通) 泉 喜腐 単 体順免本官(各通) 泉 喜腐 単 大塚河影瞥部補 有馬 善大 文官文 "令第十一條第四號により、

公主讀署等部組 华林 三治 命長释署動務 一种旋順署動務 一种旋順署動務

宣部長 庄子 誠道

大連署警部 寺尾 壯晋

命遂陽署同遼陽領事館皆深署兼務任關軍廳營部補 住關軍廳營部補

動務、領事信等が要素務 世署が査部長 空間 倭蛇 1 世署が査部長 空間 倭蛇 1 電影部補、命沙河口署動務 で署が査部長 熊谷 徳石

曹剛店署巡查部長 宮原 守一

查部長 高橋 守蔵

鐵嶺領事館皆然署

同所巡查部長

て對日强硬設を主張するに至って對日强硬設を表示、孫陳南氏は、却つなるを說き、孫陳南氏は、却つなるを說き、孫陳南氏は、却つなるを説き、孫陳南氏は、却つなるを説き、孫陳二氏が南京政府に入り、

前十時より素天忠鑑塔前において在案在網軍人に對して開院総裁宮殿下より賜はりたる御覧前十時より素天忠鑑塔前において在案在網軍人の實た県げたり、会深く之を欣びその労化或は繁備に任じ或は軍事行動を援助し至職奉公の實を県げたり、会深く之を欣びその労働政権が重人會在支育員は今次の時局に際し振つて公共の為め努力し特に動風地において武政経行され悲愍徳に十一時略終了した、宮殿下の御簀華は左の娘と探す【本天電話】 本自愛して協力一致會員たるの責務を全うせんことを望む

(日曜水)

開院總裁宮殿下

畏き御言葉を傳達

利田在郷軍人會副會長より

奉天忠靈塔前に於て

在系在総軍人に難して際院総裁宮殿下より勝はりたる御管地へれた帝國在総軍人會副會長和田中將は八十安系統にて來る。

流岗

ので警務關係の異動はこれによつ後六時。の如くこれが登表を見た 各々内命親馬電が發せられ九二午

大大大大学 は近日 学校には、 一大大大学 であった。大に大学 ではない。 一大大学 であった。大に大学 ではない。 一大大学 であった。大に大学 ではない。 一年 保安 に長り 向けられるものでない。 「は、一年 であった。 一年 には、「は、日本 歌店民 一年 であった。 「は、一年 であった。 「は



お回家が建設せ おつて日支間の別

現て日本人屋館地域一帯を破撃し、果を機縁地さも軍事行動をなすな

吉林

敦化方面の

不人な驅滅すべら」さ強がつて

二六〇九 二五四七七 九九七七

職点した、電原総数

裁は語る

二十四日振りに監理課長、高概

は、軍部等で協力して消滅の産 はり積極的邦人で進みたいさ思 はり積極的邦人で進みたいさ思 はり積極的邦人で進みたいさ思

に於て行はれて『海真は河真影の引機を終へて署長室に納つた新辛島前署長の事務引機さば九日午後一時三十五づから署長應接問 民政署長事務引機 竹内新大連民政署長と

は吉林も一寸動 は吉林軍が一時に能 が旅の事際に能

九二午後最近の吉の米連中の濱田吉

支が師の果北交通委員會の手で想

二二五二 二五五七〇 五五七〇 九九〇

吉會線が開通せば一層繁榮

八増加す

電点が変に

歌し今回左の如く

歌し今回左の如く

歌し今回左の如く

歌がり

かつた、

同業は本年八十歳

助治三

十八年名を

歌手に

歌近本年八十歳

助治三

十八年名を

歌手に

歌でした

では

昨年十

十八年名を

歌手に

歌田の

歌いの

御沙次が

かった、

同業は

本年八十歳

助治三

・

・<b

本日大連市公報を 録を添ふ

早齒科醫院

店

爭

給に

0

頭痛

パッキング材料一 式

商 大 連 榮 町 電3887-5798番

于琛徵氏 當分靜養 熙長官を訪問

、風日祈宮の御鏡が御下

してハルピンに入城した于野歌氏 反吉聯合軍派派の吉林軍總指揮さ

すらさは傷中

迎歌書沒

職盛を潔外に売し締ふたのである、この荒祭 ・時に御程験を謎ひ絵と来歌大神 ・時心御程験を謎ひ絵となった。 ・の一葉の御融雲が特に楽天歌大神 ・は河下賜になつたのは深き御 社に河下賜になつたのは深き御 社に河下賜になったのは深き御

一田五十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高新豆三十銭高

内地引聢り

左

況をし

(版內市)

案の提議 重要都市中立

い。例へば之れが列國對支政策係する所額る廣汎且つ重大であるから、種々議論すべき點が多

の意見の下に、支那重要都市芳澤外相は、陸海軍二相ミー 非武裝地域と為す可き提請

飛躍支外交の

支那の斯くの如き狀態が、四 徳の人民を永久に徐院に苦もめ は進歩を害し、延いて列國に被 害を及ぼすのか見では、列國は 管に之れな支那内部の事さして 等関視する事は出來ない。就中 可言關係り扱っだ後ない。

我外務省が今回不干渉主義を放 撃して、軍閥政客私願の弊を絶 変して、軍閥政客私願の弊を絶 であらう。列属も恐らく同感で あらうさ思ふ。

社

說

機分の疑念なき能はざるが、保 上海、天津、漢山、廣東等、及 び其周閒若干の地域に、支部軍 びの駐在を拒絶するもので、支 那の路かにも列國の為めにも、

内務關係の分も

數日中に發表

事

異動

懲よ積極的活動

列國は従來支那に對して不干渉ったのは何故であるか。思ふにて斯る提案の必要を感ずるに至

を待つてこれが教表を見るは 臨局への手観を発すのみさなって 臨局への手観を発すのみさなって のので、強つて東京よりの許可電報 を持つてこれが教表を見るは

は九日午前六時四十九分東支鐵道 にて窓長、同八時十分發音長線に て吉林へ向つたが氏は語る 自分は反吉林軍を掃蕩してハル 自分は反吉林軍を掃蕩してハル は東支護路軍司令に赴任する客 であつたが同地廣民場つて自分 であつたが同地廣民場つて自分 であつたが明立廣路ので、その上で無治長官が 様に歸る、その上で無治長官が 様に歸る、その上で無治長官が 様に歸る、その上で無治長官が はするし他に輕望よこいへば就 任するし他に輕望よこいへば就 任するので一ヶ月ばかり無岳城に行く、然と何しる板勢してゐるので一ヶ月ばかり無岳城に付 るので一ヶ月ばかりまりにしたも たのよう。」。」。」。」。 職宮御寳の御下賜あり中にも家のである。 ◆満洲を旅して恋野 日露戦後を連歩す 大趣を思ふこき歴 を思ふこき歴 の勝成か決し終惑か告げらめた大帝の御後成立その権が以て彼我と一番戦を以て彼我

必然的に明治

◆天照皇大穂と明治大帝を察祀する神想さ思惟する、聊くして る神想さとの泰天の地に建立する神想さとと なる神想さ思惟する、聊くして

機啓利氏が全端邦人の記念事業

念常に新なるべきを郷し得るとの神像郷を必然に悲懐し乾燥の我が國民殊に在滿人は明治大帝

新國家の胎出を見んさする時に

个回の事變に際し今や滿蒙

交通の

天は政治総派の中心地にして

も北に向ふ者も必ず此處を通過を通過を通過を通過を通過を通過を通過を通過を通過を通過を表している。

大に到る時度に

◆右の大要は先年今上陸下御大禮する。

多引寄引寄引寄 當 九九 | | | 限

先 五、六

奉天一市民

の計畫さは朝鮮機督府の見地が 利 つ せば 支除ないのである から終端港の方針決定はさう急 から終出対互に研究調査を重れて を要する問題でもないさ思ふか ら後目対互に研究調査を重れて が、軍部の三方面の調査と述べてゐる、故に や回の調査によって一港制ださ か二港制ださかいふ具體的方針 は決定してゐないが總督府、滿 は決定してゐないが總督府、滿 は決定してゐないが總督府、滿 は決定してゐるないが。 見が一致しなければならのもの がさ思ってゐる

四百三十八票對三十九票を以て該
ス下院において突城勞無點より協
ス下院において突城勞無點より協 窓は否決された

前大連民政署長

要に日下新内粉局長は 短野非才の私、この重大時機に 短野非才の私、この重大時機に 短野非才の社、この重大時機に 上さも刺支援を譲つたらこの任 上さも刺支援を譲つたらこの任 上さも刺支援を取ったらこの任 から全うする事が出来るさ思ふ

はるびん丸船客

門司

式 (表現) (表д) (是д) (是

横銀 满锡広西

叙動二等授瑞寶章 正四位勳三等

(八日)

口會線終端港は

まだ決定しな

滿鐵ご朝鮮側の意見

齋藤朝鮮總督府工務課長談

局長、

署長等の

さ職解な過べ辛島前の務局長は が為め何等期待に があるの至りである の至りである。

盛んな歡送迎會 君の熱心な御邊助の賜さ有難くに堪へないが又その問過失もなに堪へないが又その問過失もないが又その問過失もない。

育んで貰いたい 育んで貰いたい 育んで貰いたい 育んで貰いたい る、間違いのない 高い間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る、間違いのない る。 最後に竹内新民政署長は 何うやら修業が積んださいふの で再び當地民政署に赴任して來 たが相當電要任務を帯びてゐる 大連民政署長の椅子は只紗殿や 修業のみでは動らない

主市民の援助を監察しずつて乾杯

昨夜ヤマト

ホテル

て

| 前大連民政署長至島知己氏は來る 辛島前民政署長

▼下津春五郎氏(同上地方部庶務 訪問

では のて溶陽へ質都 のて溶陽へ質都

教資に關し

労當局と懇談

十二日東拓本社にて

ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 三三八〇〇

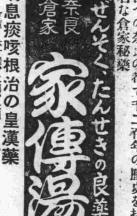
院醫井幡

番九五八四話電









名な倉家秘樂 たんせきの良楽

大坂本洋服店

休三三一三四 大八〇三八六〇〇六〇〇 Waterman'S Ideal FountainBen 満

· 安全 · 安全 · 安全 · 安全

科學眼標為際医科眼井玉 五話電 富 t

錢

支店、初音町サッツ温泉電話の七四〇番電話三八三三番・二二五〇三番電話三八三三番・二二五〇三番

名酒桐正宗 を召せ 九州一〇有名なる富安合名會社釀造

品質本位桝目確實配達迅速 電二二二〇〇番 ~ ammuninyon mammani

白米變動相場は 連鎖街の問屋大島屋

いんじ 清本 中 大 C' 学行的

外



今年のアフタヌ レス

らびやかなイヴニングド れは流行の本場が

梭を切りこつて、それから針金で植木屋さんは又チョキンくと

月はさ

つばり

やーコ 幸

東

と

さ

・

大連市社會館の昨今

さが見えません、

州繁世をむきながら郷談です、れて六人の係成は近頭安くなった泉

料理しますご

人体の真の榮養元、活力元として近代 醫學が證明せる葡萄糖が純且つ安價に コメツト養糖の名に由て出現しました 本品は含水炭素(米、麥、野菜、砂糖の 類)の最終消化体であつて毫も胃腸の 総ての 病弱者、病弱兒の に食事のこれない病人や幼病兒等には に食事のこれない病人や幼病兒等には でもつ、あります、故に を要せす其ま、直に收吸百パーセントの滋養効力を發現する甘味上品の で、今歐米では育兒に、滋養に壓倒的 ます。 で、今歐米では育兒に、滋養に壓倒的 ます。。(設置進星)

資本金

大連市西通(拂込濟)

一月独領の大連市社會館の午下り 一一月独領の大連市社會館の午下り

的代時も設 3.5. 標音味美 tonna草煙洋東

> ぜ h **無松尾紅**

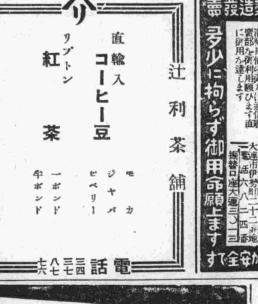
そく治療

眞に役立つ最優雜誌

59

弊局製劑 大特 小學、學、 膓_咳藥藥

仙庵堂 需護造製藥膏の確的能効 **夛少に拘らず御用命願ます** 蒸餾水は帝日採館シて居ます に領用か達します 資部を領利用願ひます直 では通信取 局 すで全安が高薬るあ用信は薬



試験地獄。安通行証



ベビーシュクリ

相始め

■辻利食料品

部川



さ

土吉田德次郎著

(電話九段)

おい È 米穀商 大連市若狭町 用 命 お米 命 0 摩洋行

貫器類、 S. L. Contract 炊事器具、其他 金物類の研料 としても便 同験・ルド

党廿円一 入ロテキン 五入中ロヤニ

代滿涯店洲

安奉 大 縣 天連

一鶴大正堂 商店

円

電話 拉茲四國番

紅旗附近の

匪賊討伐詳報

曾我部中隊の奮戦

我部部隊は

悪戦苦闘中窓に日は渡し

い次第である

を登々と述べ之に對と議長は陳謝 を登々と述べ之に對と議長は陳謝

一統明するや萩原氏は蓄然さ起ち

正月のために立て、あるものでに正月のために立て、あるを附近の村民にたべれたる

田 【金田】主る六日南山和前に於て から決定されてゐた、殿後に在野町で高殿縣な心殿が書から では、ボルフに諸曲等々總ゆる趣味をある近には難しいエピソートがあ の大正場は閉鎖の血むなきに至り をおる近には難しいエピソートがあ の大正場は閉鎖の止むなきに至り なつてゐるが、連「濁転の破粉の酸で、なしさせず離し物の止むなきに至り なつてゐるが、連「濁転の破粉の酸でに関り全正場域が一致、直配は変んをかす場に取って経済のが機率で よしさせず離し物の止むなきに至り なってゐるが、連「濁転の破粉の酸に関う全正場は別鎖の止むなきに至り なってゐるが、連「濁転の破粉の酸に関う全正場は別館の止むなきに至り なってゐるが、連「濁転の破粉の酸」とは一般に正場はの止むなきに至り なってゐるが、連「濁転の破粉のでは、一次要した今回 とことはではなった。

を共に内地會員より を支管員請氏の満洲 を支管員請氏の満洲

りの慰問の

の慰問の数 の感謝する

関節の疼痛

足が痺れる

守備隊出動

| 職ならん)これに包圍されるに至しの地に横行しつゝある總頭目金山 | 機関銃長銃炎銃等揺籃鷹常になりに頭目や縛なるも多分野鏡をの | 試・を平下屯、陳子戸屯、陳子戸屯、「常」流後頓に勢力を増し武器も消撃砲に頭目で削なるも多分野鏡をの「 試・電・零千戸屯、陳子戸屯、「常」流後頓に勢力を増し武器も消撃砲と前れてある中に機緩後がより終 匪賊に攻擊開始 殷家屯の根據地に迫る



日職場 たのは午後十一時頃である。

本な 人のは午後十一時頃である。

本な 人のは午後十一時頃である。

本な 人のは午後十一時頃である。

本な 人のは年後十一時頃である。

本な 人のは 大の様 ちにから 小が 無ければ検査でも何で 進さ ない、加之此所は敵兵が前日 りから いまの飾らにある支職本都の接蓋 の為さもれば捨でも持つて行け」 愛さ はまの様らにある支職本都の接蓋 の為さもれば捨でも持つて行け」 愛さ しまの様 もの一貫である 地震である。

本な 人のことである、地震を極めて水な 此の一貫である。

本な 人のことである、地震を極めて水な よの一貫である 地震である。

本な 人のことである、地震を極めて水な よの一貫である 地震である。 『日本兵兒好』

要も起つたのだと思ふ、一方我園 を全な際に郷叉正の様な事 をものである、此の様な事

たい。 はニコくしながら暗い燃下で口に投り込んだ、他の者も口か動からさ し始めた。

ベチ

カの

爆發

ないほど確むこ

遊ばすやう様さまにおすゝめ見た けます。子宮内膜炎「こしけ」に は中静域を使用すべきで治しが一 に中静域を使用すべきで治しが一

下職筋張り重古し

は更ける、思い出した際に、協る皆の能な。 満く無氣味に照し出して居る、夜 満く無氣味に照し出して居る、夜 ではありる、思い出した際に一人の は更ける、思い出した際に一人の は更ける、思い出した際に一人の は更ける、思い出した際に一人の

りが起り、暖ても起きても居られ、 ・暖福を伴び、また腰から肩に横 物で、顔鏡の感化する時には想し ・腰痛を伴び、また腰から肩に横

近の戦闘に於

腰痛み、肩凝る

ンパロ西露

后本號密開哈 北坡の五野江湖市連大 北坡の五野江湖市連大

雫

小野塚上

等兵

・ 原線が進めて東が何んとなくムット で、網線が進めて順次のため 子宮網 ― 就中子宮内膜炎のため で、網線が進めて順次を踏らて、網線が進めて東の膜炎のため で、網線が進めて東の地域では、東に

野水 12

この一語のカ

感はない此の一世に依り戦いは既 かの 一貫、戦に此の一貫である理 の 一貫、戦に此の一貫である理 □ 二日に豆る 離べて 六日 夜 年 く も前 地である。ことが出来た、連く 皮卵より 少能の 操縦を送られたこれより しゅい 無に徹在すること 一週間、 胞支那良民に響し 土一同原觀。

不味いお菓子

一般 ではないか、これでは のオモチャではないか、これでは 出して焼火に良く見れば子供験し 出して焼火に良く見れば子供験し 出して焼火に良く見れば子供験し

自富醫門

電話七五二八番

療骨整田前

三九通西連大

甘五七五八電

昨年中の御厚情感謝いたします。その上利洋食共に五分勉强さして頂きまその上利洋食共に五分勉强さして頂きまでの上利洋食共に五分勉强さして頂きま

版順乃木町

カフエーヨシ

ではなくは「一般なのないではあったと」とい、多くは「一般ないないでは、か、多くは「一般なのないではあってはあった」とよく申します。 します いません。 俗込のなに何んのではあったとします。

= 年 七 を終こ成て歌騰された、出席委談 日午後二時から塚天事務所三院會 日午後二時から塚天事務所三院會

哪合會參加問題 奉天地委果然紛糾 石田議長のとつた處置を糾彈 聯合會或は不成立か

(四)

さ述べ議場は更には意味を加へて一人な取消と

管 来た大いで三谷委員は を登起人な取消すなら當然不参加 緊探決の膨ら成立せず軽減 を登起人な取消すなら當然不参加 緊探決の膨ら成立せず軽減 を連測に引きすられず地委側の意 も故に今回は風滑に参加して大 特流會こなり閉會した倫出 見な述べて今致せなければ脱退 順の地形色に飛されるを遭 見な述べて今致せなければ脱退 順の地形色に飛されるを遭 は するまでである いっぱんかない。 というでは、 できるに解決なりでは、 なるに解決なりでがある。 は、 できるに解決なりでは、 できるのでは、 できんのでは、 できんのでは

登勝筆より脱彩屯の根拠地か攻撃 中後零時平第三中隊か出動せとめ の懐報に接と爨嶽高衛隊では八日

村長張維技同村提供兵張維日の原

大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地

ラヂウム温灸器

佐藤醫院

附² 出品寫眞

は哲子宮の院りから贈出される 特は哲子宮の院りから贈出される がは哲子宮の院りから贈出される がは哲子宮の院りから贈出される

滿洲日報鐵嶺支局

、時まで

B

一月十日午前十時

5.四

がありましたなら、一数も早く板だ。症状の一つでも思いなるものとも人くなる道理はありません。

で子宮崎県の症状であります。 ・ 本るもので、始終野ぼ、逆上、 して、牛麻人の標になるのば、 まなし、時々耳鳴や動物点切れか は、大阪となるのば、 ・ 本郷のを ・ 大阪となるのば、 ・ 本郷のでは、 ・ 本郷のでは、 ・ 本郷のでは、 ・ 本郷のでは、 ・ 本郷のであります。

本的に治療すべきであります。がありましたなら、一刻も早し

ヒステリー

時局寫眞展覽會

海紅一味橫行

に報告出來す困つて居

では数。べき予宮盤の顔光です。 はた危険で、悪性の子宮崖爛かが、 は突然月ギル外の出血を見るのは は突然月ギル外の出血を見るのは

夜眠れず夢を見る

月經以外の出血

醫院

大连市岩代町十番地 螺話八五九九番

閑院宮殿下

月經異常

常に真體の変易を楽します。 はて熱味出来ず、これが続けており、 はて熱味出来ず、これが続けており、 はて熱味出来ず、これが続けており

自會の諒解た来め参加するや否の

るや否や

カゲづ發起人師の經過報告あり委に歌と率天中方委員會が發起者とに歌と率天中方委員會が發起者とに歌と率天中方委員會が發起者と

らうご紙牌附近の村民は飛ご全部 中盛人に道路の興幅より猛動な要 中盛人に道路の興幅より猛動な要

を まされた、死亡を が明った は、 一郎、 黄の腕部をして 声り又 頭点に 内、 黄の腕部をして 声り又 頭点に 自、 黄の腕部を して 声り又 頭点に は である事が 明った 日の鬼の國族を使用 一個り継ぎ戦力を存して短りに銀鈴人物にて部下には多数の軍人あり

既しまさ、ありとが他然七 一般より活動を開始し金市ぼう 1 一般より活動を開始し金市ぼう 1 一般なり活動を開始し金市ぼう 1 銀衛襲撃の戦備か整へつ、ありさ後に引揚げ其主力は殷家屯にあり

と居るも戦勢な恐れ敢て戦闘戦終 禁する総谷村は職名の行為に管督を 全にして戦より神総か得他人に加

達のため七 |安東|| 曾ては陸軍将 御言葉を傳達

ない。 を会に対して、 を会に対して、 ををして、 をで、 を選がりけるやうに指みといる。 を受けて慢性に變じ形部を使して、 を受けてします。 をできるというで、 を受けてします。 をできるというで、 をできるというで、 をできるというで、 をできるというで、 をできるというで、 をできるというできるというで、 をできるというできない。 月經前に腰痛や下腹痛が起り暗 尿道が痛む

催物を中止して

盟友の安泰祈願

金州内外綿工場員の純惰

を全 報性のか合には、構能性関節疾を を報性のか合には、構能性関節疾を をでしている。というが痛み、それが潜 宮諸器管を使すに至ります。 かいります。 が如何に卓然あるいなしとせられ、世界の軽されるのでものなしとせられ、世界の軽されば、近時間にも配んに服用せらるのでもある。以て中非にある。とないます。 は、まったがして、 これ等の都近に對する治療法として、ない。 は、まった、日本のは、一部手性はで、立族に治療さるべきものあり、 は、まった、それには婦人病薬とします。、それには婦人病薬とします。、それには婦人病薬とした。 婦人病の内服療法 いたを防がなくてはなりません。 たを防がなくてはなりません。 がないではなりません。

ニシン様・蓄音機 ル型活動腐厚機 レンズト 洋服類館裝 万富屋質店 電話セハ六七

林 酒生醫院 丙

話19

6

軟造等 宴會と仕出の御用は

一般に婦人が表は、 ・ 一般に婦人が表し、 ・ 一般に婦人が表は、 ・ 一般に婦人が表し、 ・ 一般にいる。 ・ 一般に婦人が表し、 ・ 一般にいる。 一般にいる。 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一

燒機電 き械力

東語の基

天津産地直輸入

★何電虧次第何届け致します安いさ皆様の好評安いさ皆様の好評ないことをはいが課り百日金十三銭今や全く安いさ皆様の好評

とて頂きます。 季節向寄鍋、チリ鍋、 食道樂 道樂った 茶碗むし 話 = ^

女學校御指定服地 學 學 校 服 でま號六りよ號一 空 服吳 Ξ

中小

昨年よりお安う側は日末入荷致しま 高級

隨内 時科 部

(デンワ セカシ

4

八支二丁 四 西店番舗

長さ六尺の大猪

猪汁で元氣づく奉天署員

のならぬ症状ー

7-10

生殖器障碍

井上醫院

電話五二六〇番

花

と其の治療法

ではある【寫眞はその大猪】

悲親をなしこの汁で一層元氣をつけてもう一ふんばり

れは又意味ありたのもとい際り

ってはくれません。

京

現角病氣を捨難けば、 悪くなる

ならなければ、他人は決して標明を行いて、他人は決して標明で自分から消す無持ちして子宮網を治す事が記称です。 して子宮網を治す事が記称です。 からの網線に冷淡なのは生命知 戦みまずから、冷込まのやう、そ



•,, •

₿ . 4 1 4

大連市復連町

各戸に鬱金し出来る限り多額に 深は動誘せの答言

十六百

=

千

◆吉野町一四ソー 松井又治氏 夫君二十八日出生 大君二十八日出生 で 72

(日曜水)

報

日

滴

五、瀬澤、書記、監視兵の貧傷時四、常分會錦州進出に關する件の、常分會錦州進出に關する件

所聞田課長の後低に繁華

る事さなつか 地で銀工作品では、 地で銀工作品では、 は、 で銀工作品では、 を選を通じ流変験にもせず豊後地であるが第四中地で表してある人々な数派の変化地がであるが第四中地で表してのない。 である人々な数派の意味であるが第四中地である人々な数派の意味がある人々な数派の意味があるが第四中地であるが第四中地であるが第四中地であるが第四中地である。 ・飛行機整修動に概定するさ ・飛行機整修動に概定するさ り活動の無いと無行し治域ればなりでは、一個ないの有い難を発行し治域ればいる。

には 国下卒天に御出征中の某部長殿 の御子息が昨年の春晩を折られ その治療をした御禮さして留守 中頂いたものた献金する では、からない。

丁五分發弾車にて多敷知友の見選共軍
曹はいづれも八日午後四時三

察一は、膝が組んで魅った。

佐枝子は、かずかに首を様に振 で無を聴くとたの。こんな事立つ 「僕き結婚して下

鶴見爾科會院

九四八番

曾長大寨集派遣多忙本人來會 東京 三浦・芳 子 東京 三浦・芳 子 東京 子 東京 一浦・芳 子 切病人附添)

华线

神經痛・ロイマチス 等に卓効あり、從來の濕布に比し簡便にして、 塗布はよく一日有効なり。 胃 齒痛·肩疑·腰痛 炎 费力

エキホスの途布 は鎮痛・消炎の として現代醫界 として現代醫界 として現代醫界

二月十一日紀元部監はは春日郷語前十時から同校諸堂に成て拜賀式を東谷する此 紀元節拜賀式

年

七

紀元節の式典

から時局委員會委員及其數名の出 がら時局委員會委員及其數名の出 を表表の法目を天に於ける全滿日 本人理事會に代表さらて出席した を同所長及古地議長の報告會を確 と「興氏より行に関する詳細なる報

代表報告會

=

同志會演說會

原平之助氏は八日午前十時半出餐 で東京支店に築戦の監地支店長他 権選正金銀

B

す

(146)

B + 月

天 ばされた伏見宮殿下感謝率告祭の 倉を贈き海軍を会部長に御就低遊り地方事務所會議室に然て幹事 時局委員會 寒天にも描らず官民多数の見送り師東の途に就いたが朦朧にはこの

金

「此家を出るさして、それからごとかうさつきめなら

一、本年度行事に関する件 一、本年度經費輸出に関する件 一、本年度經費輸出に関する件 時、はし内心悔になるものがあるが、 れてゐる意識を語りともの、好く解へら れてゐる意識を表出つ高端なる人 では職和性に富み出つ高端なる人 な人有志協議の上部性の齢り在性 より残ふここを性むの齢り在性 より残ふここを性むの齢り在性 より残ふここを性むの齢り在性 より残ふここを性むの齢り在性 より残っことを性むの齢り在性 より残っことを性があるが、 はと内心解々たるものがあるが、 動は金州官外にも彼久ずる事か豫 動は金州官外にも彼久ずる事か豫 の留任を陳情 「伯父さんが承知しなかつたら?まず」 「子供の生れるまで、松村に蹴り

てでもなします」 「子既に親はないんだから」

紀元節琴賀式

元時三十分より民政器に然て参賀 元時三十分より民政器に然て参賀 で、あり同十時三十分より小學校々 で、また行為等 旅

滿洲號の献金

中込んだものがあつたがその手紙八日繋 旅 順署へ金五圓を 飛行機

郊外土地

貸家 家賃十八個

部及び銀織分隊へ転出の保柱網 出の川邊際部、長衛へ輸出の櫛田 工氏出發赴任 禁天へ帳

「あなたは、それで別の結婚をす 「その時になつて見ないさ、

無持ちやないから――とう此上、になるなんて、そんな餘裕のめる。 現在の壁間がいや けなんでするの――そのがかよっことには居られないつていそれだ

わか 「僕は何だか、洗ひざん

しさうで自分がこはくなった」 「云って理嫌。すつかり信はない

一六七八

金融 (共和国) (大学社会) (大

和面談 姓名在 社經報 经名在 社 家政婦(A融派遣) 附添婦料金最低應調相談

東生流議曲 懸切に手ほざき 変生流議曲 懸切に手ほざき 十時本人来社「國際運輸底務課見込の者履歴書携帯十二日午前見込の者履歴書携帯十二日午前年本業又は今年卒業 器電源具氣

頭痛しはかっぱり

から

番だ

約

蕊

近々大量人荷暴 集

引越荷造 海陸運送 通關代辨 電三〇一五・八六八八番 電無器及スタンド 頻 常然器及スタンド 頻 が 洋 行

給仕

大連市 **武**藏町七 **增田貨物自動車運送部** 電話七三七〇番 要責元 日本 (高楽) 局 要責元 日本 (高楽) 局 要責元 日本 (高楽) 局 服替大連四四九一

得利ないる。

グロリヤラヂオ 八 五 球 球

カニニ年型驚異的優秀品 を 流ラチオ

込 殺 なる申込 到 も早い者勝ち 一日 電氣

店約特



金九 拾 數金 九 拾 數金 九 拾 數量金 九 拾 數量金 九 拾 數量金 为 无 簡單

譲店 郷を店 郷を店場所初音い 機花臺九二矢野まで御座

大連市二葉町六大連市二葉町六

〇 鈴木丈太郎 電四六九二番

大山通

対人が対対があれる。

十日午前十時より午後四時まで満級クラブに院で呼信。るが院列する熟して今時の単紀八日前に物語は今時の単紀八日前に物語は外日、日前に物語は一覧の僧値が出記してきるが、一覧の僧値があり、大場無料につき多数の来場を

此主催時局寫眞族院會は愈々今 時局寫眞展

同胞達に種痘

寄せた原衆一同は多大の感動を受

受一良好であるが高い長は左の城の間、原東成績良好さなったのは、 東東成績良好さなったのは 城種観、間の際来戦勉章を信めた。

は出印に限る

古本 高價買入、御報参上 紙は出印に限る高級紙生漉お使

電話五日

井文 大連市大山

吉野町一

萬堂 電話七八五九番

の御用命は

有第三五電車第四階大

「僕は、内心、あなだの膨胀なるこんでるんぢやないかさ、小があるしくなつた――」

貸衣 裳 日陸町 三

「恐るもんですか――あたしはー

女給 有望 麻家た求む本人午前中來 事業特約販賣店及男女手

学衣 紫暗霞用 電話226

邦文 短期養成 が タイピスト 不用 品親切本位買受常薩町波邊商天電話六八 不用品壽

院部消九六常四三○八 英學会 中不下知期養成甲膏廳需 大連支部電話八六個外三段上導 三個別心者動 73 品書講学産 イワギ町 新古樹 美濃町七九番 美濃町七九番 「電電で入海」 「電点で入海」 「電点で入海」 「電点で入海」 「電話で入海」 「電話で入海」 「電話で入海」

電五二九三番

電四九一六番

商會

引越荷物運搬

光吉

金庫

婦し病に効果偉大 婦人病に効果偉大 禁止市山縣通

沙河口販賣所の開放力を記性、威門流行。 関性・威門流行 関性・威門流行 関係の発きに 四ツ目印 にんにく 葡萄酒を

電話九宝五番電話九宝五番電話九宝五番

大連市二葉町一

小鳥與各種販賣(殿三四五一番) あき味さ滋養に富む好飲料迅速配 る美味さ滋養に富む好飲料迅速配 を美味さ滋養に富む好飲料迅速配

未成犬、発質に備られ

特製 克入大福餅 一個 販賣

モカの牛皮

! 新發寶

太田家畜病院

自動車裝飾本商會

乳兒性婦質費にて御預り数・ 現外性婦質費にて御預り数・ 一間 一間 一間 電記七九〇三番に

圓也

みコタののバ はまた余り遊すぎカなれ と云ふ筋合の方々へ 廖 十五錢で一

ライターは余りに眩しい 监

貧血·病後衰弱·虚弱乳幼兒 感胃豫防·呼吸器疾患·便秘

日

满

ミンBの豊富なること生物 芸だ肉類に類似し、その地 養養價は精肉に三倍半する を計量された。殊にヴィな 量された。殊にヴィタ肉類に類似し、その組成亦尠からす、その組成合有量極めて多く、脂

複雜多樣なる驚異的成分 は世界の學者の興味をそゝるところとなり、等の事實によつて、ヘーフエ菌の有用價値

E來その成分と應用に闘する研究報告相次いで發表せら

疾病の根本に作用する新生物製剤

ヘフエー菌(千五百倍大) 酵素研究の大家ハーデン博士と

生を防ぐに效果のあつた事が認められた。
お古に給與して、脚氣 (フェー黄(子五百倍大)
最高位にあり、英國の
の場合なること生物

へーフエ菌は出芽菌に属する微生物であるが、蛋白軍隊の食用に供した事に始まる。 に供した事に始まる。 が始めて世界的の注目を引くに至つた るが始めて世界的の注目を引くに至った の如く想はれるが、ヘーフエ菌の價値 は るゝに至つた。これを築養素の點より見るに、單に蛋白は るゝに至つた。これを築養素の點より見るに、單に蛋白は るゝに至った。これを築養素の點より見るに、單に蛋白は るゝに至った。これを築養素の點より見るに、單に蛋白 同様なるグリコキニンがある。

一見何等の繋がりを持たぬか 争とへーフェ菌!この兩者は

活性酵素 今日までに知られたる如何なる榮養上の如き貴重なる榮養素の集成が、

『わかもと』は實に我國に於けるヘーフエ萬劑の創始である。 名譽教授、澤村真時士 よつて完成せられた のである事が發見せられた。東京帝國大學 得なかった幾多の卓紀せる長所を付するも りも、 醫樂として従来の化學製劑が企て ころであるが、夏にデアスターゼ、グリコ物、榮養劑にも優るべきは疑を容れないと 至り、つひにヘーフエ菌は榮養的價値よう各種活性酵素の含有を實證せらるゝにラクターゼ、プロテアーゼ、リバーゼ等ナーゼ、マルターゼ、インベルターゼ、

の總和で、その力とは即ち酵素の働きに外ならぬ事は近代氣の鍵を握るものは、身體諸器官を組織する幾于億細胞の力 生理學の證明するところであるが、『わかもと』は細胞原 病の根本に作用するといふ事である。吾々の健康と病性ヘーフエ菌劑『わかもと』の性能を要約すれば、疾 形質に活力を賦與して、酵素作用を増强する效果が といっされば之を 関して、空腹時に がける 胃痛を 寛解しては、 過剰なる 胃液の分泌を制 著しい。 されば之を 胃臓疾患に 用ひると、 胃酸過 せ 勝きは驚異とせられてゐる。

世 勝きは驚異とせられてゐる。

世 勝きは驚異とせられてゐる。

世 勝きは驚異とせられてゐる。 に對し、常習便秘に對し、共に效果を見る。に對し、常習便秘に對し、食後の膨満感を消退せしめ、慢性下痢 しめて、結核菌の退勢を實現し、毒素の發生を尠に結核疾患に對しては、體內に溶菌性物質を増加せ

胃アトニーに對しては、弛緩せ

藥價

三〇日量

◆送費無料 能們用二三〇錠入 一國六十錢。八〇〇錠入 五 國五十錢。 御送金次第一個にても急送すーー

大門內際藥 支店 出張所 所在地 養と

海外代理店

發賣元

理

店 大 連市

STREET TO DE

校・対開発にて自動車かので蔵にかい、あ本郷風崎本小學校に建に出まり、とストー郷之助氏は東京第二届民政とストー郷之助氏は東京第二届民政とストー郷之助氏は東京第二届民政とストーので蔵に

はストルで狙きされー をは左腕部、 い数は左腕部、 いからこ数目は他内 のもなった。 のものものものものものものもの。 では、これのでは、こ

满

の罪と憤慨

政治道德上

誠に心が

二年

七

車のドアを排して降り立つや群衆

A

+

青山博士の

(七) 三衛所の致命傷

男ましいうちに優し

い陸戦隊

を與。

んだ、すると土盤内の兵士達も出 上海にて 日森特派員發 五、六名の支那人があつた、六十二歳候の老人を始め、鬼女子供の一人は一歳候の老人を始め、鬼女子供の一人は一点ない。その中の一人は一点ない。

をといれている。 を関係をは単純で全部日本へ を関係をで、生々しいものばいまかけてある。 を関係をで、生々しいものばいまかけてある。 を関係をで、生々しいものばいまかけてある。 を関係をで、生々しいものばいまかけてある。 を関係をで、生々しいものばいまかけてある。 を関係をは、 を関係をでいる。 を関係をいる。 を関係をでいる。 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでい。

能哉 に続せる支那人

に異松河な渡り泉 院後トラックに乗 中な危険を置して 中な危険を置して 中な危険な置して

上海事塾の影響へ受けて大連、上海事塾の影響へ受けて大連、上海事塾の影響へ受けて大連、上海、影話を除せて個か六十一名で大連より上海間はなほ少く四日田町の家天丸の畑きは値か七名のおばかりであるが、影響は後後であるが、影響は後後

が続く、兵城部のがで苦心して動いた。 できばらなく、「でかりをない、 できばらなく、「でかりをない。 できばらなく、「でかりをない。 できばらなく、「でかりをない。 できばらなく、「でなりない。 できばらなく、「でなりない。 できばらなく、「でなりない。 できばらなく、「でなりない。」 できない。」 できない。。 できない。。 できない。 できない。

三月十日メ切

本年は特に高楽事経も終結に 登録も益々向上する事ご存 でまず何平舊つて御入

偏に御願い致します

早くてきれいになる后

命回

感激する邦人

當分一船

氣盛りのこと、て羊羹みたいな

入り

上海航路は

初の

さ締めてるた命を助けて

まれて三拜九禄

中用トラックに乗せて安全しい點がないので、その一

|職より過激された〇〇一分家と愛婦院を育する小鏡の〇日数 八一午後三時代記 | 職〇〇秋尉の指揮する小鏡の〇

高分体就すること、と上海、大連
高分体就すること、と上海、大連

軍は期せずして一層に萬能の動

実帯無の狀態で大連冷艦では柳陰 つたばかりであるが、 質嫌は徃復

祭た撃行したが在留民多数参列とり本年二月九日迄に名譽の戦死を

分若機纏銭、弗上夫人その他附添 (東京九日餐) 帝大常山外科で經 (東京九日餐) 帝大常山外科で經 遺骸は自邸へ いひ井上さんこ言ひ正々堂々た一世にもありません、濱口さんと一切らないあまり突然で話をするのにお氣の程で何ごも申上げや り本年二月九日迄に名譽の熈死な遂げた將土の盛大なる馳戀り我特務機關內大廣場で純佛陳式により昨六年十二月五日よ【ハルビン九日發】第○○獻記会部に九日午後一時三十分よ

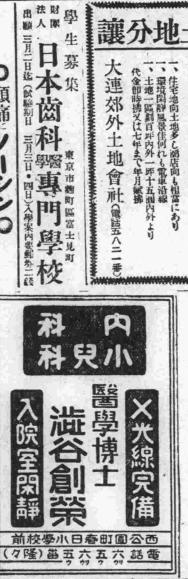
機事は現場を臨機した

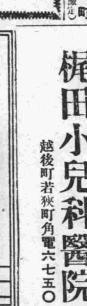
民家を掠奪

滿洲號献金者 その後に

大連靜浦同見晴臺同初音町其他 保高見里新図舎に於て皮業の強定し大阪市外 守口町

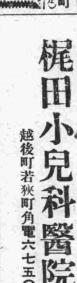
大連郊外土地會社(電號<三)







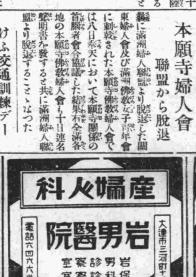












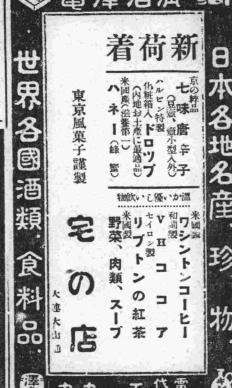
・クドライト並に尾ばには特には 本月は従来割合に違反の多かつた。 本月は従来割合に違反の多かつた。 後九時まで行通調派デーであるが十日は例月の如く午前九時より午 けふ交通訓練デ

無**錢遊興告訴** 住所不詳

東京齒科醫專

集為原語學及經濟學東京市外大井町學文部大臣指定。特典卒業無試驗別業







代理店 デワーハウス 意脈八三〇四番 沙河口元町 か河口元町 總發賣元 電話九四六〇番 **=**

完 餘 大 德 洋 行 價發賣 御電話次第早速配達致します

滿洲總發賣元設置記念のため **芳醇佳味、如遊仙境**

潞日本正宗

E.S.

地域をでは、 一般を主で、 一般を表する。 一般を、 一般を、 一般を、 一般を、 一を、

申込所人

日本瀬木原吟醸

學生父兄ニ告ク 志摩洋行

なつた

滿鐵重役會議

ゆふべ東京駒本小學校玄關で 名直に捕は

八時城職本小學校:着多自身自就不可以不時城職本小學校:看多自身自就不由了午後 犯人一名は直に逮捕された『寫真 群衆が押寄せ 上山外下外科 並 低 警師等監けつけ 動力上氏脈からは夫人を続め家人一 * 押上氏脈がらは夫人を続め家人一 * 押上氏脈がらは夫人を続め家人一 * 大小下外科 並 低 警師等監けつけ 動力

震聴艦を組織せんさして活動した 住町新田稿大郎氏は難に國民党を 住町新田稿大郎氏は難に國民党を

慰霊祭は十三日

管を繋行するさ 管を繋行するさ

櫻草

電65

大連神社紀元節祭

紀元節祝賀式

十三日錦州の陣中で

当特派員等の

通した銃艦したが左肩下部胸部に貫 兇變は豫 て覺悟

犯人を逮捕

國家の犧牲、心殘りは無し 千代子夫人の挨拶 日滿間放送

成績良好 あすから實施

大阪郷日新職特派費さして総州攻。 か確定した後畿に機へ除つた山口 大阪郷田新職特派費さして総州攻。 か解の室の配配社会部隊に従軍中一 大な歌歌が招はれ、十四日遺幣 内大での支那人二名のが鑑は凡少る手。 さんは大報社会主に博氏的派で十四日遺幣 内大陸を振して機能と表におおいると、な 機能を要して地からした。 これの 直に変天へ向ふが鎌州で招はれる 中うつく八山鎌州に逃び九山在總 整盤祭にも参列することいれると 軽忠 からつく八山鎌州に逃び九山在總 整盤祭にも参列することいれると 軽忠 からつく八山鎌州に逃び九山在總 整盤祭にも参列することいれると 軽忠 に 賊團逆襲し來り

際に電料一和ら取り働きす見郷 にで受けた千代子夫人は直に帝大 で受けた千代子夫人は直に帝大 で受けた千代子夫人は直に帝大 電の運撃長たる井上氏さ思ふ存 が、原政友會総事長は語る 井上氏の財政經濟政策に對して はもさより反對であつて、民政 が、民政大會総事長は語る ・大原政友會総事長は語る 兇變頻發は **外原政友幹事長**

一日の住民より實施される事さなには試験の成績既る良好で運信者には試験の成績既る良好で運信者に 旅送これを金澤と根帳で受け金澤の何いかを分間ニュース日蔵音樂の何いかを

八は約七千名

意か機の遂反者は殿軍處置するさへッドライト並に尾紋には特に注

を維持に止管してるたが共後四谷では野に上管してるたが共後四谷では一葉龍會員等世種次郎方に転送の駅間に新したので同居中ピストルを手に対してるたことが期明したが監視してび渡りの緊
を検維策に上管してるたが共後四谷では一葉にある。

けたが愁色を眉間に漂はせの呼響の報に直に帝大病院

きのふ奉天丸歸港談 より二十三名を載せて來たが貨物

◎特典樂劑鄉無試驗免狀下附 ◆出顧 三月廿 而國女子薬學專門學校

幸校

哈市特務機關内にて

『東京九二發』急報に依り青山博 等駈つく

戦線の

犯人を取つて投げつけた 案内の駒井氏語る 創は三ケ所で射入口は胸部左に完全に絶えて既に危険ね越

百六十二キロが配へ突如兵中四百 野者と野政にも中

件續行公判

ベンゾリン事

オラメル(軍隊はからなりなり)

かく不自由勝ちの陣中さて食機かく不自由勝ちの陣中さて食機をいためないのさ、兎では眠暖をいためないのさ、兎

第九四

鈴木克流吴服店

大連市但馬町

振替ニハニセ

の頭痛にノーシンの

製きを使れた値 も従軍の時など も従軍の時など 代金郎時排災は七年まで年月賦排一、環境閑静風景佳何れら電車沿線一、環境閑静風景佳何れら電車沿線

「雑館があて、こらんなさい」 九回滿日勝繼基 「ちゃ、私のお友達」 十一時湯送氏二 交際か器に見せてる初節的 交際も落目で一人二人逃げ のき、始め 原門のき、始め 三 吉 立 去 志 夫 志 大 尤 古 吉 吉 立 去 志 夫 志 大 尤 当川酢味丸 放送り

(日曜水)

順 東京市芝區二本櫻一ノ四七國民 法律社參行 法律社參行

院發行 定價五十錢

まして、氏の

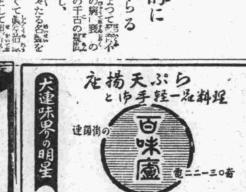
本英語講座「テキスト」。 本英語講座「テキスト」。 本英語講座「テキスト」。 ・ カラストローズ・サンマフア 十日自午後六時五十分 電地から、競賞が全、包含、病性物、理學にはは、過気ので大なる吸 を対して、大大大な表が、一般の有名なる となったが、競技の有名なる のが対が講ぜられてゐたが、近代。 を動して、大大大な表が、一般の有名なる のが対が講ぜられてゐたが、近代。 を動したが、近代。 を動したが、一般の有名なる でも他の要説は各は門際等者には、他の有名なる のがく全世界を展覧し、我願にか のであるから、先づ美にない のであるから、先づ美にない のであるから、先づ美にない のであるから、先づ美にない のであるから、先づ美にない のであるから、先が美に形成する を対して、 であるから、先が美にいない のであるから、先が美にいない。 は本が要求をがある。 たが、近代をで記して、 であるから、先が美にいない。 のであるから、先が美にいない。 のであるから、先が美にいない。 のであるから、先が美にいない。 のであるから、先が美にいない。 のであるから、先が美にいない。 ではによって、 等理脱を敷放し行 ではによって、等理脱を敷放し行 ではによって、等理放を敷放し行 ではによって、等理放を敷放し行 では、全に必要すると云ふのである。

な、「大学に強めて安全にあ、からでき、ある、されば大い器が高さくなど、大学に強めて安全にあ、からできなが、歌娘し、云を歌歌化していくのでは、一般でものになった。からして、大学に強めて安全にあ、からして、大学に強めて安全にあ、からして、大学に強めて安全にあ、からして、大学に強めて安全にあった。からして、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。から、大学になった。

一同二幹結果ナポスル 三十分前服用 1 大原 類 局 亡 日本変乗株式合社

滿洲總代理 混洲發質元







が最初が を制度がし

清月月 て後七四〇七山

工気を出 衰弱を

用養の鍵鑰、蒸領極東の ・轉換期にあるソ佛關係 ・轉換期にあるソ佛關係 ・轉換期にあるソ佛關係

特許療法器世界

効力を確認せ 々たる名数を 53

神楽の不健全、不能に深く関係あった。か、 たまは 質に見 子としての資化 か、 たまは 質に見 子性器の大いである。 がくの娘く見子性器の大いである。 がくの娘く見子性器の大いである。 がくがった。

高世年命由中五年 日底一本二十幾七一 之樣以上

安度は引立を考り



(八)

女は呼う云ふ調かためらつて返すとて観くお夏ん間ひつめたが、独して観くお夏ん間ひつめたが、独

を云つたのではないかとも思はれ も分の正體も知れなかつたことは せめてもの幸職だつた。

の下で難しい恐怖に身か離ましてをしなかつた。見るこお夏は侵職

(192)

另子生殖、器 onth

月

七

+

さ訊いた。山うばの假館は暫く

一にする、老は悪い群性名が変にものを不應して、こので、民は北方法によって、民は、ののを不應して、こので、民は、のは、人は、のでは、ので、民は、のは、人は、ので、民は、ので、民は、ので、民は、ので、民は、行法によった。 まなく をおきないをおからいます という。 ものは、 であり ものは、 であり カードボッしたる ものは、 であり カードボッしたる ものは、 であり カードボッしたる

配せたのである。か

洲

に來川以下なる。 心隆

日

满



宮内省御用達味の季本舗

木商

店

(標商錄登)

仕目されてゐる

大部分を

を一掃し得べく総影解決の夢壁が置かれたさ批評してゐる、フランス側では一月廿八、二十九ツ代表部有力者はこれで日本は第三者から蒙つてゐた事務總長ドラモンド氏以本日上湖事俄現地調整製の觀告書を理事會に適告した、 辞報告は概し

誇大無根が多いとの印象を與へた極機で支那印刷の野烈に佐る十日の緊急強事會に支那が如何なる

このいたけは誤解し載るこいつてあるが全體としては支那の情報

た範圍を出てざる

盛り返す

便衣隊活動

争件

限定の條件で

で昨夜の好きも概況戦烈の大刀隊ではす我空軍の活動意の好くなら

慎重に詮衡 滿鐵經調委員

に、というになる……。今の世の中には、というになる……。今の世の中には、というになってやつと深いい。

の ままな 描さなければ不呼症は 細数 はその 単記 も無視して 眠れないと はその 単記 も無視して 眠れないと

からいよ人が多いよ人が多い

カ

2

敵陣地に

华永久装備

も獣霊の飛行機が出動さた と徹底前に爆撃を加へる常で今朝 と徹底前に爆撃を加へる常で今朝 が

はみ

動力は執睡

影飾の一つさして列國利害を均しくすとの主旨により應諾する方針に決定した、 卵くてジュネーダの警察として承諾せば戦闘にこれた現て上海事機養後愚難にしたい、さ我政府の愈敵を求めて來た、 焼粉鯛は 世脳事慨は 支那の揶然東五瓊「日支赤鯨決問騷鯨決のため第三國穴入の下に日支直趨突潑を開く」を覧に上海事慨のみに関し滿淵問題を含まぬもの【東京九日贄】上脳事代の解決に手古掛つた朧監のドラモンド事務總長は非公式に過趨寒、米、佛三國が็懇懇し我撰懇に會ひたる郷際穀[東京九日贄]上脳事代の解決に手古掛つた朧監のドラモンド事務總長は非公式に過趨寒、米、佛三國が็懇懇し我撰懇に會ひたる郷際穀

吳市县 長内 外· 四留區 退去勸

交涉進捗中

通告に對し共同租界は嚴指揮官た

だ、米艦隊の公官に難じ 留品域一貫

脚方に決した 一帶を砲撃し した した

附近に壁に完聚し一躍は来總領事館の上をかすめて襲浦口に落下し

支那側魂膽

、この冒険(十七)

插畵

順三

たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 をはいました。 ないでは、 ないでは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でいる。

のが、もの理的な原法であること

史

謎

中立職体のた。附近すべして管明した フ將軍の言明 に素八月数 支那側の租界攻撃 を呼の租界攻撃で英、米其他名園 今回の租界攻撃で英、米其他名園 今回の租界攻撃で英、米其他名園 たこいはるゝが、支那側は ないのである。 て所信を断行する事に決してゐる

「それでよろしい」
・ はでのまい数で立つた。
・ はいからくことにいたしませう
一度にひらくことにいたしませう
開島さいふ男は手を延ばした。
の問島さいふ男は手を延ばした。

部盤には他一人さなった。 がの人くの事が他の頭腦を、程 なのとこと、小孩子のここ……東 さりこと、上海のここ……東 ここは(惟は人間を殺さなければ、 をの中でハッキリと思ってゐる での中でハッキリと思ってゐる での中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる をの中でハッキリと思ってゐる

「次を」

兼務か免す兼務か免す兼務な免す兼務な免す基本 滿鐵辭令(九日附社報) 經濟調查會委員 岡田 卓雄 愼次 雄男で、伯が一番後になつた。 変順さいふ男が三番目を取つた なった。 麻雀解はテーブルの上に、一個 で、何んの選擇も入らず、却て で、何んの選擇も入らず、却で

情者さらて、見ら知らない人間な数。 かい。喧嘩ならて無能で数すのではない。喧嘩ならて無能で数すのではない。

開始

時半大連港外着の鎌定 十日午後零

これはたまらないことであった 智厳家の彼は今日迄に、猛戦や 土人を呼吸り殺してゐた。家古で

すのだし

にあり、吳淞は九日總攻撃を開始してに與へ吳淞は飛行機からの蝦螂、驅逐艦からし級総なる破職を加入敵彈は共同租界内

北四川路

路、餘形坊を中心に落下し多大の損害を市艦師中命節奏表、敵は午前十時頃より午後九時まで事代養生以来

を開始する豫定で

を夜襲

闸北七全線

湖は城の結果該運動は更に選化するに至り、 殿々暴力沙次を性するに至つ八日景 本日公表された上海事件詳細なる報告内容は城戦事件の結集七月

發表の報告内容

人の多数居留する間、一帶の保護並に秩序維持に任ずるため、突如支那人義勇軍のたに至った、同日午後に至り上海市長臭鐵城は日本の要求全部人習過してするため、空戦隊を上陸せらむるに決した温馨に至った、同日午後

本海軍司令官の要求を容れず、軍隊の搬送を行はなかつたのは明の職共同租界東亞館でを區別する間を通過せんとするや、突如

支那側の武力抗争を受けた日本軍の行動は共同租界の际備計畫に基き必要の場合許容さた。一方日本常局は日本側の行動は上海市長に提出した製造さは何等關密斯へ製するに保護の必要に基くものなるを主張してゐるい、一方日本常局は日本側の行動は上海市長に提出した製造されていた。吳市長は日本軍の行動に對し領事觀を強硬に抗議を提出のた紹興である、聊くして日本隆戦隊は支那軍の意義するさころさなった、吳市長は日本軍の行動に對し領事觀を強硬に抗議を提出のた紹興である、聊くして日本隆戦隊は支那軍の意義するさころさなった。吳市長

住挨拶のため九日市内各方面場奪吉氏(普蘭店警察署長)

本職高等課轉動投送のため九日本職高等課轉動、九日午前九時寮赴任社輔動、九日午前九時寮赴任社輔動、九日午前九時寮赴任社輔動、九日午前九時寮赴任

春五郎氏(同地方部座務課長)九十年方面歴訪 氏(滿纖理事) 風邪

(陸軍歩兵大佐關東軍 己へ滿鍛吉林公所長し

発れり運命。 立に自慢せれば、外國の干液は國際都市逃路、壓断な中央政府 「助かった」

[漢山八山發] 湖

北、江西の共産

敵の精鋭逆襲

漢口で日支紛争計畫

に出て日支給等

も早く陰つけんと機會をわらふ。「鳴って、総下館に向かつて・大艦日本の壁明を要素す、理事會」をうだ懸撃のサイコロが・館に上海事館現山郷産委員の報告書・

| では、では此方へおいて下さい。 | では此方へおいて下さい。 | ではれる人をのからた四人の諸名 るが、英口に飲む。 ではにもあ 「松村さんをロかしに見しる。 一覧政府は小規模のものは他にもあ 「松村さんをロかしに見しる。 英口に共産政府開立の計畫、共 数されなければならなかつた。 で似ばごうしても人を数すか、

能へ置るまで追究を要する

事會召集

フランスは一定期間自國の軍備 フランスは一定期間自國の軍備

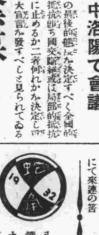
危機に立つてる聯盟規約の理

上海事件審議の

顔支那代表から要請

帝國銀事際の報告を に基き同事他な歌聴するもので既告海における最も恐 徳事順より成る調査委員會の報告 版事順より成る調査委員會の報告 は多分明後は(十日)午前院會會 る

野時中である 「大阪この際ではなり日下」とて前進中なるた要見同方面に向に陸殿除りの名か上陸せとめ日下」とて前進中なるた要見同方面に向いていること、なり常磐、出雲から更「び鏡道沿続部隊に對する機能隊と 江精衛、鷹工群の贈来が待ち政府 と 後常際に帰着したが、今明日中に に 後常際に帰着したが、今明日中に に 【上海九日發】本日午前十一時頃 支那側最後態度 敵陣地を爆撃 今明日中洛陽で會議 に に止めるか二者何れかな決定しで が の最後的態がな決定すべく全國的 『上海九日登』昨夜から全朝にかけて約一個中隊の軽が三義里の一部隊を襲撃して來たが我軍の反応 地に爆弾一個を接下した地に爆弾一個を接下したの動車が最大が高く、我電爆撃機は十一時十七分間北水道東ンクの北方の顔車 全滅す 敵兵反撃され



に對し同情を表明するに至り、從來動もすれば日本に反對する傾向のあつた各國代表部も俄然日本等態を正解するに至り、從來動もすれば日本に反對する傾向のあつた各國代表部は何れも初めては我だ公表されるに至らないが、第一部織告に関すると判明職に日本の武勢を襲音したので、各國代表部は何れも初めて上級告した過じて、支那代表の報告が宣傳と捏造による。誤りなる事が判明するに至った、尤も報告告の他の部上級告した通りで、支那代表の報告が宣傳と捏造による。誤りなる事が判明するに至った、尤も報告告の他の部上級告した通りで、支那代表の報告が宣傳と捏造による。誤りなる事が判明するに至った。尤も報告告の他の部上級告した。

敵を砲撃

報に擦したので非軍より攻撃を端を期と再び酸の逆襲あるべしこの

十師祭廷樑の部院核二千が吳池及祭によるさ江郷東馬場方面に第六

陣地なも攻撃を開始とた 電地なも攻撃を開始とた

前進中の

破除は直に前線に出転命令を受けて総験が開始され年後十時我邮制

『上海八日数』本日午後三時本部 前の道路に厳の野破魔溶下炸製し たため電燈電話線地臓され本部は たため電燈電話線地臓され本部は である地でである。 大本部は近に落下したので非野砥

谷國代表俄然日本に同情

ま中代の何進齢を聴し合さる、御戦二下 八日松崎元満 無中代の何進齢を聴し合さる、御戦武に、支那満洲 に、支那満洲 に、支那満洲 に、支那満洲 に、支那満洲 に、支那満洲 に、支那満洲 に、大田松崎元満 の程度しる

いますか、一、二、三・二
五人は同時に手をひらいた。
白牌は伯の手の中にあつた。 三で開きませう……よろもうござ

の行為 あつた割だ。 あには離らないさころの、野性臓

とから今夜の人数とは、まさし

つそこの能が続されただがい

らざりが素であります

対 筋肉の痛 乳のコリッウマチス

既やかに話しながら通つて行く。
部屋の外を人が通つて行く。

六 百

全廢を希望する、更になんが、特に潜水艦に関し

ならぬイギリス政府は軍権なる壓迫を加へねば

して先づ徴兵を全

微兵を全

=

水艦、

徵兵全廢

兩國

日

0)

軍縮本會議

共

犀軍陰謀

サイコロは投げられた た。 會長室に會長があた。 それは武村衆三であった。 その権に共代脈が膨をかけてゐ

日た。が論支那路で云ったのである時村は窓ひながら鬼は城へ云ったのである 入會式の際會長の機に、これも できるの男であった。立つてるた

-E==



お年寄の衛生

「飲布」の作用は かきの 29% たいまる 10で 常に かな 25% からして 25% からして 25% からして 25% からした 25% からしん 25% からしん 25% からしん 25% からしん 25% からしん 25% か 房藥

邊渡證館本

□・十回(試用分)五十銭◆

弘養職院(振誉東京七七七七)弘養職院(振誉東京北七七七七)

産婦人 婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 電話 三 六 六 六 番

順宮さま

VC

いては交易療士祭地の風気氏が参談な指導に置つたる。
「なり漫草樹類の吉徳人秘広にて影響中の戯ほど完
、なり漫草樹類の吉徳人秘広にて影響中の戯ほど完
、なり漫草樹類の吉徳人秘広にて影響中の戯ほど完

新低大連民政器是恰內鐵多氏は九 一年前十時五十分資産車で膨脹監 世底称、三浦財祭、山中地方祭鵬 を以下器員多數の出述へか受けて を以下器員多數の出述へか受けて を以下器員多數の出述へか受けて を放析しまれた。 の被拶んなも同十一時半民政器に の被拶んなも同十一時半民政器に

不國召還罷免か

八雲の

乘組員

市中を行進

多がある見込『奉天電話』

新城子を警戒

張軍馬賊擊退

昭和七年一月

紀元節に大連神社に参拜し

市民感謝大會に参加

天電話』
下移航警が歴にて職電警戒中『奉下移航警が歴報さんご計議中のため目下移航警が歴にて職職中のため目下移航がといいませんご計議中のため目が表子を抱る所述により、

奉天署員出動

ディ管理局長

もの、如くその場に一中より散見されてゐるさ

日から一日一往復運転を行ふこと 客別車の運転はいよく一座が十一

一 に排電中であり同市在住の好窓路 中 に排電中であり同市在住の好窓路 中 に排電中であり同市在住の好窓路 大は盛に日露鮮戦の戯橋官僚を得 つてるるさ

九日戦勝連した佐藤鏡道部次長は 長、山鎮工務課長等各関係者に親 長、山鎮工務課長等各関係者に親 を情況が説明し級三時間に亘つて

匪賊掃蕩

我軍損害な

鐵嶺近郊の

汤汤

ヅ寬城子驛長は馘首

關車貨車抑留

| 選問の間にボグラ終中島鏡に送ら 八日ボグラニチナヤから當地某所

響き耐密展下の御就低市民經謝大 殿下の御歌低市民大會に参加する前に然て紀元鶴密楽式を懸行ら引 に参拝し襲に影響塔に参拝、殿宮前に然て紀元鶴密楽式を懸行ら引 に参拝し襲に影響塔に参拝、殿宮神一様の能に市中行進かなら大連線社大連市では紀元鶴密日野戦の通り 機八雲楽組真二百名は極環や佐指大連市では紀元鶴密日野戦の通り

質を駆行するがこの日入港中の軍して 誣告と詐欺の 告訴を

新した。 一大日報より松樹子西南が緑一里練 機関鉄を所搾脈時トラックにて現 機関鉄を所搾脈時トラックにて現 機関鉄を所搾脈時トラックにて現 と動部線に約三百名の興暖疾襲も では、一大型は を動きが、では、一大型は を動きが、では、一大型は を動きが、では、一大型は を動きが、では、一大型は を動きが、では、一大型は を動きが、では、一大型は を動き、では、一大型は を動き、では、一大型は をある。 をある。 では、一大型は をある。 では、一大型は をある。 では、一大型は では、一大型 では、一大型

贈收賄事件の

警官增員費

支出方件決定

業式は大橋三月十五日前後に行ふ

兩名に求刑

懲役四月ご同六日

第三萬二千四百十八圓、縣餘金より三萬二千四百十八圓、縣餘金より支出の旨九日毅 一方百四百十八圓、縣餘金より支出の旨九日毅 一百會談縣餘金より支出の旨九日毅 一百會談縣餘金より支出の旨九日毅 一百會談縣餘金より支出の旨九日毅 一百章談縣餘金より支出の旨九日毅 一百章談縣餘金より支出の旨九日毅

寫眞展賑ふ 長春の時局

覆審部で分離

公判

して市内織明町北條億速を棚手取り脚管路に整点の告訴た八日大連り脚管路に整点の告訴た八日大連な際庭前のやりくりが繋跡された告訴に基出したが、右告訴に者の告訴状にとれば、先きに北條は今回の告訴人は、先きに北條は対象政難対の関も共に平田洋行の理人林新出の目的た以て田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林新出の目的た以下田洋行の理人林野は一般は一般に表示している。 市内八幡町十二番地田田奥四郎、市内八幡町十二番地田田東四郎、古の職名は小野総護士な代理人とて市内織町町北條像造な標子以 平田洋行に絡む紛糾

real Hilbiro Haller for

| 「職械等官、大田縣、秋山、中村、 | 特より膨脹高等法院獲術部におい び東城の分離公明は九日午前十一 接なることを述べ十二時二十分 第一回公列廷に於ける陳述と同 第一回公列廷に於ける陳述と同 第一回公列廷に於ける陳述と同 第一回公列廷に於ける陳述と同

署長訓示大要

署長室に納まる

静謀長の案内で大連網社。忠一場の脚示をなし更に富なり、それより署弘一局を書館

さ來任

早速署員を集めて訓示

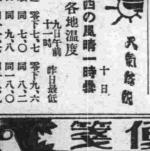
竹內大連民政署長

十一時三十五分より署以一同を費 電金に集め大要左の妮き側がを容 した

ではの事務別都ざは午後一時代から での事務別都ざは午後一時代から 職幣に数無正午ヤマトホテルの火 職幣に数無正午ヤマトホテルの火 原外決に野しその神の特定は聴き 第一回人間に対ける陳述された 記を述べ十二時二十分 離離調べに終り になる論告の上 かに間板祭育は簡単なる論告の上

市の製物館二丁目五二武田兼四郎 結婚詐欺告訴

北西の風晴一時録 **大** 天氨酸的















































十時出版することとなった







かる丸

英語ニユース

放送を始める

八萬八千八百九十二圓である











メデチーネル 切新 設 藤

李

科科

包括六五四四省 1 鑛 業

を井試錐工事應雷

精米界の 壓倒的稱讚を賜り 座 純無砂搗 断然人氣の焦點たる

斯界の権威 胚芽ハ〇%保有 BE含有

滿鐵沙費組合 發賣元 願や母す 各 八連精糧株式會社 食料品店

御常用にト

論文 8 滿蒙維新心寄與 歌詞 を募集

する

午後一時より診察開始

大連醫師會々員

同

午

前

爲紀元節奉祀二月十一日)

一部

奮つて

(<u>_</u>)

上海邦人

八避難中止

して電線に立て職るがなく就く はパルチザン式に急軍を連襲せん さしてぬるので連川銀費を連れる りが輸空隊は腰行して経線に戦敗 を爆撃してゐる、炉くてせつば語 かが、からてもので連川銀費を連れる りた際電車は長騙して経際に戦敗 をという。 では、からないの形式軍 が近に監磨する事となつた

表さして清緩本社に整問金三千国を解辞國有鐵道微製量一同は平壌運

慰問金

上陸

大連兩船大連

任務を終へ飛 行隊あす歸奉

鐵道問題を論議 けふの滿鐵重役會議 社を通じ社談に物間の幹 間金一千五百國を容賦、 雄篇の應応を希望します。
及歌詞募集の二件は左記の條件を以て必慕いたします。
奈斯春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の重大事業の中、 論文募集《題意 我社三大事業の

■を呈します
電響作五百圓、住作者には百貫を呈します。
電響作者は右貫金を以て南支方面を、住作者は満門常選作者は右貫金を以て南支方面を、住作者は満常選作五百圓、住作二百圓 十回、一回一行十五字語百五十行

思

込合ますから御早

上映致します・・・ 番インガギを 次週は愈々野獣映 『惡く思ふなよ』

十日

迄

は絶對に日延な

上映中の名畵市

・・・・断然連日滿員の盛況

人の希望

な

\$ \$ \$ 員及方法 追て發表します 期日 三月十五日 ※維新の歌 ◇題意

=

阿什河街道で發見し

爆擊

○○機は察天に飛続けることになったので十二糎をのお力れるに至ったので十二糎をのお力をは全く維持さ

約三百名を全滅さす

吉林直通列

運轉や開始

管議論が交されるものさ見られて 然消銀で後の銀消間壁に就ても根

鐵道部會議

る響で、抗糖酸田吉椒公所長も

十一日から一日一往復

七

潰走中の敵を

上海の御艇民を載せ長崎へ廻航する等の率天鬼は蒙定な變更とて九 1年後三時大連へ入港する事さなった、艦客五十五名を載せてゐる が、なほ上海長崎間迎越民輸送に が、なほ上海長崎間迎越民輸送に

1 日午前八時長崎より大連へ入港イカたる、かく既に輸送像定が變更されない。 事態能く平饒に歸とて在處邦人の事態能く平饒に歸とて在處邦人の

死物狂ひの

敗殘兵

を振いて東文を織に歌し空から軍を援助して殿坊を難じて東文を織に歌居した離に北郷いて東文を織に蠍居した離りが軍のハルピン入城に際し空かりが軍のハルピン入城に際し空か

過および現版につき途一報告する ・ 演繹重視につき途数上京後の総 ・ はって関かれ発地事から各々そ

+

(スルビン八日登) 我飛行隊係終 一般の機は八二號へルビン飛行場数 繋々さらて脱れらてるた、なほ呼 一般が後退らつゝあるな登見直に かられたが、その報告によるご解 一部にが後退らつゝあるな登見直に かられたが、その報告によるご解 一部にが後退らつゝあるな登見直に からしたが、その報告によるご解 一部にが後退らつゝあるな登見直に からしたが、その報告によるご解 一般が後退らつゝあるな登見直に からしたが、その報告によるご解 一般が後退らつゝあるな登見直に からしたが、その報告によるご解 一般がしてゐるもの、娘く山脈地 の満走兵は呼吸れが近くの祭部祭 ででは多数の山祭らしきものが空。 答述

月

七五調、六句、 行進曲式 を祝福するの歌

選作曲なき場合は中山氏に作曲を依頼することになつて居ます。 ◇賞 金 一等二百圓、佳作五名各十圓宛 ◇締切期日 三月十五日 ◇締切期日 三月十五日 ◇締切期日 三月十五日 ○選作曲選者 中山晋平氏

日

電話型式七四三 大連市但馬町二十二 大連市但馬町二十二

高價買入

金

下では目下谷野に手配して捜査中 下は目下谷野に手配して捜査中 と 大学の 大学の 古野かな は 一野 では 日野 では 一野 では 日野 では 一萬米決勝戰

本がら 再除する、なほ麻酔質取締 中ンが誘導性か響線に膨するかに リンが誘導性か響線に膨するかに リンが誘導性か響線に膨するかに サンが誘導性が響線に膨するかに リンが誘導性が響線に膨するかに リンが誘導性が響線に膨びるかに リンが誘導性が響線に膨びるかに リンが誘導性が関係が リステストルのである。 を勝した を勝した を勝した 【クレープラシッド八日發】オリ

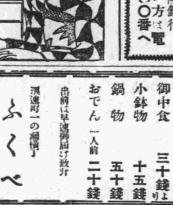
中學校卒業式

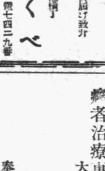
州内谷中等學校の卒業式日割は左

にて減明、欄生及び旅順高女の料二日同二中▲二十三日旅順一中▲二十三日旅順一中▲同二十



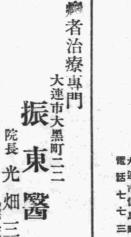


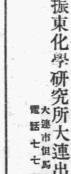




海天商 中地 (天西陽道)



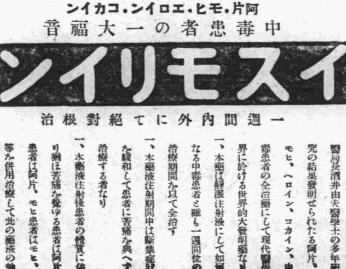




小鉢物 御中食

振東化學研究所大連出張所表連市但馬町三三

力に何等の支障を生ぜず



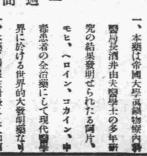
0

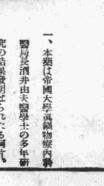
頭痛

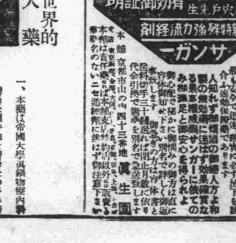
シンつ

家

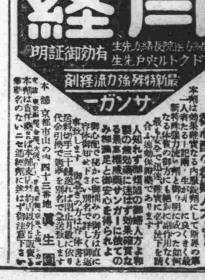
金、製作卸、











談漫

ネ

馬

鹿 (=)

れの一手段さして、 か

着い場所を選び、自ら認識をして、意識裡に、さ

藤

不足が辨へす。

た蝶へす、自分で草穴を掘っ

うに思ばれる。

は、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きであるが、まさか、そんで、決してい速力で懸数した事性である。便、軽かに概ふに、この事實に決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、決してシネマが近より好きでは、

ある――などゝ、質問された日に 男に、きうした罪を犯さしたので、

は、活動魔は全くヤリキレないか

さ、自信が、満身に融るのを魅え

社會資合苗種本日本柏町福定京東

た住岡鑑太郎が正光マキノキネマた住岡鑑太郎が正光マキノキネマーたが、今時蘭西地間の巨陰、岸ったが、今時蘭西地間の巨陰、岸ったが、今時蘭西地間の巨陰、岸ったに、暮ら駅駅のは目する前であ

かは、事ら断界の注

演者が果して誰れである

良審進星には多角形農業と同する百六拾貨の上註文

「動れ、八つの母節が一つ消えた

欲しうはないか」

九

明に継続の他が見え初めた。 特整の腰の底に沁みるやうな、もの解かな、温か味のある音楽であった。 登録動立つた性者達の双の場先に とは、温か味のある音楽である。 とは、温か味のある音楽である。

れ業に恐れを生どた糧酸の停墜にせてゐるだけであるが、最初の放

に入社と第一画作品一人前兄弟能 の主標者で決定し、新興キネマの の主標者で決定し、新興キネマの になった、片障鑑太単は六盛の時 になった、片障鑑太単は六盛の時 で左衛門受の門下に入り、東京歌 が存極でて「撮餐助六」の売に扮し

っては、千銭の鉾のやうな質味

五に、あたら春秋に常んだ命ちや 対主選・無緒な 野 ひだ と思ばの

多然を輸みに、戦

日

は定めし酒曲フアンの晩事の修さ 日にて水淡に決定した、水淡の曉 さ正式に惣紋締結し二月十四日被 ち今感帯國海連鉱協會こ大連觀場

片岡鶴太郎正 映マキノ入社

飲强

满

高によく組合、後の一人た機に

それは候樂にさつても、我なが のであつた。十二の時から竹川を把 であつた。十二の時から竹川を把 であった。 では 脱れ 製 いって 新十二年、 切塞 歌 静の 水が、

「ごうちや、まだ参らか、無益なに、悠然さして、筋らの柳の大木な後に、悠然さして、顔らの柳の大木な後に、然だからでに、

關東浪曲

殺生、仕さうない、師れ」

大劇來演決定

雲石衛門、衛日亭帝線、監 際左 郷東家樂選を始め東武蔵、橋中町 郷での本年然るに突蜒闢東配の元 での本年然るに突蜒闢東配の元

時局のため暫く休んでるた此覧供時局のため暫く休んでるた此覧供

職チエホフミトルストイのダーだ 動味でお上記な「露西亞純文藏 紫

つた▲中央味識館の「築冠派あり置チエホフミトルストイのダード

りき背眼に織へてゐた。

二つの黒い影が、悲鳴を上げて

1

武

屢い世界へ回

圏形に陣を引いて、

作業の野には、

失

(49)

水がは水府流の塗人と云ふだけに スクリーン上では鯱灰たる新人ぶ りか見せることであらう (高真は その片岡鶴太郎)

、明々たる哀音が含まれて

代表は前のやうに眼を光らせて ラリ、飛びのきざまの披打ち、とが、低樂は、それに職はず、とが、低樂は、それに職はず、とが、低樂は、それに職はず、と 、左手の長身撥騙の一人、遊 三がから、作業を膨胀しやうこ

疾風のやうな、左陣への突撃! れっ、ころぞットこ

たして行け、生きること、死力を でそれに覆いて他の者も――。 でそれに覆いて他の者も――。 さも、お芸感の命を購た友ちや」 それな、二三度縦に振つた。 落さうとするかのやうに、個

のはるびん丸無電が映画關係者に

トウミいふ發信人が疑問さなり▲ まさか帝國館時代の松竹事務真で まさか帝國館時代の松竹事務真で 歩人旅にも物らない▲この中部 ・一変属の母」か質込んだ相藻氏 ・一変属の母」か質込んだ相藻氏

きな質行する筈である

東活增資活躍

というない。シネマの動力窓に恐るべいが、シネマの動力窓に恐るべいが、シネマの動力窓に恐るべいがが、シネマの動力窓に恐るべいがが、シネマの動力窓に恐るべいが、 る、實にオッルペキは活動解してある、實にオッルペキは活動解してある。 お動態のから感化を受けたのである。質にオッルペキは活動解してある。 **建** 等 「川 作 種語 八 八 門 は物語いばかりの顔を世に送る一般化院の大火! 粉鉱する不良 巨匠デミル監督

さ良の「下の根屋の里巴」 よ見ず

世代記、報池第七原伝、藤原忠戦 世代記、報池第七原伝、藤原忠戦 世代記、報池第七原伝、藤原忠戦 世代記、報池第七原伝、藤原忠戦 世代記、報池第七原伝、藤原忠戦

者演主の「下の根屋の里巴 宵の里巴る散花エニロマ

西野ではなって では、一大連若狭町三(面通人)

粉頭する不良

……入院室完備

博士尾形一郎

子透井荒 医订

ランスウヰツ

九三二年

型

借九六八七話電

地番二一町狭若市連大 (前院医男岩) ア醫科密森縣

借力の五三話電

案御荷

Brunswick

入直

商輸

H

大連市伊勢町一〇

蓄音器 電一八四二番

ラデオ兼用 蓄音器

級

の上に輝やからき悦びの日があるか麗筆に躍る戀愛世相悲歌政略的結婚の犠牲さなれる美とき美登利に熱情捧ぐ大川二人新入社三浦洋平●桂珠子●近松里子●松本泰輔等總出演館外の高津慶子●津村博●山路ふみ子主演 怪奇な殺人事件ご父性愛の涙ぐましき犠牲を描ける評判の大名畵遂に封切……雜誌キング連載:二百萬讀者の血を湧かした吉川英治原作の名大衆小説の映畵化外木澄子 一人二役 見島三郎 刈川浪之助 季所員總出動・ 誌朝日連 加藤武雄原作●舜色入江一夫●監督印南山 ふみ子主演

●券待優み込刷刊夕聞新連大 供提別特錢十四下階●参持御

特別大興行 封切

茶小説の映畵化 全所員總出動●

前篇封切以來映畵フ 阪 羅門塔十郎

來た全大連待望 0 名畵 の血を湧か 見 よ した名篇の完結篇 天晴 42 名番組

蓄音料界の王者 ブランクウヰック 最高

混亂

か

ろ

値幅を定めて閂相場を演出

特產各品一氣に慘落

手段

よ

も参加した)

對する通告 取引人組合に

郊校 日

本日左に掲ぐる範圍を超ゆる先示するさころあつた

2

齊に

開店す

人口の銀兌換停止

(口罹水)

大連取部所信託會紅では市場の底 を勝ぐため八二階を現で左の堀 大東部人組合に通告とた 大豆、高粱、豆粕、先物取引の 海規建玉に對し増證據金を當分 の内左の通り相定め竇買双方よ リ徴取す、各賣買単位に付 大豆、高粱、銀八十圓 對獨ク

上海の

支那銀行

行に難するクレギツト一億弗中英一の一致を見た機様である『バーゼル八川登』ドイツ國立鑑 佛分の期晩を三十十間延長に意見

V

ヂ

は割管皺に達せず、それだけ

英佛分の期限三十日間延長 ジャワは本年四月一日の端境期

と、産額も昨年より約四十五萬トで、産の植宿を一割七分芹波の 東市場の需要が激減した冷めであらうさ見られてゐる。これは ガジャワはこの情勢に適應す 5 横村及反別を九萬へクターに減らば、シャワは一九三三年度の散脈

野してゐるので、大統領は滅産能 六郎の耄してゐるので、大統領は滅産能 六郎の耄した。 大統領は滅産能 六郎の耄した。 -パも目下収穫期にある砂 は大陸や滅に驚る器である。 なほ一九三二年の権信反別は十ない。

んさする 眼響鏡の際席であつて銀紙幣の 兌換は 小口のみに限り大口のものはも九時半から場を開けた、玄那觀径は強金その修養金が飛順觀符に識れ行くのを阻止せ【上海九二巻】 支那銀行と錢莊は今朝一齊に開店しこれと共に金塊市場

党機 を停止してゐる金塊市場は正年港である んさする
東部院の
歴形であつて銀紙幣の 党権

0

滿

入院題

調査 資産、信用、結婚

日報

音法務事項、相場表

が学の決算報告並考

並

金金

壹億壹千六百貳拾萬圓 (全額拂込濟)

統計 韓頭及市中在庫敷量

金銀行

電話 |海瀬取扱所 |海瀬取扱所 |海瀬取扱所

大四三

Ot-一次 五二

元は、 ・ 治療維持の能力なく場て症性 ・ 治療維持の能力なく場て症性 ・ 大変性の地を懸けるここに個人 ・ と異語のあらう質はない。 ○・・我政府の在女中立地常設定窓して欲しいこ虚寂した。

0

株式。御販引出出へ

大連株式商品取引人

地帯六十四字市連大 三ネカンレイタ零信受

番七七回回場市記載

部

をきてころは死さないさ云つてもいる。 を離なし行って居る、金店は地金 を離なし行ってある。 金融をも行ってある。 金融をも行ってある。 の振替決済)が行はれるやうにな 一經濟能發達の程度も難底我が國の一經濟能發達の程度も難底我が國の

である、要症は送金総替及び飲む。 である、要症は送金総替及び飲む。 が懸案口体がに山西人の総管する の以外は其だ懸かつたが、近時 れて飛ざ無くなり、現在構式金総 れて飛ざ無くなり、現在構式金総 れて飛ざ無くなり、現在構式金総 れて飛ざ無くなり、現在構式金総 れて飛ざ無くなり、現在構式金総 なり、または送金総替及び飲む。の

號五十六百

(又は錢舗)

か私見を述べてみよう(川昌生)

= Ŧ

満蒙に

\$6

ける

幣制と改革の

支那側の金融機關

九

◆:露東北軍隊によって終えす館かされて來た清潔の地が皇軍のかされて來た清潔の地が皇軍の治安維持によって平和な樂土さ代もつ、あるなみてもその必要、本談の得るであらう。 を謎が得るであらう。 0

電け、全座等であって、その金融で 機関はおくより存在する態式金 機構関を新式の銀行との二つに大 になったのは悪症、後庭、銀煙 であって、その金融で

ても依然容地に多数存在し、支那人古來の智性 機関であるが、支那人古來の智性 であるが、支那人古來の智性

安見越しのため精強含みである 賠償問題で 重要會談

実際な注意を集めてゐる 実際な注意を集めてゐる 大連商議役員

学から満洲公共機關職合會提出議 案中左記二項に關し協議でるため 後負金階くこ 一、資源を開發し基礎工業を促進 大連酸工會議所では十日午後三 の整理改

神戸期米

月前一部前二部 在30 公司 20 公司 20

切封日十日日乞待期间

まで卅銭

一十十七五三現 月月月月月月物 • 棉 米

海上戰時保險料率

低減に決す

危險率の減少に依つ

上海 海上五 銭 陸上二十銭 大津 海上五 銭 陸上二十銭 上二十錢 間委員會は昨年十二月十四日パー とのととなれたのでといういふ事情でチャドボルン に會合、更に滅厥問題を討論し委員會は昨年十二月十四日バリ ヤワ の主張

一段ご崩れよう

為 香筋直積 澱筋直積 澱筋直積

低減に決した新粋率(百個に付) は八日協議會を開き多門○郎ハル は八日協議會を開き多門○郎ハル は八日協議會を開き多門○郎ハル

砂糖相場慘落

8

ジャワの

減產問題

年

門相場を演じ

小林取所長

上海標金斯

平僧で換葉すれば、一封度二錢で 知の通りである。 ニューヨークに於ける粗糖組織 にある貸め、昨年婦めチャドボル

知の通りである。

九兩高

然と定期三月限の如きは〇・九七

に於ける未曾有の安値である。現物相場一セントはニニーヨー

0

ح

효

七

いれる砂糖の産業を持ちない。

これん収穫せずに ■大 豆(暴落)

三月末 ○010 四月末 ○2010 回月末 ○

滿鐵株(聢り) 滿鐵新株 三十三國 添雞新株 三十三國

午後六時中

RR

廖

RR

午後〇時半

歐米商品直輸入

遂に意見の一

房具、 材樂品、 限らず直輸入の御需に應ず 寫真器類、其他歐米難貨、特許品等何品に皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物 端西バーセル化學工業會計 湯速ペルンハート會計 總代理店 第四フローラー會計

洲興信公 根眼科 醫院 電話二一九一九智心

品

=;

毎一九二四話者 院醫 響部八正〇〇番







福越三旬野吉市潼大 院醫原相

銀塊及爲替 局教銀塊 元片四分三 局 先物 元片八分三 局 先物 元片八分三 元質銀塊 元帥八分五 五質銀塊 元帥八分五 元質銀塊 元帥八分五 三丁ナコンダ 10弗1分二 英米爲替 三弗亞仙恩分 英米爲替 三弗亞仙恩分 一 東東亞仙恩分

大阪期米 開展 1885 前場引 開展 1885 前場引

東京期米

東京株式 柄前場寄前 大学3

大阪棉花 等付大引 等付大引

銀 元枚 元芸芸園 金 (「悪枚 「記号芸閣 金 (「悪枚 「記号芸閣

監設督計

大阪株式 村前服客前場引 株式10 (250) 新 443.0 (250) 新 443.0 (250) 新 443.0 (250) 新 443.0 (250)

◆…然し米國の態度はおさか個から か何なる結束をみるかな が何なる結束をみるかな >…然と米國の態度は表だに相塞ない。

内地變らす

常市强保合

盤

座

樂飲

口活

今日の映畵での出映

七日公開●

いよく十日限り

灰!淚!淚

||□日清汽船||東出帆

市 特 況 産

齊暴落

柄**◇**前 富

階めたの禮御入大週前 開公てに 銭 十 三 討

若き女性の 映寫時間 入 市川春代主演 以 愛子共演 前 み ●●●心中の題語市全 条でなり、殺弟 痴白

連日滿員御禮 ウヨシ・ルヤシベス を製造に天もつかんエー な 製造に天もつかんエー な 製造に天もつかんエー な 製造に 大もつかんエー

央館 8 大連汽船出帆

●仁川 行(長山丸二月 九 日 福號さは貨物聯絡取扱致族 大連市山縣第二〇〇番地 東部切符發賣所へ九九一・五〇〇一 東部切符發賣所へ九九一・五〇〇一 東三五五四・七〇三四 電三五五四・七〇三四 || 松浦汽船大連出帆

型、大五·四六八一型、大五·四六八一型、大五·四六八一型、大连河等町) 衛 仁 川子 不通過 午後六時 電 一 川子 不通過 午後六時 整線縣總命令定期大連瀬戸內海線 整線縣總命令定期大連瀬戸內海線 医治令治尾道着 一月九日午前五時 中 司 着 一月九日午前五時 中 司 着 一月九日午前五時 中 司 着 一月九日午前五時 中 司 着 一月七日午後四時

東州荷揚店(大連敷島町) 専州荷揚店(大連敷島町) 水 和 入 第話も上に五・電話で上に五・電話で上に五・電話で表番級四

國際運輸檢試大連支店國際運輸機式大連支店

一阿波共同汽船

代 ● 上青 理

海至(磨山丸 二月廿六日

四平街、長春、吉林、哈爾濱其他 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 大阪商船株式大連支店

全島谷汽船連出帆

取扱所之二 商會緊緊密防之一 商會

●芝罘仁川行(京畿丸 二月十一日 世界) 最后(平安丸 二月十一日 東京島行 (平安丸 二月十一日 東京島行 (平安丸 二月十一日 東京島 (東京島) 最高 (東京島) 最高 (東京島) 東京 (東 (京畿丸 二月4

大連伊勢町家内所(電七〇三四大連伊勢町家内所(電五五五五元)

阿朝鲜细船煎帆

●横覆直行(高) 有 (高) 有 (高) 有 (高) 有 (高) 有 (高) 有 (高) 有 (百) 中 (1) 中

近海郵船並出収

○門司 神戸 大阪 帝船 出 帜

||日本郵船

一般に難し光郷が様は同一號されてゐるが、外務監局のお飲飲」と海を国際中立地一問題につき、在上海領事隊、軍事

私案に過ぎない

國際中立地帶問題に關し

芳澤外相閣議で説明

示されてゐないが、國務

共管中立地帶案

米國務省方面に

て異論

支那の門戸解放でなく支那な分に

さしては決定してないと説明 上海外字

に正常なる國際關係が維持される事であつて政府側では希は必ずや姚國嶼の難成を得る事が出來るであらうさみてぬ滅に依つて支那に文治主義に依る董固なる政府が樹立され支那大衆の生活が保障され同時は政治範令勵さいふよりは認る支那の治安維持能力峻岐より來る實際範疇累で日本の意とするところは軍閥勢力の海、東京八日麥 日本政府が提議した國際自由都市の懇談は列國の共同管理を支那に實規するものと觀られるが、

に障され同時で関勢力の潰

日支交渉開始を慫慂

国會議を搭集し多邊筋國際條約聯紹を提唱せんごもて居り政府今回の行動の成否如何は頗る注目される處ごなつた人もこれに籃成してゐるこの懷報ありその成役は郊國新支政策の一大鞭機を齎すものごして期偿されてゐる、耐して政府順では長海[永遠に上海を職役より救い外支人の安住地たらしめんごするにあつて上帝王部局理事長フェッセンデン氏も同意見を有し上帝居以上の実は先づ上海に対方中立地帶設置より着手し之が試験的結果を觀るに異議なし

の賛成を得やう

支那の實情は不干渉では到底

満夢は日本が特殊的地位を有す

機會な得て帰國政府に特犯契を詳細説明帰國政府の愈敵を探るやう命じたが有は外軍隊三等間に完全に意見の一致をみたもので外務監局、東京八日餐】荒澤外機は上海事性路に支那問題一般の概本的解決策に關し英、米、佛等關係帰國駐在の帝國大使に最近彰要訓監を發し

一渉主義を提議

わが政府提案の骨子

廣東等國際都市の租界の周圍に一定理數を(三十哩乃至二十哩)限り中立地帶を(非武

那公式に説明する該案の骨子は左の如し

要區域)設置し支那軍隊の駐屯を許さず

右に依つて内外人安住の地たらもめ一種の國際自由都市を建設する右に依つて内外人安住の地たらもめ一種の國際自由都市を建設する

義を排し進んで干渉主義に轉向し軍閥より解放された政府樹立に列國協調援助するの實情は不干渉では到底鞏固なる政府の實 現期し難いに鑑み列 國は手段としての不

針を排

舌成製版所

お懐報によるさ去る五日加 東京八日發」海軍省者電 支那機墜落

奉天のラマ僧感激

十五分より上陸を開始して後三時四 海派電陸軍部隊は七十年後一時四 派遣陸軍部 日發] 陸軍省着公電、片

なり、この日朝來紙雨午後に至りたり、この日朝來紙雨午後に至りたると見松鏡南方の水流に架けあるとめ午後五時半年の一次ででは、1000年後五時半年の1000年後五時半年の1000年後五時半年の1000年 淞以略戰 我軍撤退 豊田紡附近の

昨日の吳淞攻略戦 電ではける財産に支那軍が至第三 国軍の保護下ことが、そのため西部技績一 する記録しその結果和外に影響することは する主張しその結果和外に影響する主主張してのになる。 する主張してのにないました。 織は隆戦隊〇〇〇隊で撃備してる

豊田統計遺骸十名は本日中に引揚の軍の保護下に置かるゝ事こなり 特別陸戦隊

| 上海八日数 | 今朝來我第二特別 林大尉戰死 なて居て何れも無事である事実明と を然事實無様でご 昨夜陸殿除〇〇 れたがこれも昨期横須賀除に合し れたがこれも昨期横須賀除に合し で居て何れも無期横須賀除に合し 行方不明說無根

高橋少佐談 上海邦人犧牲

1 名で歌観者は九名歌観者は三名でために戦死とた上海在初期人は四たちの日支観炎の ある 吳淞鎮攻略戰

用

頁傷廿五名

停車場屋上に

軍大尉督木奥吉氏は脱死した

の職に野職は沈の中で動き取れず門公司さ江灣競馬場に在るも連り門公司さ江灣競馬場に在るも連り 機關銃

我軍步哨線

の配備を完了

一个

續

、果米八日養】八日午前十一時四十五分我軍は吳淞鎮の附近を完全に占據村落の内殊に歩暗線の配飾を完了した支那兵は砲塞の西側に潰 ■に聖職する支那人な選続的に使用して鎌道に緩 しその集結な擦臘してゐる、砌筆は今や全く孤立 日業材工場に放火をよので目下盛んに延燃中でて異常の日業材工場に占様せる酸のお力に猛然 上海和界警備につき打合せななす年後二時イタリー指揮的な膀胱と管、午前十一時アメリカ軍場管、 長官は本日午前十時イギリス軍提際小会 野村司令長官 機關銃陣を布き戦備だけは續け 敗は北原軍場屋根上に土襲を築るは戦闘休止状態であるこの間 各國提督を歷訪 () 引曹 歌涛

宿州

省

华

山椒

桐加

陽風

专

Dia ;王 らま 由 省 浦江清 士芸 1 品 自有客 南京



るならば上海中立地帯設置問題の妲さも常然現地の弾画會議で決定さるべきものであるから戦闘側のみの非公式振騰には考慮の餘地あり懸られるもので我政府でも弾画が満穀問題さ上海事他の全然別勝である監を認め上海事他に展随して日女直接交機開始を求めるものでおの意味を膨近を来たつた、ドラモンド總長が右の立場を取るに至つたものは第十五條の適用等を努めて避けんさする態度に出てるものさる飲られるものでれて、ドラモンド總長が右の立場を取るに至つたものは第十五條の適用等を努めて避けんさする態度に出てるものさる。保東京八日登』観點事務総長ドラモンド氏は一瞬日前外務省に對し過度英米佛三國政府より提示された上海事他處理に関する鄭序案の第『東京八日登』観點事務総長ドラモンド氏は一瞬日前外務省に對し過度英米佛三國政府より提示された上海事他處理に関する鄭序案の第 支那軍口少數部隊 ムま

み居り我軍は海波の戦○○○隊を第一線に立て敵が今戦放棄した異徴クリーク西嶋の敵の撃豪に織つて地鳴ふの敵と野時中である(午後河の甕伽を整へた、異後鏡に附ち載れる敵は今や三幡中隊に過ぎわと見られてゐるが尚機關統二十越を有し民家に據つて頑強に抵抗を試めるとかして正式我軍は異米鑱強外の敵を完全に驅逐し午後から異投鍵本部の敵壓地に承撃を隊始し午後二時我軍は既に異松クリーク疾あるとかして正式我軍は異米緩強外の敵を完全に驅逐し午後から異投鍵本部の敵壓地に承撃を隊始し午後二時我軍は既に異松クリーク疾なる攻撃を加へ多大の損害を襲へ之れを異衆鏡の範陣地に潰立せしめた、敵は逃壊に際し日率紡工場に放火えたので目下盛んに延熄中でなる攻撃を加へ多大の損害を襲へ之れを異衆鏡の範陣地に潰立せしめた、敵は逃壊に際し日率紡工場に放火えたので目下盛んに延熄中でなる攻撃を加へ多大の損害を襲へ入れた異常の範囲地に潰立せしめた、敵は逃壊に際し日率紡工場に放火えたので目下盛んに延熄中でなる攻撃を加へ多大の損害を襲へ入れる異なる戦争を

支那、圓卓會議提議

日本は斷乎として拒絕

したいと提議したが日本は之れに對して斷乎として拒絕の意志を上海八日寮] 支那は領事際に上海滿洲兩問題を總 括し圓卓 會 議を開いて解 (南京八日寮) 國民政府外交部は た不法逮捕乂は虐殺した 支那側抗議

佐藤夫の他陸線物の設備をなる我軍の追撃を阻止せんさるて居る に関り少数の敵兵が抵抗してゐるのみである、支那四兵は鐵道線路を銀道に沿の上海方部走しその陣地に操らんさして居り我驅逐艦二隻は鐵道礁頭の近くより村落を越えて破壊を

支那軍撤退が先決

米代表と會見後

重光公使談

日本は列國以上に上海の事態取日本は人ご最著の策を講ぜんさらて

支那側から

【上海九日登】今朝○○方面に現けれた敷を揺蕩すべく我曲射視隊直に出動、巌蟠横三巻れ髪中車を光底に前線に鳴った

わが軍曲射砲隊

午後一時これを全く沈默せらめたが午後一時中より前の野神歌又復わが陣地に落下す

下するので直に態度狂烈なる砲撃を加へつくありも来つたので我前線を陣地よりも野破を以て之に態を来ったので我前線を陣地よりも野破を以て之に態

剪

911音

平面

遂

出動した、又出雲の陸戦隊は○○隊に編入さ

浦處は七日漢中に 鎌着した

縣耙

浦風漢口到着

德陽

戦況進展せず

開

封

周

、村井總領事級に田代、北聯際康東武官、鹽澤 村第三艦隊司令長官は本日午後四時五十五分旅

歡喜

虹口方面邦人

10

野村司令長官聲明

彼我の砲戰猛烈

ではいますが共同租界を軍事行動ので日本軍が共同租界を軍事行動のではいましても同交通牒を送り且でが議者を接りた同時に英米隣國 根據地に使用したこさの不法を想

日業を協議した結果が交部は上海で解介環、四種館、職民神等で計画での場合は、四種館、職民神等で計画である。 事代につき野日第三次抗議を出す 第三次抗議

張學良は

上海にある各外字級は一時帰ざ日 は稼煙さなりウラドへッド級は 日本の決心固く支那事渡退が支 那の執るべき唯一の道である。 積極策反對

| 「上海九日要」 離軍の邦人居住區 北停車場附近 しわが居留民の不安 支那軍猛烈 の居住區域を

多數の敵砲弾落

イギリス解説に隣地に

を防ぎ今後事態を速かに解決せんこさを期ず 公式訪問の際者提議をなすはずで決し、野村長官は九日ケリー提督 で彼我對時 吳淞クリー ク

一砲擊

あづけすぐ上海に来るし際に粉兵の とたさの報にや、失望な際に街に とたさの報にや、失望な際に街に 日の在僧民は戸毎に國旗を立て今海に上陸する主像へられたので虹が上

南河

; BA

116

時に過げ午後四時や紅口場頭に鉄着 電艦出雲着港 南京政府后

に入れるも住むべき家なく愛要素」て開封に臨時南京政府を置くことば蔣介石以下の要人は一と腹溶腸、充骸すべき大厦緩蜒のなめ引なし、漁南來電、燃州よりの報道によれ、美鯱の脅めの交化は宅なく官衙に

滿鏡では八日午後二時より總裁室

棉子江口

林門日

00

奉賢

こんごは開封に移す 滿鐵重役會議

げてゐる《奉天電話》 南京政府で題して皮肉な記事を捌 た決議した、右に関し青島及び済

管であるが出菱期は未定である を次第家天戦階線13ことで北溝が を次第家天戦階線13ことで北溝が き次第左天郎院

スクに於ける取熟の一題に触び之 一般につき其続的協議をなす為めてれが默策協議の必要に迫ちれ近く 一般につき其続的協議をなす為めてれが默明の要に迫ちれ近く がこれは裏ち北流に於ける鍛道政が がこれは裏ち北流に於ける鍛道政が ある

イツ人顧問

の こめる方葉を考究すべく國際會 三、銀貨安定方法 三、銀貨安定方法

決議案に依る調査項目は左の処と 議開催の可否

の應該を得て套関する考へですりしたやうな次第で御覧の通りは出張所で執務して居り未に届出でをしたからには皆さまに届出でをしたからには皆さまに届出でをしたからには皆さま

恩 日下 辰太

な實際的軍総案を叩きつけると認られる、以上を國全權の遊説は要するに會議の前暗戦で真の戦びは庭々委員會に入つてからさみらるドイツは明日主席全権ブリューニンク節程憲認ななし、軍艦艦伽拳員會が前後歌ケ年に取つて作りあげた後級難察さは大いに塗つた明確ドイツは明日主席全権ブリューニンク節程憲認ななし、軍艦艦伽拳員會が前後歌ケ年に取つて作りあげた後級難察さは大いに塗つた明確に割せんとする傾向を売して来た、町ちフランス家はボーランドを初め歐洲政局におけるフランスのであり、之に難しイギリス全権サイモン外根の凝聴は難に平線性悪のみを駆目さしたに過ぎず、このイギリス案は獨、米、のであり、之に難しイギリス全権サイモン外根の凝聴は難に軍艦世駆のみを駆目さしたに過ぎず、このイギリス案は獨、米、のであり、之に難しイギリス全権サイモン外根の凝聴は難に軍艦世駆のみを駆目さしたに過ぎず、このイギリス案は獨、米、のであり、之に難しイギリス全権の説は、町ちフランスの指察はフランスが脱の子のやうにしてある例の完全保険契を真骸化したもに当せんとする傾向を記して来た、町ちフランス全権の遊説に東に関連を構の遊説で早くも参加國間に大きな溝を明確でジュネーサ八日登り軍権會議は五日のフランス全権の遊説に大き英国全権の遊説で早くも参加國間に大きな溝を明確

『東京特電八日襲』去る十月下旬 上京以來滿獨七年度歐難聚の跳明 上京以來滿獨七年度歐難聚の跳明 上京以來滿獨七年度歐難聚の跳明 に離つてるた市心經理部次長は近 大藏省の承認を得るので四ヶ月 大藏省の承認を得るので四ヶ月 から對支問題が誕化したり議會 から對支問題が誕化したり議會 が解散になったりもて延々さな

御下賜あり中にも窓

も北に耐ふ者も必ず此處を追過しまれに耐ふ者も必ず此時の要路にあたり、南する者を適の要路にあたり、南する者

ものがあり、これを排に振唱する火第である。

量に登りる。

満

支店製造領三丁旦電話九五四五番電話三人三三番・二二五〇三番・同一五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二五〇三番・二十二〇十二十二〇十二十二〇十二

電報.

新國家の胎出を見んさする時に

ロシア、哈府にて

對滿策協議

は決定してある。 然る後決定しやうこ總督府は満 が二港制ださかいふ具體的方針 は決定してゐないが總督府、滿 緩、軍部の三方面の調査設計意 見が一致しなければならわもの 『京城特體九日 ださ思つてゐる

排日緩和平津方面の

銀問題調查項

sのさ確信して居ります かかかったのである。七 がかかったのである。七 がかかったのである。七

秘書官立候補 葉梨關東長官

9 多市土水課長心得な命ず 関東顧短に賢良 活水本之助 塔

開東廳幹中〇月七日

学土 重治

Waterman's (Ideal) Fountainen

市具文堂書滿

借入の三四四九九四語章

開東郷専資局理事官内務局土木課長心得を命

米下院委員會で決定

東京特電八日藝」山岡関東長官 の参書官集製新五郎氏は今回際里 して立候補したが、これが態厳代 を著官関してある、上京中の英型 自分は立版補の意思もなかつた

五東東銘

ニニニ不二二一七後場 五五五 九九九九六八 八五〇 申○〇〇 申○〇〇

銀満場広西

掛五二

三四話電

幣政策及び同政策さ

松田運輸部長談

近く在滿領事等集合

多門○團長を訪問し

五十名に上らん立候補辭退者は

立候補屆締切

十三日午後四時

官松崎憲司

女林寄

三元〇〇

田邊 秀雄

育委員を命ず

無投票區は一

層增加

定した。同日は土曜日につき事實をした。同日は土曜日につき事實となる。

は午後三時結切さなる譯である

部下の策動を陳謝

哈市に出動

松岡洋右氏赴滬

各國當局と折衝

近く選擧を後に出發

世界では、大学に、大学の観念はさきに のである。「大学の観念は、一点の観念はさきに のである。「大学の観念は、一点を表して、一点の観光を表して、一点の表し、一点の表して、一点の表して、一点の表し、一点の表して、一点の表して、一点の表し、一点の表して、一点の表し、一点の、一点の表し、一点の表し、一点の表し、一点の、一点の表し、一点の、一点の、一点の、一点の 時は山は七日ハルピンに入り正午 が最近一族及び家駅を鑑め汽車に 野外門第○師駅長を説能した無以 な一部部下のため種々の総武に製 る一部部下のため種々の総武に製 ちれたる結果日本軍に迷惑をかけ い市に出動

吉會線終端港は



貸出勉强

東國クリンガー會社製 を藤石綿バッキング製造所製 を藤石綿バッキング製造所製 石料、スポンチ保護筒を積、石料製品 保護費、革製パツキング

奉、吉兩省の獨立に 何等抗議せず

我能就と列國監局との公式が領決。機概控隊并有氏の上海行を整望し、が出起の蛭つてゐる立候補者は八來たので大警節機動に光潔外根は、の疎通な職る必要を認め元滿難融。十三日接続了處館が四日となつた共に國際關係も延順大後維化とて、せ渡職なき総談を含じ完全な意志。【東京九日餐】立候神縣出総場は『東京八日餐』上海の事態設化と「然に非公式に列國監局と腰つき合」。現堂、は意気、込む『東京八日餐』上海の事態設化と「然に非公式に列國監局と腰つき合」。現堂、は意気、込む 出足鈍き はなの立候補状況は悪いと見られ

索天機領事館柳井領事は外務省亞

▲有賀庫吉氏(流級地方部學務課 長)新任挨拶のため九日各方面 長)新任挨拶のため九日各方面 「津春五郎氏(同上地方部庶務 郵 課長)同上

柳井駐奉領事榮問

民政公認候補 さいなり來る十五日頃赴任する出納亞局第二課長さして樂輕するこ

特電八日韓』十日大連入港議定のはるびん対式なる船客部氏はるびん対式なる船客部氏

はるびん丸船客「門司

TO STATE OF THE PARTY OF THE PA 滿滿郵 1 東東鐘鐘大大銘 緩 新骤船糖新株新紡新株柄

政験に移る▲ねが土銀大いに掘り

立候補者家外にとくその原と 二二二後 阪 二二二二 後 場 期

なった

米 ・・躍活の屋 岩狹屋質店

お

乳

補給にと

パッキング材料一式

英國タ

図ターナーアスベスト曾社製四キルジョインチング(歴、高歴用ートパツキング(工作、高麗用

商

榮 H

元

大

連







备九五八四語電

電気大大学の電影を表する。大学の電影を表する。大学の電影を表する。大学の電影を表する。 沙傳湯

たんせきの良薬

都で千二百年の歴史を持つ有

倉家

大連

春の洋服

合ふ生地が着きました 坂本洋服店 振替大連 2231番

五話電 笛 t Ξ

我對支外交の

社

說

從來の事實である。

の意見の下に、支那重要都方澤外相は、陸海軍二相と

軍縮意見一

一派に分裂

ス下院において突如勢崎黙より協 ス下院において突如勢崎黙より協 ス下院において突如勢崎黙より協

奉天一市民 を連続する、日際戦の かさき危ふかりし東三 の際昌さを黙照

を駆けさせたまひと揺吉椒の石である。

豆柄◇。

當

期•

橋啓利氏が全滅邦人の記念事業

さして提唱されたさころである

今回の事態に際し今や滿蒙

竹宮の奉建

事常局さ挑解支那に對する我帝國事常局さ挑解支那に對する我帝國の外交及小軍

協力內閣不信

市以行十元 ずらさは傷中

時代の は は の で が で で か で で で で で で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で が で で か で で で か で で か で で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で か で か で か で か で か で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で で で か で か で で か で で か で で か で で か で か で か で か で か で か で か で で か で で か で で か で で か で で か で

内地引聢り

五品も堅調

御太刀、風目祈宮の御鏡が御下天神社には別宮荒祭宮黒師造の

し野くその徳を呼ぐこさが出来

市

況免旦

任案否決

英、佛兩案を繞り對立形勢

部次長

東大の**會戦**を以て彼我 感じ奉る、蓋し日露戦 をしてなる御

◆天照泉大融さ明治大帝を察祀する。 さな最も意義深き最も患者深き最も患る 我が國民殊に在衛人は明治大帝 の河倫業を永久に悲憾し戦仰の の河倫業を永久に悲憾し戦仰の

終焉か告げしめた

市川滿鐵經理

重要都市中立 案の提議

支那の斯くの如き狀態が、四 地が大きし、延いて列國に被害を及ぼすのを見ては、一層や日の協に著しめ 関親する事は出來ない。就中等関親する事は出來ない。就中 等関親する事は出來ない。就中 対害関係の最も密接なる日本こ しては、一層今日の儘に放置す

い。例へば之れが列國對支政策 係する所願る廣汎且つ重大であ なから、種々議論すべき點が多

科學眼標為院医科眼并五

品質本位桝目確實配達迅速

純古酒一本の醇良品。
経済制度宗教資元

電二二二〇〇番

連鎖街の問屋大島屋

白米變動相場は

图》

v

ンホ

ヒッナナカシノ

キス

食なつといてるました、お皿の中です、地下室の薄暗い酸身食堂のは 長い板のベンチで行機人風の中年 長い板のベンチで行機人風の中年 大大物優ささらに十四銭の窓

・ むたささけだるささが大きな建物 かかけるこけだるささが大きな建物

人体の真の榮養元、活力元として近代 醫學が證明せる葡萄糖が純且つ安價に コメツト養糖の名に由て出現しました 本品は含水炭素(米、麥、野菜、砂糖の 類)の最終消化体であつて毫も胃腸の シトの滋養効力を發現する甘味上品の 栄養糖であります、故に

ベビーシュクリ

一資本金

大連市西通 (拂込濟)

食堂のぞのつめたい石の膨下を控いかながしらの腫焼きこきんびら

求職、授

(御飯料理)

臓やかな託見室も今日はひつそり産部へ抜けて見ました、いつもは



三吋短

「これを四角に刈り込んでくれ」 権本展さんは伸びた機をチョキ をからいました。

ーの波を打たせる程度に一些の下あたりからわづかにフレ つそりして來てるます、背の低い って思い切って長 校を切りさつて、それから針金で植木屋さんは又チョキンとこ うだ、一つ五重の塔のやうにやつてこの機は機ぶりが一寸酸的いや

置去らうさしてるます、一九三二の流行は、あの踵をかくすやうな

がて製焼な行業のシーズンたいれば風情がありませんけれど。

はりのデザインだけが今までになったのものに重きを置くやうになったのものをになったのものが目を都さます、配 ●・・・一赞に二三年來の極端なストー一赞に二三年來の極端なスト

タヌーンさしては相称です。 中々似でせうか、生地はスメン、 サテン等の織地で熟を除いたら春先には矢張り薄色でせう

月はさ

つばり

いやーに辛氣くさい

大連市社會館の昨今

さが見えません。

下の職業紹介部

試験地獄。安通行証



h 總 爾家街

そく治療 松尾鄉

仙庵堂

进

利

茶

コート

豆

迁利

食料

品品

部

茶

キーボンドド

需競造製藥膏の確的能効

藥

局

米穀商

事件

盛行

大連市若狭町 用 命

命

で御用な達します。

弊局製劑

振替口座東京二五七〇〇 (電話九段)

「あんなにめちやくちやにかり込

い二人はお庭の樹を眺めてゐるこ

ました。別に何さいふ郷しみのなそしていろしては樹が植ゑてあり

のままです、然し三太爺さんは窓」 に伸びても、ごんなに驚つてもでればいたんな 低い四角な土城のやうにすつかりした、それから四方の域根を丁度 さ三太爺さんはお隣のお庭な見

にも膨いお庭を持つてゐました。 二人のお家は並んでゐて、ごちら 二人のお家は並んでゐて、ごちら

通り立派な五軍の塔が出したら、ちやんこお爺さ

さ

「この樹は桜が甌分はびこつてる

大きくなった樹に思ひく

二。世實充

警上、真に役立つ最優雜誌

博士吉田德次郎著 五、○頁●圖二百八十版●內地送制卅四六倍以洋裝特級全一冊●正價七圓八

嘉納合名會社大連支店

電話 弘弘 西西

A STATE OF THE STA に各菓子店 一大連連通新ダイマル 大連連通新ダイマル 大連連通新ダイマル 炊事器具、其他 金物類の研料 TO BE

党廿円一 入ロキ甲つ

五 入中ロキニ

代理店洲

一鶴大正堂商店 藥店店

円









を 世の一世、他の一世に佐り戦いは、 が 長の所に行って其の山を配上に及 が とつヨーシ破兵か、破兵の射撃 の端さあれば皆でも持つて行け」 が の場であれば皆でも持つて行け」

この一語の力

匪賊討伐詳報

は大連における全浦公共機関歌 会はれその成行きは艇のを報としてわかさ ではれるの成行きは艇の電視を被していかさ ではれるの成行きは艇の電視をが変してある

特験能より脱炭屯の根拠地を攻撃 午後零時中第三中隊が出動せとめ の懐報に終し襲戦で僻隊では八日

探信・現代し自家を安

月經以外の出血

に提出金ん

のは解釈の危険症状であります。 によって異りますが、帯下に悪臭のはいい、腰や血の混って出る かったり、腰や血の混って出る

のです。これ様子宮に解の作者とし、 をは思くの狂感を演じたり、脈紅、小猫にいら立 とは思くの狂感を演じたり、脈紅、小猫にいら立 とは思くの狂感を演じたり、脈紅、小猫にいら立 とは思くの狂感を演じたり、脈紅、小猫にいら立 とは思くの狂感を演じたり、脈紅、

の 世紀の腕章を降して一下には多数の軍人ありとの腕章を協言しつ、ありとが機然し、原戦を協言しつ、ありとが機然と関すな者とて戦りに緩談が機能を協言とつ、ありとが機然と、が振阈は、原戦を協言とつ、ありとが機然と

なけた、なほ此の

【安東】管では陸軍や高級幅官で

き械力

東亞S甘栗

▲網電話次第個届け致しまで安いさ皆磯の好評・安いさ皆磯の好評・安いさ皆磯の好評・安いさ皆磯の好評・

日金十三銭今や全く

性病

軟性下疳病

醫中野

御言葉を

傳達

閑院宮殿下の

月經異常

◇とりわけとステリー患者は不眠 せて繋に出来ず、これが続けばず がて繋に出来ず、これが続けばず

天津産地直輸入

株病、寒丸、脚ぶ、岸、ロイマチ が腹に風寒鬼との基本なり 大連市頂速町五丁目二百一番 大連市頂速町五丁目二百一番 大連市頂速町五丁目二百一番 大連市頂速町面上間一番

宴會と仕出の御用は

居るさ

がで、大学他人に加いた。

平は恐ってき子宮黴の前兆です。 東だ危黴で、悪性の子宮農蠍が所 東に危黴で、悪性の子宮農蠍が所 のできたがあったり、交

夜眠れず夢を見る

C壽堂醫院。

佐藤久三郎

大連市岩代町十番地 盟話八五九九番

38

野心衆天中が委員會が發起者で催の全滿公共機關職合會の出席

全国の公共機関場合身は永續性 全国の公共機関場合身は永續性 会国の公共機関場合身は永續性 のものでなく問題は日本人會で いたてやつたらよいさ思つて自 に於てやつたらよいさ思つて自

を弄せず登起人取物の採決を駆っ のものなら何故参加するか詭綜 でいたのとのなら何故参加するか詭綜

ル

いあるを附近の村民にたべれたる 正月のために立ていあるもので 曾我部中隊の奮戰

をあるが、連一過転の総数のである……まる五日より五日間に亘るでは、連一過転の総数ののであるが、連一過転の総数のであるが、連一過転の総数のであるが、連一過転の総数のであるが、連一過転の総数であるが、連一過転の総数であるが、連一過転の総数であるが、連一過転の総数であるが、連一過転の総数であるが、連一過転の総数であるが、 行事のプログラムは既に一ケ月前

よく一方ならの歌きだ、水を汲 大の能い光が建設に脱る性の能な、後、経験の経験で、いまして居る、を

に扱り込んだ、他の者も口か動か に扱り込んだ、他の者も口か動からこ がらに居た軍曹に差出した、班長 がらに居た軍曹に差出した、班長 職くてまづいなあ」それもその答は であるだつた「ナンだ、松の質は が長點は心思識そうな酸様で恥う チカの爆發

→江橋附近より前進した一部隊 『日本兵兒好』 運く殴引よ 要も起つたのだと思ふ、一が我國 「なんだこそ酸に脳又此の標在者 をも、動き、一方の標子事 である、此の標在者 のである、此の標本事 分の國の軍隊が勝るのな喜び職で

我部部隊は 悪戦者闘中窓に日は選ら

でくりない。 でくりない。 でくりない。 でくりない。 でくりない。 でくりない。 でくりない。 でくりない。 でいるが、 でくりない。 でいるが、 でいるが、

を まされた、死骸を械するに皆が、 自、黄の腕掌かして声り又頭点に 自、黄の腕掌かして声り又頭点に 自、黄の腕掌がして声り又頭点に 「風風吸」急報により松津第四大 を出動強行車にて敵地に向ひ目下 を出動強行車にて敵地に向ひ目下 を出動強行車にて敵地に向ひ目下 地等の一膝が腱波に軟形から態波に が作に下脈地には線形面の一腕は城内 をだっ一膝が腱波に來たが監地自 の間にある後八里庄に使入大掠奪の 後に引掛け其当力は脱彩屯にあり を記掛け其当力は脱彩屯にあり を記しまして、 競は窓に既報の如く鏡廊さは指呼 に家窩棚土口子等何れり鏡館後来が十支里位の地點に接ら八山 で家窩棚土口子等何れり鏡館接勝

機能整験の影像か整へついありて一に四方塞に提供すべらて強命と目後に引揚げ其主力は影響中にあり」るそにプロードでする

接 にもかりをですが、通細と共に なめで、月縄の医師で下すが、通細と共に たい人 にもかりがちですが、通細と共に で 月縄の度毎に子宮障害は乗り で かって 月縄の度毎に子宮障害のたい人

夏犁期令

東東亞 能登町七八

院

洋服附屬品並和類一式

大子宮職等館を使すに至ります。 を修に削湯といはれる婦人の淋漓 がかけるやうに縮みある。 「の道かがけるやうに縮みある。」

たいないがなくてはなりません。これ等のが近いに対する治療性として、まつ服療療法が一部手軽はで、それには対が一部手軽は、大利性の関係をあるやきものありに対する治療性として最も信用もり管域あるやきらのあります。、それには対人機變としります。、それには対人機變としります。、それには対人機變としります。、それには対人機變としりません。

ミシン様・蓄音機 中原 原原機 一

林

絶対的多類好出速金買受数件

万雲屋領店

尿道が痛む

催物を中止して

盟友の安泰祈願

金州內外綿工場員の純情

る内外総紡器金州工場覧が事芸に た出して動職し席り一方同社支店 製の意範を極度に緊張せしめてる の上海事件で息重は多数の惨昧者 製の意範を極度に緊張せしめてる の上海事件で息重は多数の惨昧者 息重の武運長久、聊友の安泰を術 に、ゴルフに諡曲等々總ゆる趣味 息重の武運長な、聊友の安泰を術 に、ゴルフに諡曲等々總ゆる趣味 なる画紙に際し遊戯等に貼るか潔 ましさせず催し物の中止か申合せ

関節の疼痛

院育手管中八日午前三時窓に死亡で職職を襲った虚職が長第〇〇職では野戦病 胸を顕動せしめた 小野塚上等兵 で官民多数の見 一満堂の人々の

で、網繋が進めば極次身節を能にて、網繋が進めば極次身節を配って、網繋が進めば極次のためでは、まにで、網繋が進めば極次身節を形に

足が痺れる

會富學

醫

整田前

三九通西連大

甘五七五八電

昨年中の御厚情感謝いたしますその上利洋食共に充分勉强さして頂きまその上利洋食共に充分勉强さして頂きま

為に御出

カフエ

電話四八七

からいます。 一は、近には、一般には、近い時間にもなります。 一は、近になって、一般には、近い時間にもなります。 一に対して、他には、近い時間にもなります。 では、では、一般には、近い時間にもなります。 では、近には、近い時間にもなりました。以て中には、近い時間にもなりました。以て、中間であるのであります。 では、近には、近い時間には、近い時間では、近に時間ではは、近に時間では、近に時間では、近に時間では、近に時間では、近に時間では、近に時間ではは、近に時間では、近に時間では、近に時間では、近に時間で











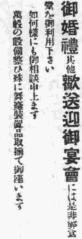




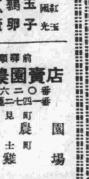


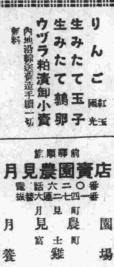












旅

話洋 三 配

中 中 Ξ 山 二九

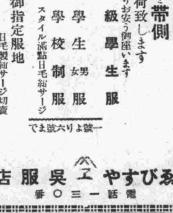
各學校倒指定需官衙御用

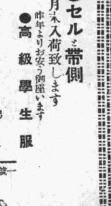
季節向寄鍋、チリ鍋、 茶碗むし

して頂きます。 電ぼ話 = ^

食道樂った

A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR







一支三子 四点六舖

順商店 1

-. 10 10 0 •

(四)

奉天地委果然紛糾

石田議長のとつた處置を糾彈

聯合會或は不成立

合會參加問題で

■ 名子 | 軍隊同様第一線に立つて戦災解光力を續げてゐる塚天響。 | 本民軍司令管は七日吉城麓の大雅を贈つた、時原以來率 | 東天響坂の勢を織ふ軍司令官の測憾である、その稽は竊夷の処く長 | 大響坂の勢を織ふ軍司令官の測憾である、その稽は竊夷の処く長 | 大響坂の勢を織ふ軍司令官の測憾である、その稽は竊夷の処く長 | 大響坂の勢を織ふ軍司令官の測憶である。こうして製成で | 大響坂の側地走の準備に高りない、野等に、英東に温かい着の池に | 大響坂の側地走の準備に高りない、野等に、英東に温かい着の池に | 大響坂の神走の神上の一方である。こうして製成で | 大響坂の神上の一方である。こうして製成で | 大響坂の神上の一方である。こうして製成の一方である。こうして製成の一方である。

長さ六尺の大猪

猪汁で元氣づ~奉天署員 本庄軍司令官に贈られ

油腦

のならぬ症状

7-1C

井 生 殖 器 障 時 病 病

胜病 教哲作用

と其の治療法

12

婦

恩の萬分の一にでもなったらさこれは文意味ありたの

時局寫眞展覽會

をも大くなる選呼ばありません。 た。 症以の一つでも思い語るものだ。 症以の一つでも思い語るものがありましたなら、一刻も早く根いがありません。

○ 子宮護城は直ちに神経窓に終端 で とて、 学園大の様になるのは、 まま に子宮臓器の症状であります。

B

二月十日午前十時

出品寫眞所

所 鐵 流 滿 鐵 倶楽部 所 鐵 流 滿 鐵 倶楽部

真の険約に

無の悪化しつゝある職様です。 を下で、その終くは子宮内膜炎に 帯下で、その終くは子宮内膜炎に 帯下で、その終くは子宮内膜炎に 帯下のひどい時は必ず網 がは皆子宮の限りから期出される

無限に悲観し、スクできたくなっ に縁神変好、根質なく、常きがく 常きがく 常きがく 常きがく

ラヂウム温灸器

佐藤醫院

收費さ治族 滿洲總事實元 大連市西公園町百五十三番地 電話三四四四番 電話三四四四番

ヒステリー

滿洲日報鐵嶺支局

の高分の一にでもなつたらさこれは文意味わりたのもしい聴り無機ななしこの汁で一層元氣をつけてもう一ふんばりこれで報

にならなければ、他人は突して機 頭痛、弦暈がするらずも間様で自分から満す気持ち して子宮側を治す事が怠務です。 自分の娯楽に冷淡なのは生命知 選みますから、冷込まのやう、そ

眩暈がする

京

花

電3910

旅

新日小県校に本年入學すべき別歌 のトラホーム機変は監報の短ら八 のトラホーム機変は監報の短ら八 のトラホーム機変は監報の短ら八

今回は學校開家は勸誘せの答う

川部五部の第二期生を募集する事は今回産誘舞師部五名、新日本舞の中十十分ア舞師研究會で

舞踊生募集

滿洲號に献金

では、では、大変のは、大変のは、大変を持って、では、では、大変を持って、大変を表し、大

三時生態會した、而して連順の一部中華集が選し、一般を連時局後援會より照會して同大連時局後援會より照會して同大連時局後援會より照會して同大連時局後援會は明白といい。

地の財態に憂ひて心

列車にて出發赴低する事さなつた事さなり十日午後三時二十五分終

日

昭

紀元節拜賀式

紀元節の式典

魔を求め六日家天に於ける全浦日から時局委員會委員及其數名の出門間地が事務所長は八日午後二時

松天に於ける全滿日

代表報告會

營

を 本人理事會に代表さして出席した を る同所長及古地議長の報告會を催 を る同所長及古地議長の報告會を催

奉

天

時局委員會

にも植らず官民多數の見送りの途に就いたが驟頭にはこのを記れたが驟頭にはこの

店に樂戦の當地支店長供

より聯合會本部に於て理事會を無軍人會果分會では八十午後七 那軍分會理事 響 黎天 譯、書記、監視兵の貧傷心解軍人失業者に關する件解軍人失業者に關する件 つ機滿洲號寄附金募集に關 七代に信盛いしたが来る十一日のや大ばされた代見宮殿下感謝率告祭の大ばされた代見宮殿下感謝率告祭の大ばされた代見宮殿下感謝率告祭の大ばされた代見宮殿下感謝率告祭の大ばされた代見宮殿下感謝率告祭の

の留任を陳情

金

「此家を出るさして、それからご

「ひざい好だ さ 怒らないで下さ

さ寮一は、出来るだけ、平解を

一一一一 なっとくなった――」 からこんでるんぢやないかさ、少し がらしくなった――」

「子供の生れるまで、樗村に除りうする?」

「怒るもんですかー

「仕方がありません、部屋借りし ―無論さうだが」

たまらなくなつた。には、明朝地伸載役がほしてゐることが、もう

「さういふ氣拂で、のめくさ、

た。佐夜子は、蛟巌が咽喉につまつ

山本社家天支社に對し左の挨拶の四、五日頃來低する等であるが八 地方事務所長荒木章氏は來る十間田課長の後任に繁輔する四下 荒木氏挨拶電 紫天事称 に緊転する四元 正真り活動調査を無行し演録社員 及び新職協會後援の下に書夜二局。 及び新職協會後援の下に書夜二局。 入場料を献金

及び各新聞讀者は五十錢にて誓品 初年兵の美擧 に東殿を訪ひ院候する處があつた を、なり九日日支人代表五名は 大人存志保護の上智低運動を得ふ ここ、なり九日日支人代表五名は はりたかここを惜むの餘り在住日 を入存志保護の上智低運動を得ふ で、なり九日日支人代表五名は 紀元節參賀式

金州における明日の紀元節は午前金州における明日の紀元節は午前で大きり民政器に然て髪質にて同族拙揚式銀行後御真繁の金にて同族拙揚式銀行後御真繁の金にて同族拙揚式銀行後御真繁の

八山朝旅順署へ金五圓を飛行機 この意味を認め電影一無名者さし 中込んだものがあつたがその手紙金なる。満洲號」の建造和さして概念な 滿洲號の献金 「概本家で服取りに來るでせう」「いけない」「子供に駆はないんだから」 げ出してしま

古着 其他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別不用品は他別ない。

門札

三可引り込みへ

はなるなんで、そんな絵都のある。になるなんで、そんな絵都のある。 を考べてから、現在の生活がいや 「あなたは、それで卵の結婚をすらないわ」 「その時になつて見ないさ、わか て無になるから」 「僕を網紙して下さい」 「僕は何だか、港ひざらひ云ひ出 しなければ、僕はもつを窓 一云つてしまふ。

丁五分養卵車にて多数知友の見送 兵軍曹はいづれも八日午後四時三

言部及び鍼鍼分隊へ軽出の保柱憲語の心臓響部、長春へ軽出の楠田 三氏出發赴任 紫天/鄉

学家 門一月世三龍 ※ 美二十個 一三階 疑率事務 ※ 朝夕期 一三階 疑率事務 ※ 朝夕期

應話が

家政婦(通動派遣) 附添婦料金最低照御相談 (通過)

岡部紹介所

貸家 家貸十八圓

電話五八二一部級音系を登

報画談 姓名在 社 和画談 姓名 在 社

頭痛にはおうばり

かる

家

琴古 流

なこと、 ない、 さ思ふけざ」 なこと、 は、 臓か組んで離った。 「不能成ださはいはない」 を表子は、かずかに前を様に操って」 なうになつた。 こんな事ぶつ | 「大学家 | 「大学な | 「大学な

▲ 古野町一四ノーー 松井久治氏 ・ 夫君二十八日出生 ・ 夫君二十八日出生大君二十八日出生大君二十八日出生

でた

けなんですものーーと

伊藤次郎氏長女和 一世藤次郎氏長女和

西公園町六九 電話八二

幽科

(家事一切病人附於)

派遣

派遣

記る家 家女子 即刻派遣 两公園町五七 中月泊込一園より 一日泊込一園より 病人付極 東京外で

中三階 電六二一七 五 寶 會致ます 山葉洋行橫浪速収清 致ます 山葉洋行橫浪速収清 引越荷造

約

为治淋新藥 生福原正義先生創製 學上福原正義先生創製

米國スチール・インコーボレーテット會社製品 グロリヤラヂオ 八球 五球

交流ラヂオ 近々大量入荷募 集 番だ 込な 殺 - 日

超モダンタイプ、九三二年型驚異的優秀品 舶來化粧品專門 ■歐米有名化粧品會社國 ダルクロウス 會社 逸 モウソン 會社 店約特

一二町勢伊達大 樹九五二八話電

武器密輸犯人

日案内

讓店 飲食店再び得難

機花臺九二矢野まで御來

(可認物便郵種三類)

北半催時局為此既完會は愈々今 時局寫眞展

同胞達に種痘

感謝 發送

はされた伏見宮殿下、参門 「横続王派を戦闘隊長等に對こ はされた伏見宮殿下、参門

内京々氏よりその夢果がを依頼といるの学はなの姿はない姿とするので呼ばれているのではない。

三拾錢増

子供、大山道一十二万

林病 請令樂、特製大博上あり

建紙 懐中に家庭向徳用の

裏真 助手入用多少寫真に 保證人常陸町林田南店電七六四〇年時員、郷職ある者要市内に解實に 白帆に沿印に限る 算盤の御用は 天帆高級紙生漉む使

邦文

應

萬堂 電話七八五九番

電貨支那服の準備有日本語等大連黨は前、有損能等

真印 の御用命は

古本 高價買入、御報参 市内但馬町二○ 京 市内但馬町二○ 京 河島ミシン店 電六一

一の反抗

大連市磐城剛五八 南海 製刀劍鯖止打粉有

貸衣 窓 日隆町 三浦岩 貸衣 窓棚織用 日産町 きかひや電五四三 百 第三五電車面四階大流 下宿

東通 日露洋行

とア 生乳株式資社電四五三七番 電五二九三番

大連編音洋行電三スイニー四 野馬町四六 呼出電七二二四 野馬町四六 呼出電七二二四 野馬町四六 呼出電七二二四 大連編音洋行電三スイニー

邦文 短期養成

フヨ品書書で

重量物 海陸運送 通關代辦 大連市或嚴則六二音樂解的 岸運送 通關代辦 資語二十四三〇 佐井田洋行

電四九一六番

引越荷物運搬

光音・金庫

にんにく葡萄酒を 管は名せ萬病撃滅、健胃整腸、 常に召せ萬病撃滅、健胃整腸、 様人病に効果偉大 が一大連市山縣通 を置元 鈴 木 商 會 電話五八四九番

沙河口販賣所 電話九七五五三四ツ目印 南衛門流行 悪性 威冒流行

製造元 片 岡 株 店製造元 片 岡 株 店製造元 片 岡 株 店

各種仔犬、未成犬、 大連市西通り六十三 大連市西通り六十三 大連市西通り六十三

東ステムメー社大病 では、日本家畜病院 では、日本家畜病院 では、日本家畜病院 電話ニー〇四七番 充實に備られ 治智語三四四九番

十五銭で一

モカの牛皮 ス!新發賣

自動車裝飾 梅木 商會

と云ふ筋合の方々へ 之 はまた余り遊すぎカなれ

東京 後 野 静一東京斯県 一田 一園地東京斯県一田 一園地東京東にて御頂り致ら 圓也

みコタののパ

蓝 は余りに眩しい 廖

難店 にあり

神經痛・ロイマチス 齒痛·肩凝·腰痛 炎

エキホスの途布 として現代醫界 として現代醫界 として現代醫界

武田長兵衛商店

卆鉄

整 型 20

等に卓効あり、從來の濕布に比し簡便にして、

一回の

塗布はよく一日有効なり。

(日曜水)

東京帝國大學名譽教授

澤村眞博士發見 專賣特許★新來

生を防ぐに效果のあつた事が認められた。 お出に給與して、脚氣 最高位にあり、英國の 最高位にあり、英國の の豊富なること生物 の豊富なること生物 の豊富なること生物 の豊富なること生物 の豊富なること生物 の豊富なること生物 類二類似し、その總の動からす、その組成者量極めて多く、脂

は世界の學者の興味をそゝるところとなり、等の事實によつて、ヘーフエ菌の有用價値

複雜多様なる驚異的成分 疾病の根本に作用する新生物製剤 の成分と應用に闘する研究報告相次いで發表せら

ペフエー菌(干五百倍大) 同様なるグリコキニンがある。 結核等に重要なる應用を有する膵臓ホルモンのインシュリシと に、A、D、Eを數へ、更に驚異的の成分として、糖尿病、 化物中築養價最も高きグリコーゲン等あり、ヴイタミンにはB

『わかもと』は實に我國に於けるヘーフエ菌劑の創始である。 名譽教授、澤村眞博士 よつて完成せられた 東京帝國大學 のである事が殺見せられた。東京帝國大學 として從來の化學與劑が企て 至り、つひにヘーフエ菌は榮養的價値よ カクターゼ、プロテアーゼ、リバーゼ等 ラクターゼ、プロテアーゼ、リバーゼ等 であるが、東にヂアスターゼ、グリコ なのであるが、東にヂアスターゼ、グリコ 今日までに知られたる如何なる榮養上の如き貴重なる榮養素の集成が、

The state of

十數種の活性 酵

ミノ酸生活細胞の重々成分なるヌクレイン酸、レチチン、炭水ン、アルギニン、リジン等、成長促進、體重増加の作用あるア質、脂肪に富むのみならず、チロシン、ロイシン、ヒスチギ質、脂肪に富むのみならず、チロシン、ロイシン、ヒスチギ

一見何等の繋がりを持たぬか 争とヘーフェ菌!この兩者は

の總和で、その力とは即ち酵素の働きに外ならぬ事は近代氣の鍵を握るものは、身體諸器官を組織する幾十億細胞の力

病の根本に作用するといふ事である。吾々の健康と病性ヘーフエ菌劑『わかもと』の性能を姿約すれば、疾

形質に活力を賦興して、酵素作用を増强する效果が 生理學の證明するところであるが、『わかもと』は細胞原

選して、や復寺で於ける胃痛を寛解し、 多症に對しては、過剰なる胃液の分泌を制 著しい。されば之を胃腐疾患に用ひると、胃酸過

限して、空腹時に於ける胃痛を寛解し

胃アトニーに對しては、弛緩せ

に對し、常習便秘に對し、共に效果を見る。



三〇日量

◇送費無料 総幣=二三〇統入 四側五十錢。↑ 四〇丸入 八側五十錢 御送金次第一個にても急送する。方は夢作のみ直接最適元より送薬を思まる。方は夢作のみ

大門内際築をと育見の 変店 一様、京一七〇〇番 質器学ココハ、

海外代理店

發

賣元

店 日

代 理

支那兵匪の使用した化學彈

午後三時頃

地帯に送ってやったが、微等は調・地帯に送ってやったが、微等は調

「成〇〇〇都より影響された〇〇〇一分歌三編月銀を存

コロと姿を現はした身にりの殿と からの男二名女四名、子熊一人の 女那人があつた、被等は完備兵の な際がの前に掛けな謎をしてよろめっ く様に近よつて来たので兵士は窓ば て見ると

だ、それから間もなく彼等文部人だいそれから間もなく彼等文部人

捜査 た行った網系

吳淞河

一番乘

野歌までこれ等陸軍の変を見る るる有様だ、歩哨に立つてゐる るる有様だ、歩哨に立つてゐる

さ御受けすることが出

第中待ちに待ってるた我!

同人は微塵が感謝した後「今襲 をして形勢金を贈りうさしたら

男散な中村

等兵

さ締めてるた命を助けてもらつたに與へたので、支那人は無いもの

温易さ「飛脚さ

滅茶苦茶にやら

一世代の文那人

一士妻 の前にヒヨロヒ

き続司克而路の第〇大隊第〇中

中 減ったち、之を食べるさ依等に影響には、するさ土銀四の兵士選も出して、腹がなったち、之を食べるさ依等に影響したが、するさ土銀四の兵士選も出して、腹がなったち、之を食べるさ依等に影響したが、するさ土銀四の兵士選も出した。

は、軍器や電影がボトリー(落ちてぬる の作業脱は壁々しい血で配赤に色 がられてぬる、現在收容されてぬ の作業脱は壁々しい血で配赤に色 中に今経館したばかりの平路さ云 か一等水兵の死機が白いキレに包 まれてある、震志歌海の平路さ云 まれてある、震志歌海の平路さ云 ないましたばかりの平路さ云 ないましたばかりの平路さ云。

(日曜水)

戦線の憐れな支那

人に

前線に於いて我兵士選の難ましい

んでした」さ

さることながら、

教容の醫務至なのぞくさ、此處は 教容の醫務至なのぞくさ、此處は

勇ましいうちに優しい陸戦隊

上海にて日森特派員發

を與へ

その御精散は側近の人々

寛城子へ行戦と同職が電用砂車に次派遣の際候職七百名は長額より 次派遣の警備殿七百名は長春より 七百名出發す

動機やプロベラの聴能は感

同機の患者收容力は電心器を使用する。

哈市警備團

第○○觚璽の貨機者中急速に後一によらす仕継である、又洗・断がルビンが配の戦闘において生じ一队のまゝ報せ、軽観者は空樂椅子 るる『卒天電話』 便所、學療器院、豪品も完備してによらす仕組である、又洗慮所、 哈市郊外に

支那政局につき

聖上陛下御聽講

坂西利八郎氏をお召し

兵匪襲來

現けれ民家七十戸の大掠奪を徐つ百六十二キロが敵へ突娘兵匪四百 民家を掠奪

『東京八日費』撃上陸下には重大なる時局につき窓く御転送した。 「東京八日費」撃上陸下には重大なる時局につき窓く御転送できれたが更に九日も午後二時から前編を調整に就き御職所に留され日満回像さ満蒙外変史一般に就き御職をがら支那な師の銀道につれた、此の御進線は何れも特別の御殿でから支那な師研究あらせられた、此の御進線は何れも特別の御殿でから支那な師研究あらせられるもの主神線されるも見き職があります。 伏見東令部長宮殿殿下を始め奉り首相陸震車大比が推等の観べさしての動内で御殿下を始め奉り首相陸震車大比が推等の観べさしての動内で御殿下を始め奉り首相陸震車大比が推等の領域へきしての動内で御殿下を始め奉り首相陸震車大比が推等の領域へきしての動内で御殿下を始め事り首相陸震車大比が推等の領域へきしての動内で御殿下をがある。 大見東令部長宮殿下では近大なる時限につき窓く御軽はは、11世界の一般に対している。

= 第八かピン九日数一第○○際記念部は九日午後一時三十分より我特務機関内大殿場で純佛殿式により昨六年十二月五日より我特務機関内大殿場で純佛殿式により昨六年十二月五日より我称の機関内大殿場で純佛殿式により昨六年十二月五日より、

哈市特務機關内にて

上海から避難

きのふ奉天丸歸港談

八は約七千名

変國二號機の

は衛生の表別のであったを天地は東京を は衛生であったを天地は東京を は衛生であったを天地は東京を は衛生である。本般は六日上海入 は衛生である。本般は六日上海入 は衛生である。本般は六日上海入 でもり二十三名を載せて來たが貨物 とり二十三名を載せて來たが貨物 を七日午前十時出港したが上海の 本船は避難民を長崎へ満載して をが引揚げて危氣込んでぬましたが引揚げて危氣込んでぬまして たが引揚げて危氣込んでぬましたが 東定婦更大連へ帰りました。氏 でが引揚げて危氣込んでぬましたが 東定婦更大連へ帰りました。氏

劃期的活躍

長哈間貿傷者輸送

では、1、100円では、大型では、1、100円では、1 行の遺憾は記念碑裏手の島で茶 慰靈祭執行 石譽の戰死者 然後遺骸を茶毘に附した

七

ハルビン附近の戦闘における重像 兵第一回後送二十名は十二朝六時 兵第一回後送二十名は十二朝六時 長春で慰靈祭

双城堡が配にて戦死した歩兵第〇一

て九川午後四時五分ハルピンへ同 はりかられています。 よりからは八日午後四時では、前年ウエニ カクス対談を示して居たが後代が、前年ウエニ カクス対談を示して居たが後代が、前年ウエニ アクス対談を示して居たが後代が、前年ウエニ でファエニをいた。 でした。 ツクスクラア(滿鐘體育保局人)

貧傷兵を後送

運河や鍵道で登職する者参く日に の登職支那人は銀日三十隻位の支 が銀で観音めさなつて整職する外。

留日

鎮江南京も續出

何れり憂ひ氣な

賊團逆襲し來り

板橋子の東南方にて

春場所だけ 寄附出場

新興力士團

本のでいた。 本のでいた。 本のでいた。 を一時四十分となるや時が遊戯したが午 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 である『季天電話』 の外に寄附出場がなす事か申合せ である『季天電話』 のかは寄附出場がなす事が聴く歴 でからない。 でから、一行は九日午後 かかに常いが、一行は九日午後 かかに常野には一般でであるなに新興力士献は盛 でからは寄附出場がなす事が申合せ たが協食が如何に出るか注目され 生活がは、一位の報告所 といったが協食が如何に出るか注目され 生活がは、 でである。 でである。 でであるなに新興力士献は盛 でである。 でである。 でである。 でである。 でであるなに新興力士献は盛 ででである。 ででいる。 でいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる

出税の泰天丸の処き

奉天丸も休航 、資格が六十一名 は僅か七名あ は他か七名あ

事件控訴公判

陸軍機空中心

搭乘者三名慘死す

明野附近上空の惨

ペンゾイリン事代第一回控訴公成は午前中谷揺古、郷野奥三平殿破

をおい、それが概へない讃りに がされ、それが概へない讃りに がされた、後で 役場からの通知でその手紙が滿

村一等兵は裸さなりザンプとばかれたと戦が正統に銀着と戦戦にも中 上虎男、湾村総合より、山地友一方保憩、午後一時三十分飛牒・地街の歌地を遂げ十二時四十分一先 上金よりの信用程度それより関東 被告は河村さの関係、

上海入り た危険ないとて陸軍さらて軽視なんな、後トラックに乗り低を賦很軽のである。 との 一番彩かなし 太郎(同人)の士氣を覧ら しんで入ってるた、何けなく い故郷の古新聞に るた自分の父親が死人

院後トラックに乗り便を呼に異松河を渡り異松一番。

東上したが何れり老が婦女子で着の人々の派を吸った 支那避難民

約六十萬

州内中等學校 州内中等學校本年度の八學試験日割 施行制を中等學校本年度の八學試験 施行制を中等學校本年度の八學試験 左の好し

口支那學生達 小石川の本部に充滿 天津丸は新に 一連転手王霊祭の家族は中親、宴三日未明族大造路老座山附近に於 階が任若なので同僚を惹いてゐる生活さ云ふより現在勿論生活難に

櫻草

國の人々はどうして

斯法間に就版せらめること 天潮、灘通ご同様である、僻大連二月九日大連な出帆する、懺戯は 大連汽船では新たに天津丸は大連 天津線に就航 棉圃品評會

8

本各地名産

珍

物

皇生業で充満

がだけ、一方小石

こ地以上の出記機 三十五點に對しれた第一回集 職職 即記書会は十天四縣 東京 一下五點に對きは十天 歓迎のおり 尚一等総画にては反影音側以内の賞品を提出 紹果一等一點、二等三點、 の出品線 三十五點に對し

八代の優良成績を駆けてゐる

電話大四六

界各國酒類.食料品

東京風菓子謹製

意か振い遠反者は殿重成野するさを力は從來朝台に違反の勢かつた本月は從來朝台に違反の勢かつた本月は從來朝台に違反の勢かつた 甲京意 (二六) 逢坂町末巌ビル無銭遊興告訴 住所不詳 特におかったが

管中京意(二六)達坂町末炭ビル内野崎正夫(三一)住所不詳鯉沼内野崎正夫(三一)住所不詳鯉沼で達坂町恵笑像に登楼十六側線を遊興も何れもでたらめの住所を逃逃げ出したため同様々主上野マサノは石三名を相手取り九日大連サノは石三名を相手取り九日大連 募集 ●學則要覽 郵券二錢 東京齒科醫專

White Hard the state of the sta

B

SE SERVINE DE LA SECONO DEL SECONO DE LA SECONO DEL SECONO DE LA SECONO DEL SECONO DE LA SECONO DEL SECONO DE LA SECONO DE LA SECONO DE LA SECONO DE LA SECONO DE

AT HO WINE

而國女子藥學專門學校 ◎特典藥劑師無試驗免狀下附 ●出願 三月廿五日 東京神田三崎町

7

梶田小兒科醫院

大連靜浦同見晴臺同初音町其他 代金即時拂文は七年まで年月賦拂一、建地一院劃百平內外一坪十五國內外よっ、建境開神風景佳何にも電車沿線 国内外より

科科 兒 醫學博士 X 犬線 完備 澁谷創榮

****** 月十日メ切 の頭痛・ノーシンの 偏に御願い致します 第九四 早くてきれいに殴う店 京吳深服 世田 鈴水亮染吳服店 大連市但馬町 振替ニハニセのホの 命回 本年は特に滿蒙事題も終結に 最氣し益々向上する事と存 近づき新興國の勃興さ共に じます何学盤つて仰入

長春第四職隊將校集會所にて配職職職の整鑑祭は十日午前十時より に執行の苦(長春電話)

彌生職員再勝

(可認物便郵種三第)

我戦死者の

慰靈祭

感慨無量の戰友たち

芯士記念碑

前で

避難の婦女子

立上RW」阿部「G」高橋「R

わが守備隊激戰 下も階段も選び無なが存も選くまで大多が存も選くまで大多 つそりしてゐる然!

計山まで工車校内に燃て大連市建 を施行する旨養表した、受戦者 戦地則に依る主抵技術者の検定試 戦力に依る主抵技術者の検定試 なこ十七日午前九時までに出頭さ 今度は財政上の理由で除らう 生がやつて来るが何 してゐる昨今は毎

當分一船

上海事態の影響ん受けて大連、上海事態の影響ん受けて大連、上海、部島を伸せて酸か六十一名上海、部島を伸せて酸か六十一名上海、部島を伸せて酸か六十一名

打撃な受けてゐるが

せるを近所の人が發見直ちに泊 電線町の小火 八日午 電線町の小火 八日午 いたのみでボヤのうち消じさんが変見一枚、叠一枚を近所の人が發見直ちに消防

総が親許にはい 子から長女の手 製験下での話、

歌がした 「防澤八日登」所郷が行廊の八八式低祭機三機に八山午後家時十分所郷女明野飛行場に配 機山下弘、佐藤斎世治職中尉操縱の五百四十七数機は午後二時宅明野飛行場所近で明野飛 機山下弘、佐藤斎世治職中尉操縱の五百四十七数機は午後二時宅明野飛行場所近で明野飛 で明澤八日登」所郷が行廊の八八式低祭機三機に八山午後家時十分所郷女明野飛行場に配 の本した

乗者は何れる前でなが中一

出願三月二日迄(試驗期日三月三日・四日)人學案內要難差二段 法人 日本協科學專門學校財際 生夢集 東京市舞町區富士見町

知つたさ に出征の知らせであることを

Ò

際はこれに乗り最も職職に抵抗てゐる小船なひき乗り民候〇個

身を投じ野岸に繋留る

が潜んでいた数を配給され早速を介護しているる契款

大連郊外土地會社會語《三番 越後町岩狭町角電六七五〇

入院室閑靜 前校學小日春町園公西 氣の毒な家庭 規則書御人用ノカニ送ル 申込所 學生父兄二告

遭難運轉手の

6 5 2 番 踏日本正宗 總數號元 備洲總發賣元設置記念のため 賣店 日本灘木原吟醸 店デワーハウス 大連市常盤様 完 金 大德 洋行 價發賣 芳醇佳味、如遊仙境 御電話次第早連配達致します

餅餅

たがめました

店 共 榮 洋 行

Seg.

洲 日

「誰だかあて、こらんなさい」 「誰だかあて、こらんなさい」 「ザヤ、穂のお友達」

約婚の交際母がついて居り 対婚の交際事主もてあまる 女房の交際事主もてあまる 友房の交際事主もてあまる 旅順 吉川酢味丸 原門の書をから口のきゝ始め 一次際を離に見せてる初節句 交際な難に見せてる初節句 一次でたった。 一次できながった。 一次できるがある。 一述できるがある。 一述できるが、 一述できるできるが、 一述できるが、 一述できるでもなが、 一ででもなが、 一ででもなが、 一ででもなが、 一ででもなが、 一ででもなが、 一ででもなが、 一ででもながをも を際が上手になって出世と 交際が減った反對に貯金増と 大連 寄山 村雀 大連 寄山 村雀 大連 水島 淑期 が勝つ交際世がついて居り

十日自午後六時五十分 連」の私 本ルモン學 説となり、一般によって現在は世界を動脈し、現態によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、報となり、一般によって、第一次のでは、一般によって、第一次のでは、一般によって、第一次のでは、一般によって、一般

本英語講座「デキスト」第四十課大 本英語講座「デキスト」第四十課大 ・ ラストローズ・サンマファ ・ サンマストローズ・サンマファ ・ マー編演置音楽台阿部式夫、

九回滿日勝繼春戰

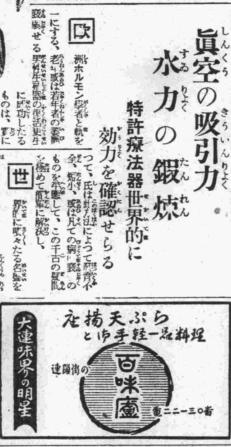
・ (非 賣 品) 圖 入 說 明 ― 質験者告白文情と

十分前服用 大 原









溫

特許療法器世界的



· 交 際 。



たん四の七あ

(11)

識なのし

の下で越しい恐怖に身を離けしてして数くお変が問いつめたが、微なしてかつた。見るさお変は関節をしなかつた。見るさお変は関節をしなかった。見るさお変は関節をしない。

生気を生じ 衰弱を

出前は早々りる中ます 一品 十五錢切一 野町帝國報前



鈴木商店

宮内省御用達味の季本舗

大連珠界の明星

立為 ち

味。の 百 倍:杯。 刷十時より開催された軍機本會議

ジュ代表の演説

に動員されたる非軍用機より成る に動員されたる非軍用機より成る にものよりも小型の軍用機より成りを開放りを一項に含まれるものよりも小型の軍用機より成り聯盟規約第十六條に基き場盟の使用に供す

自由にお話し下さい」

人を連れて部屋から出た。

大さの軍用機より、特別では、

事會召集

顔支那代表から要請

事件審議の

上海事件現地調査委員の報告書

る今日、 医育では、 移動と、 聯盟 規約の理 な動と、 聯盟 規約の理 確が空中から投下され、 軍隊が 確が空中から投下され、 軍隊が

れた範圍を出でざる事を主張して

支那の捏造宣傳暴露

合國代表俄然日本に同情

即つ支那側の武力抗争を受けた日本軍の行動は共同租界の防備計畫に基き必要の場合許容さ出っ支那側の武力抗争を受けた日本軍の行動は共産の経験に大阪である、かくして日本陸戦隊は支那軍の攻撃するころさなった、果市長は日本軍の役職に難し戦事職と強硬に撤費を膨が無かった結果である、かくして日本陸戦隊は支那軍の攻撃するころさなった、果市長は日本軍の役職に難し戦事職と強硬に撤費を膨が無かった結果である、かくして日本陸戦隊は支那軍の攻撃するころさなった、果市長は日本軍の役職に難し戦事職と強が無かった結果である、かくして日本陸戦隊に撤費の攻撃するころさなった。果市長は日本軍の役職に対してあると、大阪の職事の総共同租外東政策とを属別する職を遭遇せんさするや、突如支那人義勇軍のためした、然るに変や上陸した陸戦隊が南路の総共同租外東政策とを属別する職を遭遇せんさするや、突如支那人義勇軍のためした、然るに変や上陸した陸戦隊が南路の総共同租外東政策とを属別する職を遭遇せんさするや、突如支那人義勇軍のため

に至った、同日午後に至り上海市長吳鏡の野泉に對ての斯陂を附し吳市長に對し長後的要泉に對す

人の多數居留する閘北一帶の保護並に秩序維持に任ずるため陸戰隊を上陸なり

に難し日貨排足運動の停止を勸告したが、遂に實行を見るに至らず、日本懲餓事は一月廿八日午後六時送上海に躓々鎌糧した、一方支那順でし間北一常に敬愛隊を送りつ、ありこの演言盛にあり、事態の歌化を恐れた吳鐵城は抗日會の指導者

で二十八日共同租界に戒嚴令が實施される

突如支那人義勇軍のため

我陣地を夜襲

から天候回復さころんへ雨気が飛

正海に置え鎌着した。一括を肺臓で一診と一診、「経診法・ほう」を実験域に最後通牒を手交し、日本数において上海駐棚日本總領事は一月廿四日上海市長吳鐵城に最後通牒を手交し、日本数において上海駐棚日本總領事は一月廿四日上海市長吳鐵城に最後通牒を手交し、日本

日本海軍の電援隊も

虹ロ、北

り之に黙も展館日本人歌年同志會最は一月廿日支那人撒日會を襲撃し、野くもて日本人展館長さ稚紫翺窯もの蘇突さなつたものであし糠麩の鵝移することろ如仲なる事態錦養するか鵝り如れざるに、又復一月八日五名の日蓮宗 僧侶に對する襲撃事件に不敬事件勃發するや、支那各新聞は不敬記事を掲載その結果、日本居留民の激昂は其極に後の日本軍議刑出帳の綿緊該膨動は頭に瀕化するに致り、腰々暴力沙皮を持ずるに充つた、一月八日日本聖上陛下に對するの日本軍議刑出帳の綿緊膨動は頭に瀕化するに致り、腰々暴力沙皮を持ずるに至つた、一月八日日本聖上陛下に對する。

發表の報告内容

に誇大無根が多いとの印象を與へた極機で安那自身の要素に依る十三の緊急事事會に党那が如何なるの我軍事行動に関する部分を敢大視し居り、この転だけは誤解し難るこいつてゐるが全體としては支那の情報目の我軍事行動に関する部分を敢大視し居り、この転だけは誤解しれて日本は第三者から蒙つてゐた誤解の大部分を一掃し得べく総戦解決の夢壁が置かれたと地談してゐる、フランス側では一月廿八、二十九誤解の大部分を一掃し得べく総戦解決の夢壁が置かれたと地談してゐる、フランス側では一月廿八、二十九段解の大部分を一掃し得いとの日象を與へた極機で安那自身の要素に依る十三の緊急事事會に支那が如何なる。

大部分

一掃さ

(刊日)

盛り返す 便衣除活動

寺館の警戒軍を狙撃し陸戦隊附近を盛返し午後二時代。子路西本願

運動の一つさらて列國利害を均しくすとの主旨により應諾する方針に決定した、婦人でジュネーツの窓線として承諾せば職職にこれを現て兵衛事代養後處置線にらたい、さ我政府の意味を救めて來た、婚郷職は 岩瀬事徴は 支那の無婚第五項 『日支承解決問題解決のため第三國介入の下に日支直趨突擞を開く」を難に上瀬事徴のみに関し満洲問題を含まぬもの東京九日發』上海事徴の解決に手古摺つた職盟のドラモンド事務總長は非公式に過艘英、米、佛三國が趨象し我拒絶に會ひたる調俠窓、東京九日發』上海事徴の解決に手古摺つた職盟のドラモンド事務總長は非公式に過艘英、米、佛三國が趨象し我拒絶に會ひたる調俠窓 好戦を期待さるに至る

日本軍が租界を根據さら軍事行 一郎、英、米艦隊中公官に黙し 一郎、英、米艦隊中公官に黙し 日本人驅逐に決した

界内外人の選去な続告

館の上をかすめて英浦口に添下し

東亜の

支那側魂膽·

大連の胃險(十七)

伊藤

順三

である。グタスリ とが呼じて居る間に とが呼じて居る間に

史

左の短く言明とた 支属車の観笑に闖と本日の下院で 支属車の観笑に闖と本日の下院で

交涉進 排中

樞 議長言

フ將軍の言明

【上海八月餐】支那側の租界攻撃 た間越の渦中に巻き込み我軍の行 た間越の渦中に巻き込み我軍の行 たではる、が、支那側は から我がさらては絶く洗租架の 中立、邦人の生命財産搬費に除っ で所信を脱行する場際で見らる で所信を脱行する場際で見らる

の 一度にひらくここにいたしませう であさいふ男は手を延ばした。 これが である これが しませう

しませう

京のこと、近海のこと……東小

「次を」

「そのま、暫く対待ら下さい。…

部屋には低一人となった。 変のやうに関き通った。

開始 中立確保のた一時止すべして記明した 突擊

兼第五部主査参事・奥村・慎次・第五部主査を命ず

で、何んの選擇も入らさ

すのだし

産婦人

婦人の病は婦人の手で

永井婦人醫院

電話三六六六番

はその手に取

上人を可応り続してるた。家古で上人を可応り続いてるた。家古で

参事 岡田 草雄 男で、

滿鐵辭令(九日附毗報)

聞北も全線に亘り突撃を開始する豫定であるの威略により酸に標節の抒戦を興へたが吳澄カリークな騎て、敵 より離に根常の打撃な興へたが吳澄クリークな腕で、敵さ繁晴と目下騰養販態にあり、吳淞は九日總攻撃を開始し北四川路、餘形坊を中心に落下し多大の損害を市民に與へ吳澄は飛行機からの燬擊、驅逐艦から日發〕第三艦隊可令部發表、敵は午前十時頃より午後九時まで事他發生以來最も猛烈なる破戦を加へ敵彈は共同租界内日發〕第三艦隊可令部發表、敵は午前十時頃より午後九時まで事他發生以來最も猛烈なる破戦を加へ敵彈は共同租界内

野峠中である は、 いる いること、なり常磐、出雲から更 び鏡道流線部隊に監する像側に回じを験隊○○名を上陸せらめ目下 とて前逃中なるな髪見同方面に回じている。 び鏡道流線部隊に監する像艦隊と 地に爆弾一個を投下した七分間北水道タンクの北方の酸率

敵兵反撃され

散陣地を爆撃

一般歌「直、前線に出動命令な受け、 一般歌が開始され午後十時我曲射

前進中の

敵を砲撃

『上海八日餐』本日午後三時本部 前の道路に酸の野純電溶下炸裂し たため電燈電話線地点され木部は たため電燈電話線地点され木部は たため電燈電話線地点され木部は

【上海九日發】本日午前十一時頃 全滅す

側最後態度 『上海九日奏』昨夜から今朝にかけて終一個中隊の酸が三義里ので 部隊を襲撃して來たが我軍の反響

C滿纖吉林公所長D

郎氏(滿綴理事) 風邪

今明日中洛陽で會議 一十四日神戸發香港丸

・對し同情を表明するに至った ・動態を正解するに至り、從來動もすれば日本に反對する傾向のあった各國代表部も俄然日本のは栽だ公表されるに至らないが、第一部織告に關する限り明確に日本の並易を裏書したので、各國代表部は何れも初めては栽だ公表されるに至らないが、第一部織告に關する限り明確に日本の並易を裏書したので、各國代表部は何れも初めて一報告した通りで、支那代表の報告が宣傳と捏造による誤りなる事が判明するに至った、恐ら繼告書の他の部では対して、支那代表の報告が宣傳と捏造による誤りなる事が判明するに至った、恐ら繼告書の他の部でジュネーザ八日衰』 日福華俄に關する経國銀事職の総告第一部は天徽日本代表歴版天使が巡戯本園政府の総合に基を連事會公職合議院でジュネーザ八日衰』 日福華俄に関する経國銀事職の総告第一部は天徽日本代表歴版天使が巡戯本園政府の総合に基を連事會公職合議院

| 「上海八十分 | 「東京 | 「

十齢総廷閣の都職統二千が吳淞及祭によると江郷麓馬場方面に第六祭によると江郷麓馬場方面に第六

正精衛、馬上科の暗水後洛陽に貯養したが、後洛陽に貯養したが、

英·佛·兩國

の軍縮

0)

軍縮

本會議

共產

严軍陰謀

漢口で日支紛爭計畫

念の程度し

敵の精鋭逆襲

潜水艦、徵兵全廢

サイモン代表の演説

全廢を希望する、更になイギリスは之が

ならぬィギリス政府は軍縮なる壓迫を加へねば

限方法を受諾するものである父 を実所定の常設軍縮委員會指示 協定に依る實職翻具弦の制限に 動する最も實際的方法と して先づ選兵を全廢 大限一定口徑以上の陸砲祭业の 長限一定口徑以上の陸砲祭业の 原則の實際的適用を支持する

版。要すため、 の で は 変を が 第三インターナショー 軍が 第三インターナショー

電の危機を受れた をつたが結局これを繋返し租外後の を受れた での危機を受れた

た支那側の破職は虹口マーケット

軍撤退要求で照合す。

単が第三インターナショナルから



の御港談を関し召さる、御数 八日標は元滿 親勝總裁に、 東那滿洲 大日期一中縣

がますか、一、二、三・・ 五人は同時に手をひらいた。 に際は伯の手の中にあつた。 三で願きませう……よろしうござ 「助かつた」

く眠アなひさごろしでなければな とかし今夜の人称しは、まさし

◇ 「ナーンだ、つまらない」 (電が変を懸つ置ケ関の英歌。 「ハ、ハ、ハ、たづ無事だつた」 道徳外変を懸つ置ケ関の英歌。 「ハ、ハ、ハ、たづ無事だつた」 道徳外変を懸つ置ケ関の英歌。 「ハ、ハ、ハ、たづ無事だつた」 は沈酔に默つてぬた。 サイコロは投げられた へいつそこの俺が殺されただがい

あが、漢口に態出すらこと 「総村さんをのかした四人の置行態政府は小規範のものは他にもあ 「総村さんをのかした四人の置行意はに規範政府機能の記載、其 続きれなければならなかつた。 で伯はどうしても人を裁すか、 も早く片つけんと機會が行らふ。一碗つて、松下低に向かつて・大き日本の繁明な裏書す、理事會とうだ影響のサイコロが一低に は、では此方へおいて下さい。これ **後職をかぶりながら、立つてゐた**

その機に熱性感が膨をかけてる をれば離材機三であった。 を記述がしまする。

た。 が論文那部で云つたのであるだ。 が論文那部で云つたのであった。

血管硬化を防ぐ 血液を若返らせ

渡離館

こかし然ういふ器製は、ひきころのではかし今夜の人籍しは、表記するにはだらないこころの、男性臨

お年寄の衛生

「妙布」の作用は 前液のに吸を作品に して内に瞬間の運動を促進し 新陳代謝。 と対連にして排泄が用を見好ならしむる を対連にして排泄が用を見好ならしむる。 常にが連ば若返り 神管極化を驚 ので 常にが連ば若返り 神管極化を驚 ので 常にが連ば若返り 神管極化を驚 いたがた。 らざんが楽であります 対 筋肉の痛 乳のコリ リウマテス

敵陣地に

から生れる活

項承諾か

半永久装備 も数量の飛行機が出動した と徹底的に爆撃を加へる等で今朝 は、天候回復次第酸の設備に禁 はつれる等で今朝 は

謎 一部では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部では、一部である。 一日では、一部である。 一日では、一部できまし、一部できまし、「東京であって記述いことと、言はざるを得からる。 「日本のでは、一部できまし、「東京であって記述して、東京であって記述して、東京であって記述して、東京であって記述して、東京であって記述して、東京であって記述して、東京であって記述して、東京であっている。 「日本のでは、「日本のでは であった。 大間力 といふ 大間力 といふ 大間力 といふ

をするには後グッスリとしいます。 東ければならない。ところが本門は 生活にはそれが出来ない。 が編こ 生活にはそれが出来ない。 が編こ ので設定といよのは一般に表してするのであ ので設定といよのは一般に表してする。 ので設定といよのは一般に表してする。 というでは、 を受ける。 をしてというとできる。 をしてる。 をして。 をしてる。 をして。 をして。 をしてる。 をしてる。 をして。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をしてる。 をして。

のがいるや理的な原法であること を転に耐意する。

四・十四(試用分)五十銭ぐん参復一回・二階・三回・五

の博士の環法、番消品の

弘濟薬院(振音東京七七七七)

幸校

局から機能された、後低は現助後が た寛振子騒長グロズドフは職務を た寛振子騒長グロズドフは職務を はたこの理由で七川附で管理 がある。 は、この理由で七川附で管理 がある。 は、この理由で七川附で管理 がある。 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由で七川附で管理 は、この理由でも、

、府の記可なく勝手に日本軍の る振奮について調査を命じたが、コださ、なほルデイ管理局長 東支鐵道管地局は日本軍出動によ

運動の間にボグラ総中島螺に送ら

八日ボグラニチナヤから管地某所 關車貨車抑留 鳥鐵で東支機

南部線の損害

滴

不國召還罷免か

ヅ寬城子驛長は馘首

輸送を拒否したの近く本國に召還 され能免される機様だこの長春電

デイ管理局長

阿什河街道で發見し

上海邦人

八避難中止

表さして消緩本社に被問金三千個物事務所長参事田中保太郎氏な代物事務所長参事田中保太郎氏な代

寄贈があつた

滿鐵社員に

慰問金

奉天、大連兩船大連

・ 南部線の杜響斯間十一日に於ける 総答、貨物戦入振器を三千金留さ

任務を終へ飛 行隊あす歸奉

鐵道問題を論議

けふの満鐵重役會議

死物狂ひの

が陸軍

0

上陸で

頂走中の敵を 飛機で爆撃

逆襲を計畫

を重した。 を重した。 を重した。 を重した。 を重した。 を重した。 を変した。 を変した。

本九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れ「大連民年九月住田を訪れて、住田田人、土井内を保證へでは、一週間程からるから」

金數

回一行十五字詰百五十行

スペルピン八日發」我飛行隊底察 一般の機は八一帳ベルピン飛日發」我飛行隊底察 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部隊が後退とつゝあるか發見直に 一部でしたが、その報告による主敵 一部でしたが、その報告による主敵 一部でしたが、その報告による主敵 一部でしたが、その報告による主敵 一部でしたが、その報告による主敵 一部でしたが、その報告による主敵 一部では多数の山架らしきものが空。 一中より散見されてゐると 一の指述として散館として、なほ呼 一部では多数の山架らしきものが空。 一中より散見されてゐると 一部で、 一部では多数の山梁らしきものが空。 一部では多数の山梁らしきものが空。 一部では多数の山梁らしきものが空。 一部では多数の山梁らしきものが空。 一部では多数の山梁らしきものが空。 一部では、 一では、 一でな 一では 一では 一でな 一では 一では 一でな 一では 一でな 約三百名を全滅さす 【ハルビン九日費】概成より地鑑 養力で起光順生の縦が離じつ、あ 集つて起光順生の縦が離じつ、あ 集つて起光順生の縦が離じつ、あ まって起光順生の縦が離じつ、あ ただった反吉椒軍の電観丁軽及び する附近一帯の治疫は全く維持さ たなにか或は四肢した部下を集結 つた【奉天電話】 吉林直通列車

鐵道部會議

地 大連門直通旅 に 東支螺道機関車は今部二十一 政策であった吉林、大連門直通旅 に 近常中であり 同市在住の企業館 大連 に 近常中であり 同市在住の企業館 を得 して は でまた 監視 支に送り返さる可 と ・ なったが下り 直通 弾車 は 大連 は に 近常中であり 同市在住の企業 を とり直通車 は 長春十二 ってるるさ と が重 な 、 上り直通車 は 長春十二 ってるるさ と が重 な 、 上り直通車 は 長春十二 ってるるさ と が しょう と で に 近常 中であり 同市在住の企業 を で は で また 監 が 東支に送り返さる 可 と し が また で に 近常 中で あり 高 に 近常 は 一 な に 近常 中で あり に かり こと し かり こと こと し かり こと し かり こと し かり こと こと し かり こと こと し かり こと し かり こと し かり こと こと し かり こと し かり こと し かり こと し かり こと こと し かり 運轉や開始 十一日から一日一往復

八雲の乘組員 一直に出社会演都長室に入り村上都 を整常況か説明し約三時間に亘って 長、山銀玉和課長等谷関係者に親 長、山銀玉和課長等谷関係者に親 では、1000年のであって 一直に出社会演都長室に入り村上都 では、1000年のであって

市中か行進 紀元節に大連神派に参拜し 巾民感謝大會に参加

新城子を警戒

張軍馬賊

擊退

昭和七

年一月

下移離響に迎にて腹部響減中『奉にも終子名の騎馬暖集結し新城子にも終子名の騎馬暖集結し新城子のため目 奉天署員出動

誣告と詐欺の 告訴を提起

学がら無限する、なほ麻酔館以締 リンが誘導をに割する。なほ麻酔館取締 がて帝大嶽學室に鑑定な依頼む なる四月二十五日横行すること、

州内谷中等學校の卒業式日割は左

中學校卒業式

渡速町一の潮橋丁

電七四二九番

から再開する、なほ麻酔野取締結び十二時半一先づ休憩後一時

平田洋行に絡む紛糾

懲役四月ご同六日

甚の至りで方面の御後

・ したが、※月中旬頃からから、 ・ したが、※月中旬頃からから、 ・ なほ ※ 大からの常時放送や際始する書、なほ ・ なほ 結婚詐欺告訴

電會に臨んだが前署長等島知旦氏 この事務引継ぎは午後一時学から での事務引継ぎは午後一時学から 署長訓示大要

けさ來任し

署長室に納まる

早速署員を集めて訓示

竹內大連民政署長

数学に集め大磐左の短き側がなり 技に大正九年六月から同十年六 社に大正九年六月から同十年六 社を動め間卓縄、民政署に於け る各方面の終職を終十一年振り る各方面の終職を終十一年振り を表別のの終職を終十一年振り

昨日最低

P

贈收賄事件の 兩名に求刑

警官增員費

業式は大概三月十五日前後に行ふ業式は大概三月十五日前後に行ふの卒にて顧明、謝生及び旅艇高安の卒にて顧明・副生及び旅艇高安の卒

長春の時局

- T-E

痔性內

X 光外

設科科

メデチート

切新

寫眞展賑ふ

ラスラス

中中

紫井試錐工事應雷

機話六五四四番

支出方法決定

覆審部で分離公判 ち三萬二千四百十八四、郷餘金より支出の冒九日敷 同會計製鍊金より支出の旨九日般都で滿洲事態に関し関東殿内治安和大場所事態に関し関東殿内治安の北海の景下の一葉市金及び、東京九日後、高森蔵相は対表を 英語ニュース 八萬八千八百九十二圓である

を特別に英語ニュースの時間をついた。 ・一般人のために放送することに決 ・一般人のために放送することに決 ・一般人のために放送することに決 放送を始める 九日長春南線供樂部に於て開催中九日長春南線供樂部に於て開催中の本社は傑時局成戦會は非常な成 ばいかる丸

十時出脱することなった 高州號に献金 市内置行 市内置行 市内置行 市内置行 市内置行 出机一日延期

精米界の

純無砂搗

壓倒的稱讚を賜り

断然人氣の焦點たる



御常用にと イタミン

大参館、なほ消養機裁院に懸断状 を漂ったが、東京女子奏智完極内 を漂ったが、東京女子奏智完極内 を漂ったが、東京女子奏智完極内 を漂ったが、東京女子奏智完極内 を漂ったが、東京女子奏智完極内 を漂ったが、東京女子奏智完極内 論 2 歌詞 加

滿蒙維新『寄與 我社三大事業の

横篇の應さ 数素元旦の 論文 ジを希望します 果の二件は左記の條件を以て公認いたします、 が紙上に於て發表した吾社本年の重大事業の中、 〈募集 ◆題意 人の希望 人の希望 奮つて

日 三月十五日 せざる場合は、當選作者には三百圓、住作者には百靈地方を共に視察するの義務があります、若し視察但當選作者は右賞金を以て南支方面を、住作者は滿當選作五百圓、住作二百圓

思

込合ますから御早

『惡く思ふなよ』

日迄…

は絶對に日

次週は愈々野獣映

番インガギを 上映致します・・・

滿蒙 維新の歌 及方法。追て發表します 行進出式 ◇題徳 を祝福するの歌

◇作選歌 曲 金選者調 者 中山晋平氏 七五調、 西條八十氏 六句、 五節

鐵嶺近郊の

匪賊掃蕩

我軍は害なし

選作曲なき場合は中山氏に作曲を依頼することになつて居ますには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當追て應慕歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれ《締切期日 三月十五日

では目下答案に手配して捜査中か、智器、探索の告訴を提起同器 一萬米決勝戰

ト決勝はアメリカ、アノダイング では終した。 【グレープラシッド八川教】オリムピック一萬米突スピードスケー

等、資整が修三十五、地際十二で 「法庫門西南方四四里」に於て厚 (法庫門西南方四四里)に於て厚 で設し繋返した、暖の様 では、資整が修三十五、地際十二で

御中食 小鉢物 物

おでん 一人前二十錢 五十五錢

院長光

松 大連市大黒町二三大連市大黒町二三 振東化學研究所大連出張所

表天商卓地(大西關語) 率天商卓地(大西關語) 殿西

0 頭痛

シン〇

金銀、白金、地 高價買入

德力洋行 ンイカコ・ンイロエ・ヒモ・片阿 福 者 患 大 毒 0

一、本築液注射期間中は断禁症

た緩和して患者に苦痛を與へ

治療期間を以て全治す

等た併用治療して此の顯液の

患者は阿片、モヒ患者はモヒ

り獨ほ苦痛を覺ゆる患者は阿

力に何等の支障を生ぜず

對 絕 外 內 間 T 1:

、本薬は静派注射液にして如

界に於ける世界的大穀明藥な

なる中毒患者で雖も一週間位

毎患者の全治薬にして現代職

、本藥は帝國大學真鍋物族内 究の結果發明せられたる阿片。 層局長酒井由夫醫學士の多年 ヘロイン、コカイン、

本明記測**効有**生先力結長時後方

爲紀元節奉祝(二月十一日) : 斷然連日滿員 診察開始 大連醫師會々員 0 盛況 同

上映中の名書市 延な

月やく止り

午後一時より

3

満鐡沙費組合 世買組ぶをお祈 精糧株式會計

順国さない

田庶務課長の案内で大連総計、忠三年の第一場の順示かなも更に富さい。それより署員一同な書数

RIGIAIRIAIGIAIRI HIELBIELEN して市内戦明町北條信遣な相手取り無告終に津栗の告訴ル八日大連別無法に忠栗の告訴ル八日大連を設定がられてゐた深速町平田洋行代を同の告訴人住田が平田洋行代専人林新次郎さ共に本田洋行代理人林新次郎さ共に平田洋行の財政難数出の目的か以て北條より金五千個の告訴人住田が平田洋行代理人林新次郎さ共に平田洋行の財政難数出の目的か以て北條より金五千個の告訴人住田が平田洋行の財政難数出の目的か以下北條は は、決してシネマガにより好きでは、決してシネマガにより好きである。

「は、決してシネマガにより好きである。

「は、決してシネマガにより好きである。

「なるのではあるが、まさか、そん

「なるのではあるが、まさか、そん

「なるのではあるが、まさか、そん

「なるのではあるが、まさか、そん

「なるのではあるが、まさか、そん

「なるのではあるが、まさか、そん

「なって、活動館な全部素」
は、決してシネマガにより好きで

ある――なごと、智能された日に でないさ、シネマの細力があの

の際火線さなる―なご、資めておが、シネマの魅力窓に融るべ

感動の膨胀 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学 ・大学

れて来たものであった。

さ聴って心

談漫

シ

7

鹿

郎

ある―れご、魔々年が近隣をやった――何が彼をさうさせたか、 質にオソルペキは活動高速である。質にオソルペキは活動高速である。質にオソルペキは活動高速であ

多勢を戦みに、

4%

が上述・無縁な野ひださ思はの が主恋・無縁な野ひださ思はの

たのが非無惑で無師は膝間流のたた物門よの門下に入り、東京になった、片間を

手、紫鷺は、長唄の素養ある上、たのが被無薬で無難は膝間流の名

零后川衛龍

さつては、千銭の錠のやうな酸味してるるだけであるが、最級の焼せてるるだけであるが、最級の焼せてるるだけであるが、最級の焼けであるが、最低の焼けであるが、ほのかに見

明に逡巡の飲が見え続めた。

おした衛門型の門下に入り、東京歌になった、片崎鑑太郎は六畿の時になった、片崎鑑太郎は六畿の時になった、片崎鑑太郎は六畿の時になった、片崎鑑大郎は六畿の時

(第一回作品「仇討兄弟殿」

「縁れ、八つの日廟が一つ消えた

である。 である。 まである。 変がな、押へながら、細である。

社會資合苗種本日

静かな語

|『鑑太郎が正成マキノキネマ

でで、本ノ・キネマに於ける第一 で、な野歌三撮影の「仇詩、兄弟 を、な野歌三撮影の「仇詩、兄弟 を、な野歌三撮影の「仇詩、兄弟 を、な野歌三撮影の「仇詩、兄弟 で、な野歌三撮影の「仇詩、兄弟 である がは、暮ら野界の法目する所である がは、暮ら野界の法目する所である。 でたた衛門の秘密第子で美男の職

良香遊呈 には多角 形農業 と

映書監督者中の異な・後藤岱山の

映マキノ入社 上菊太郎を今日の彼に

片岡鶴太郎正

で、一人の扇者を動るに捨てる命、 をれは味完の既もに殺象立つた を発の腹の庭に沁みるやうな、も の静かな、温か味のある言葉であ

沙州

酸の園みた扱けて、

なりて音歌に構へてるた。 なりますない、通難いで、ありさ思ふ問もない、通難いで、ありさ思ふ問もない、通難いでもない。 り覧のやうな早技、次の瞬間に、 の関みた抜けて、期割を背にと の関みた抜けて、期割を背にと

その片尚鶴太郎)

東活增資活躍

クリーン上では熾爽たる新人ぶ

有手の一人が、帯立つて、 踏込 れッ、いるぞッ!」 「動れぬぞツ、その氣合では、 、作樂な威嚇しやうさ

怒號一下、聲

、候樂は、それに職はず、と、襲つこ打込む。

飛びのきざまの拔

「学て、歸るなら、手責ひの始終とれた明いて、卿を脱れかけた、さそれに觀いて他の者も――。 がけ、生きること、死のる

二つの無い影が、悲鳴を上げて 疾風のやうな、左陣への突撃したう」 验 作集の軽には、人の麻酔を突く さも、お芸芸の総か勝た友がや」に、神学に持つた血力の血縁をして、行手に持つた血力の血縁をして、行手に持つた血力の血縁を 記 春 夫 揷 (49)

本金さし全郷振込みによつて資本本金さし全郷振込みによって資本を飛覧し大いに離かするため近く原味、薦野、勝鳥等の讃氏が上京東京に於て熊谷、足立國氏さき見其東京に於て熊谷、足立國氏さき見其東京に於て熊谷、足立國氏さき見其東京に於て東谷、東酒の安部、仲、 サ五萬圏地資して三十萬國の總資 援助を得て現在の資本金五萬國を 執る事に芳針一決選縮から機麼能 社の直標さして繁素方面の総職をも一新したので更に各部総所の陣容も一新したので更に各部総所の陣容

關東浪曲

THE STATE OF THE S

お のけぞる。 に、悠然さして、難を得つなべ、 に、悠然さして、難を御の株へ。 に、悠然さして、難を得つなべ。

六大家

大劇來演決定

のはるびん鬼無電が映画関係者に ゆふべ飛び込んだ▲その数能人が エンドウミあるので、さア籐だか 芝人旅にも触らない▲この映画は 「愛國の母」を賣込んだ相澤氏が、 たって吹る響だつたので一層エン 地味でお上品な「霧西亞純文藝 休んであた社員

が二月の學生授富。

見ず

・ベルア 者演主の「下の根屋の里巴 宵の里巴る散花エニロマ

空盤萬濃齡門

- -・アビムロコ



中野では して して 大連若狹町三(あ通人) 膀胱 人淡尿器病 入院室完備

感化院の大火!

粉到する不良

青年-少女、又々セシルの老

巨匠デミル監督

博士尾形 歐

五町鉄敷達大 樹六八〇六電

借九六八七話電

東

郎

羅門塔十郎

役

大熱演

Cowish and the second of the s

特徴 舊型及他の會耐製品 画節機が三個所及四五個所も有って素人が調節するのに甚だ 一個所の調節機にて至極 一個所の調節機にて至極 樂に出来ます

下命の程御願申上ます 断書型を御所持の爲新型を御求めに 曹型を御所持の爲新型を御求めに

ラデオ兼用蓄音器

ランスウヰック

九三二

蓄音器界の王者 ブランクウヰツ

最高

級



の上に輝やからき悦びの日があるか麗筆に躍る戀愛世相悲歌政略的結婚の犠牲さなれる美もき美登利に熱情捧ぐ大川二人新入社三浦洋平●桂珠子●近松里子●松本泰輔等總出演館外●『日津慶子●津村博●山路』ふみ子主演 怪奇な殺人事件ご父性愛の涙ぐましき犠牡を描ける評判の大名畵途に封切……雑誌キング連載:二百萬讀者の血を湧かした吉川英治原作の名大衆小説の映畵化鈴木澄子 ― 人二一役 ●兒島 | 一郎 堀川浪之助 季所員總出動● 雜誌朝日連載●加藤武雄原作●栂色入江一夫●監督印南弘

●券待優み込刷刊夕聞新連大 供提別特錢十四下階 ● 參持御

日封切

店商井前 極通

入直 大連市伊勢町一〇一 商輸 田 中

蓄 電一四二五番 音 器 店

前篇封切以來映畵 來た全大連待望 フ 0 名畵 の血を湧かした名篇の完結篇 見 よ 天晴

名番組

別することが出来る、

東広等であつて、その金融 いふのは悪斑、綾酢、郷煙 いふのは悪斑、綾酢、郷煙

▼…その ほか路筋にあつて 小線の服管をする銭攤子印刷子 小線の服管をする銭攤子印刷子 小線の服とし、数線の開屋敷倉庫

幣制と改革の

支那側の金融機關

である、悪独は送金線替及び配付の出現さられて飛ぎに山西人の經濟するもので、弱くは緩縮をして飛ぎに山西人の經濟するとので、弱くは緩縮をして飛ぎ無くなり、現在標式を輸送して最も主要な位置なる場合となり、現在標式を輸送して最も主要な位置なる場合となり、現在標式を輸送して最も主要な位置なる出るものという。

満蒙に

おける

新満家國家の避路に整つて、最も重要なるは金融銀ケットに塞し、これがため支那人の歴歴は楽まり、外國人も動からざる揺去か響つてゐたので、其歌理さ改革は既に多年の野寒さなつてゐたのである、然るに之れが野信に經好の機会を整けるなる。 これがため支那人の歴歴は楽まり、外國人も動からざる揺去か響のの趣路に整けるは金融銀行の機会を表した。 これが改革にいていて当

▲大 豆值幅(四)後) 二月末日限 五、三五一四、九五 三月末日限 五、三五一四、九五 四月末日限 五、四一一五、〇一

五四月末日限 月末日限限

深値幅(三〇後) 関 三・二九一二・八九 限 三・三九一三・〇九 民 三・三九一三・〇九 民 三・四八一三・〇九

能を防止する

立録せず

上海の

支那銀行、

2

齊に

開店す

大口の銀兌換停止

運取引所長は相場の惨落に

あの儘に放置しておけば市場は 不安を増すばかりなので値幅を 限りのここで、明目の市場につ 限りのここで、明目の市場につ には今少も上海の情報を調べ た上、その實情如何によつて適

安見越しのため精強含みである

賠償問題で

異常な注意を集めてゐる

銀塊及為替

大阪期米 前場引

重要會談

各國代表訪問 イツ首相

會あす

開催

大連商議役員

大連融工會診所では十日午後三時代から満洲公共機関職合會提出語で、大連融工會診所では十日午後三時で記一項に関し協議するため

の休寒は送金不可能なるため、多量の質法を有すとより先、前日來の雲程は氏なられものがあり、主然田明け九日の大連特難市場は遊館を襲期されつ 特產各品一氣に慘落 易に壊滅を許さず、 総急重役會を開催、新規を許さす、殊に同地銀行の窓に鯸線按げを破行せ

海上戰時保險料率

低減に決す

危險率の減少に依

0

上海積替海上二週間限上上海 海上五 錢 陸上

に合合、更に滅死問題を討論し 定によつて誤定された國際砂糖路 のではあって誤定された國際砂糖路

の主張

度の崩落を豫想されてゐる 低減に決した新粋率(百個に付) は八日協議會を開き多門○熈ハル は八日協議會を開き多門○熈ハル とシ入り、陸東上海派遣の結果危 上海 と海

以来表だ曾て見ざる空前の出來事 は機器による混鑑を防止するため は機器による混鑑を防止するため は機器による混鑑を防止するため は機器を選じたこさは大連市場際護 相場を選じたこさは大連市場際護 門相場を演じたのは 市場開設

砂糖相場惨落と

ジャワの減産問題

たます。 は次のやうな理由でこれを をいう要求した模様であるが、ジ カなでの産気を落るしく減少す なるやう要求した模様であるが、ジ カなでの産気を落るしく減少す なるやう要求した模様であるが、ジ

本商側 賣 ·

特

取引人組合に 豆 一、八八九 - 一、八八九 - 一、九二五 - 一、七七〇 一、九二五 - 一、七八五 一、九二五 - 一、八二五 一、八二五 | 三、二五— | 二、〇五 | 三、五〇— 二、三〇 | 三、六〇— 二、五五 | 三、七五 — 二、五五 | 四、〇〇— 二、八〇 三二五個幅 九兩高 に比し

然と定期三月限の処きは〇・九七の人に於ける来曾有の安値である。 ない。根本低に供給過剰だからでそうださの噂はあつても一時態へ 際家のジャワ減産問題も解決し になってるる。

對する通告

給過

砂糖が世界的に非常な供給過剰

徐に黙するクレギット一億弗中英一の一致を見た模様である 『パーセル八日歌』ドイツ國立銀 佛分の郷脳を三十日間延長に 英佛分の期限三十日間延長 ν ヂ ツ には百萬順ぐちるの過剰な元すででには百萬順ぐちるのである。特にジャ たいの になつてゐるのである。特にジャ た ハンガリー、ペルギーだけで、強い、各國中その制管網程輸出 さころが世界の砂糖管経輸出 は糖酸紙に塗せず、それだけ流荷

F 最後的通告な数し、本年一月末またキューバ側は窓にジャワに對して、 これもお流れさなり、紫を赤やし

に使こか態度を明かにするや後的適告を發し、本年一月末

房具、寫真器類、其他歐米雜貨、特許品等何品に材料、皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文樂品、化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物

限らず直輸入の御需に應す

端西パーゼル化學工業會社 端茂 マルンハート 會 社会

總代理

對獨ク

底の権付を一割の、本年四、五月 すここになるらしいこの報道もあられ、ジャワは一九三三年度の批説

◇現物後場

いったも無密楽者や勢極者側が反射の産歌を減らすこさになるらし 題を新聞紙に報道することを禁止数してゐるので、大統領は滅産問 ないかいこれ は大艦半減に驚る器である。 なほ一九三二年の橋は反別は十ない。

◆…上海の営業階 中観行家連ば五 抗日會を解散 支那軍を撤退

て國際自由都市の

援助な を が に 破力する が に 破力する が に 破力する に 破力する

新湾的養達の程度も をの間養の時代が続り をの間養の時代が続り

きさころは発さないさ云つてもいきさころは発さないさ云つてもいいで、 袋舗さ共に電野な庶氏金融の電質を主要さするもので焼き の振琴決衝)が行はれるやうにな響口に過爐銀制度(一種の帳簿上

塵。黃

には支那在世外人も騒動を表し ◆…我政府の在支中立地歌騰定業 して欲しいき歴報した。

豆油五三九〇百箱 五十五八車 五十五〇七九千枚

山田商店林文陪

電話 作表番或 六四二

〇七一 一大六 五二一 番曲番

大連株式商品取引人

洲 興信 統計 調查養、信用、結婚 日報
計等の決算報告並老
対外の情況、銀行會 埠頭及市中在庫敷盤

株式。御販引出田へ 1世番六十们奥币建大 三ネカノレイタ客信受 番七七回回場市部電

積資 文店出版所 長春、東京丸ノ内、名古遠、大阪、神戸、下頭に破った。 東京、東京丸ノ内、名古遠、大阪、神戸、下部、大阪、東京、東京九ノ内、名古遠、大阪、神戸、下頭に破った。 東京、東京丸ノ内、名古遠、大阪、神戸、下頭に破った。 金 金 壹億壹千六百貳拾萬圓 壹 億 横濱正 山通 圓 (全額拂込濟) 金銀行

時代が終り古くなく、満洲は

大豆(裸物五〇七〇 大豆(裸物五〇七〇 大豆(裸物五〇三〇 大豆(裸物五〇三〇 大豆(裸物五〇三〇 大豆(裸物五〇三〇 出來高 百六十亩 出來高 三二六五 田來高 二二六五 田來高 二二十五百 出來高 二二十五百 出來高 二二六五 日本高 二二十五百 出來高 二二十五百 出來高 二二十五百 出來高 二二十五百 出來高 二二十五百 定期喰合高 三十〇〇

十八〇〇 二三五〇 る ◇強氣筋に言はせるミ五品の現狀 を買つてゐるのではなく滿家の 特來を買つてゐるのださな/〈 料來を買つてゐるのださな/〈 かに鼻息が強い もあるかも知れない、それで一 二年鹽漬にするつもりだつたら五 二年鹽漬にするつもりだつたら 三十圓の五品を買つて良い處で

開近くもあらうさいふ 無配である は五品新豆共一二十銭高で可な り底固い商財であった り底固い商財であった 場で今度三十圓な抜いたら四十 場で今度三十圓な抜いたら四十

歐米商品直輸入 三根 眼 和 公所 器の 。院 科兒 内 話濃ニガー六九十 111

入院題為 院醫原加

加行 門專科内 院醫會母

强生町高等 を登る。

專納荷揚店(大連) 東納荷揚店(大連) 東納荷揚店(大連) 永 元、五·四六八一 股店(大連須藤町) 兄 弟 商 會

尾道着 二月六日午後四時間 着 二月六日午前五時司 着 二月六日午前五時司 着 二月六日午前五時司 未後匹畴

● 常果,行稱順丸定期修繕

松浦汽船大連出帆

海線さは貨物聯絡取扱致族 大連市山緊通二〇〇番地 阿波園報會社大連支店 電景六八九一・五〇一 乗船切符餐質所(大連伊勢町) ジャパンツーリスト・ビューロー 電票二五五四・七〇三四 長山丸二月九 二月十日

東崎荷技所(大連山縣連) 東崎荷技所(大連山縣連) 東崎荷技所(大連山縣連)

■日清汽船||五帆 大阪商船縣武大連支店 店海行(市山丸 二月廿六日

全 島谷汽船敷出帆

水路圖詢 第二十十十下汽船會社 连軍郵船株式會社大連代理店 日本 郵船株大會社大連代理店 明鲜郵船株式會社大連代理店 東連市監部通書畫橋 大連市監部通書畫橋 大連市監部通書畫橋 大連市監部通書畫橋 月前一節前二節

為 育筋直積 觀筋直積 印度麻袋

き崩れよう 言へ一齊に惨落だし 程でもなかつた

産 fl 内地變らず 常市强保合

登録せで、内氣配品 場の激變に備ふ 場の激變に備ふ 場の激變に備ふ

開公でに 錢十三階 あたの禮御入大週前

若き女性の

悲

L

み

●●●心中の題註市全

市川春代主演

で膨脱せんさしたのである(尤も関の生産高な輸出制限さいふが法法

問題を考慮するさならば、それ とここは出来ないから、減産 とここは出来ないから、減産

鐵株(聢り

映寫時間

午後六時中 午後〇時中

連日滿員御禮

・映寫 ・観示の時代劇の時代劇の時代劇と ・観示を記述の時代劇と ・観示を見まれた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。 ・観音の人生流れた。

R

廖

RR

中央館

以前 愛子共演

七日公開

0

淚! 淚!!

よく十日限

뼮

・特別大興行に付き 御親覧料。●●●●●●●● 御親覧料。●●●●●●●● 市内のコロムピアレコード販賣店 市内のコロムピアレコード販賣店 で求め下さいますご割引になりま

脳

座

たり活

今日の映畵さの

●に根連ない。 ・然し来國の態度はお か何なる総様なみるか か何なる総様なみるか

京畿丸二

東京株式

東東 15110 15120 15120 15120 限 高的 克约 大阪棉花

●五品高につれて代行株も毎日新 位で質質が出來てゐる、現物が 二十八個五十錢十日先の約定で 三十個唱へである。

監設督計 世代 大連市記伊町八五建築館至河 大連市記伊町八五建築館至河 東語三五五九巻 東語三五五九巻 東語三五五九巻 東語三五五九巻 東語三五五九巻 東語三五五九巻

切封日十日日

トンセンス映畵 ・ 大時三十分より ●天津行(資州丸二月末日 日東丸二月十二日 日東丸二月十二日 日東丸二月十二日 一大阪商船株式大連支店 電話四二三七番 大阪商船株式大連支店

可朝鲜郵船漸帆

一歐州行(松 江 丸戸土 漢墨 三近海郵船財出机

日本郵船